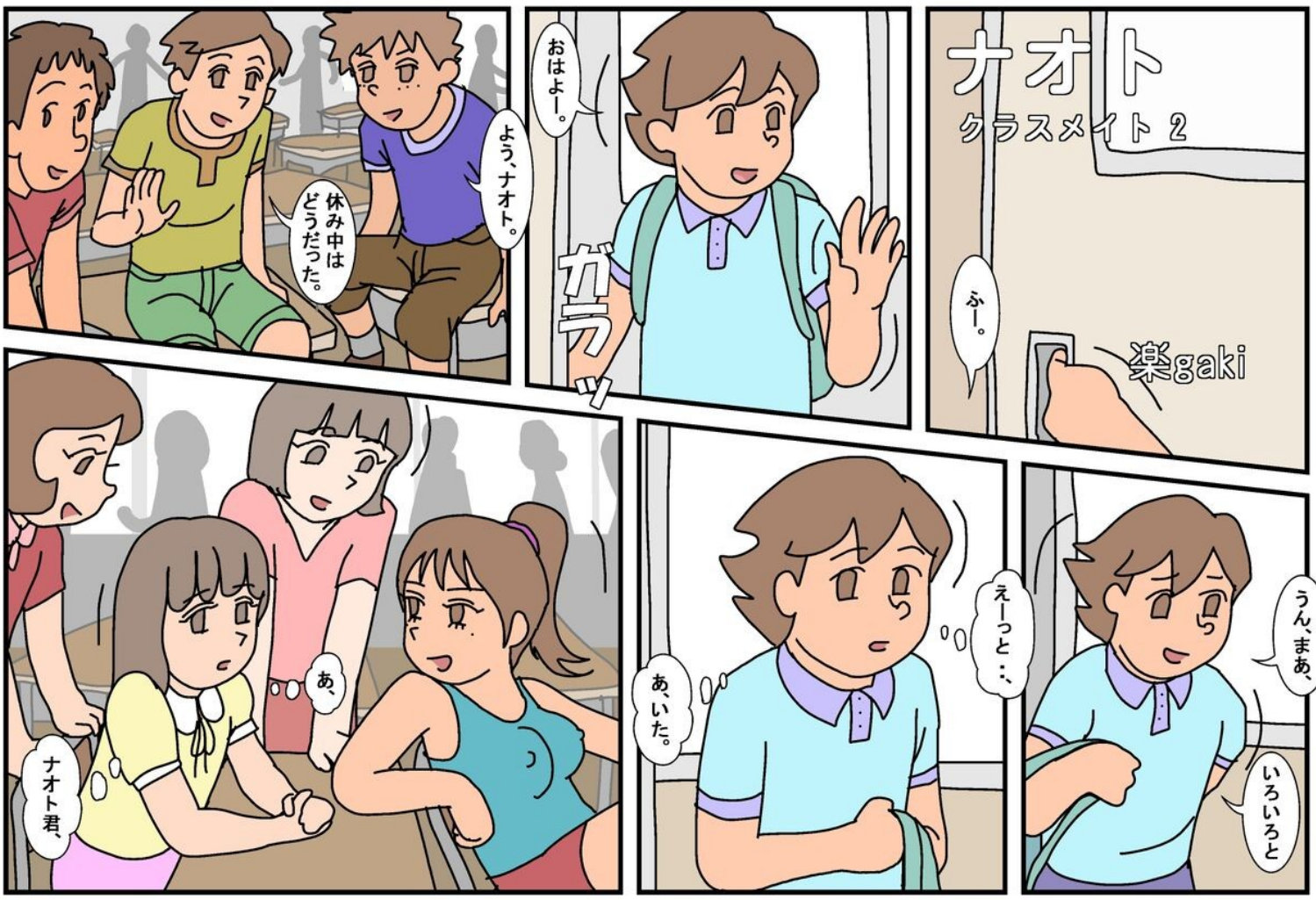
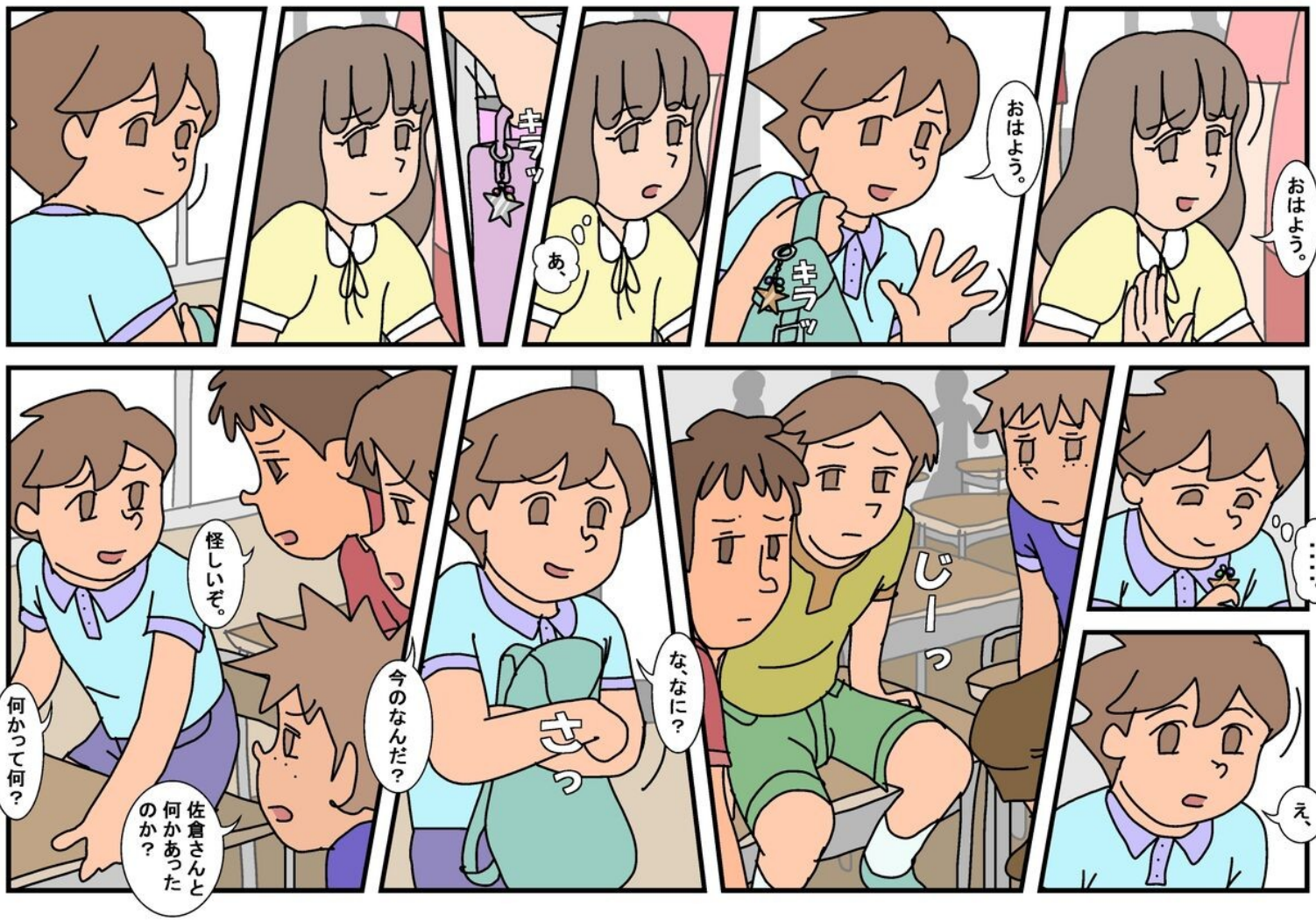
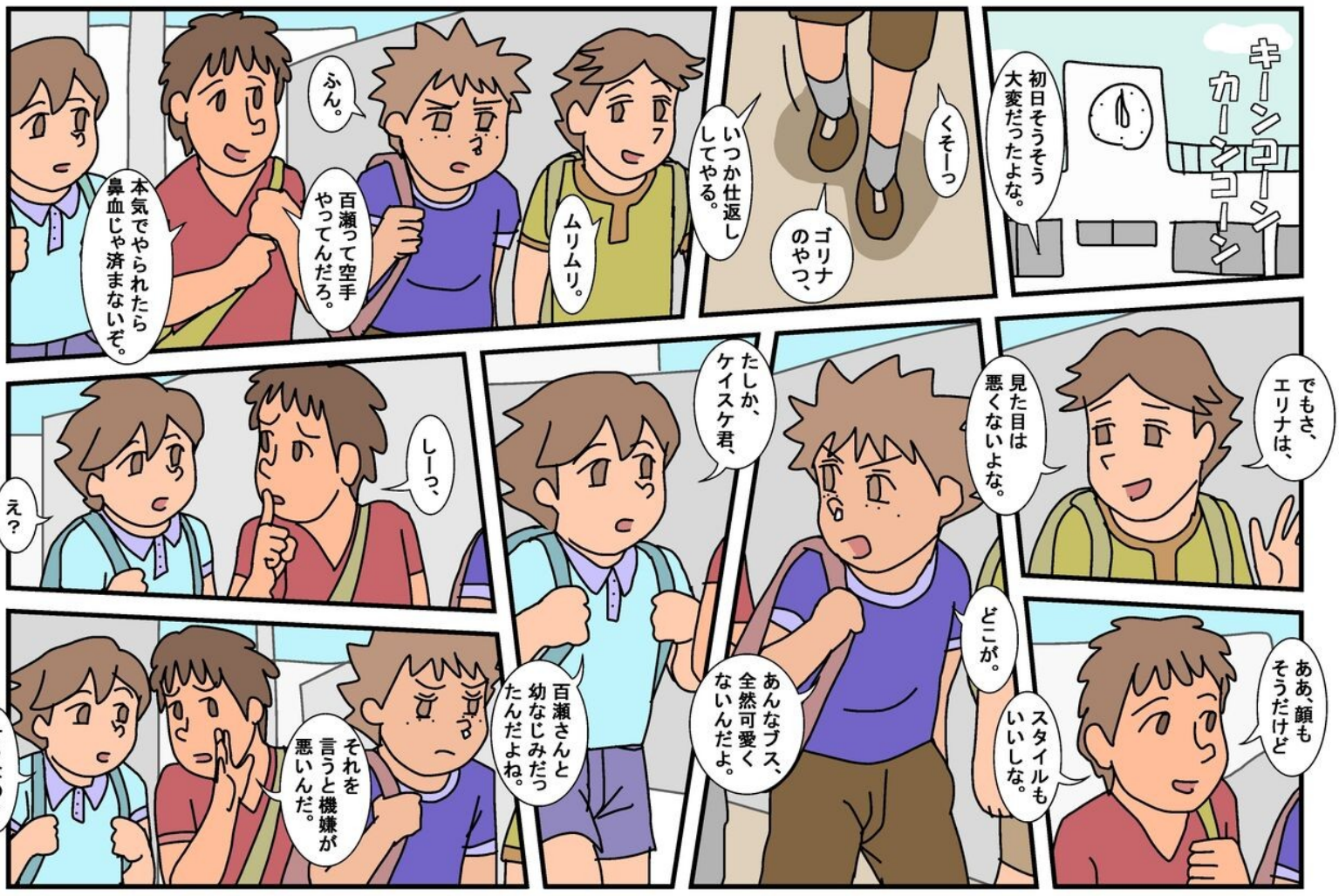
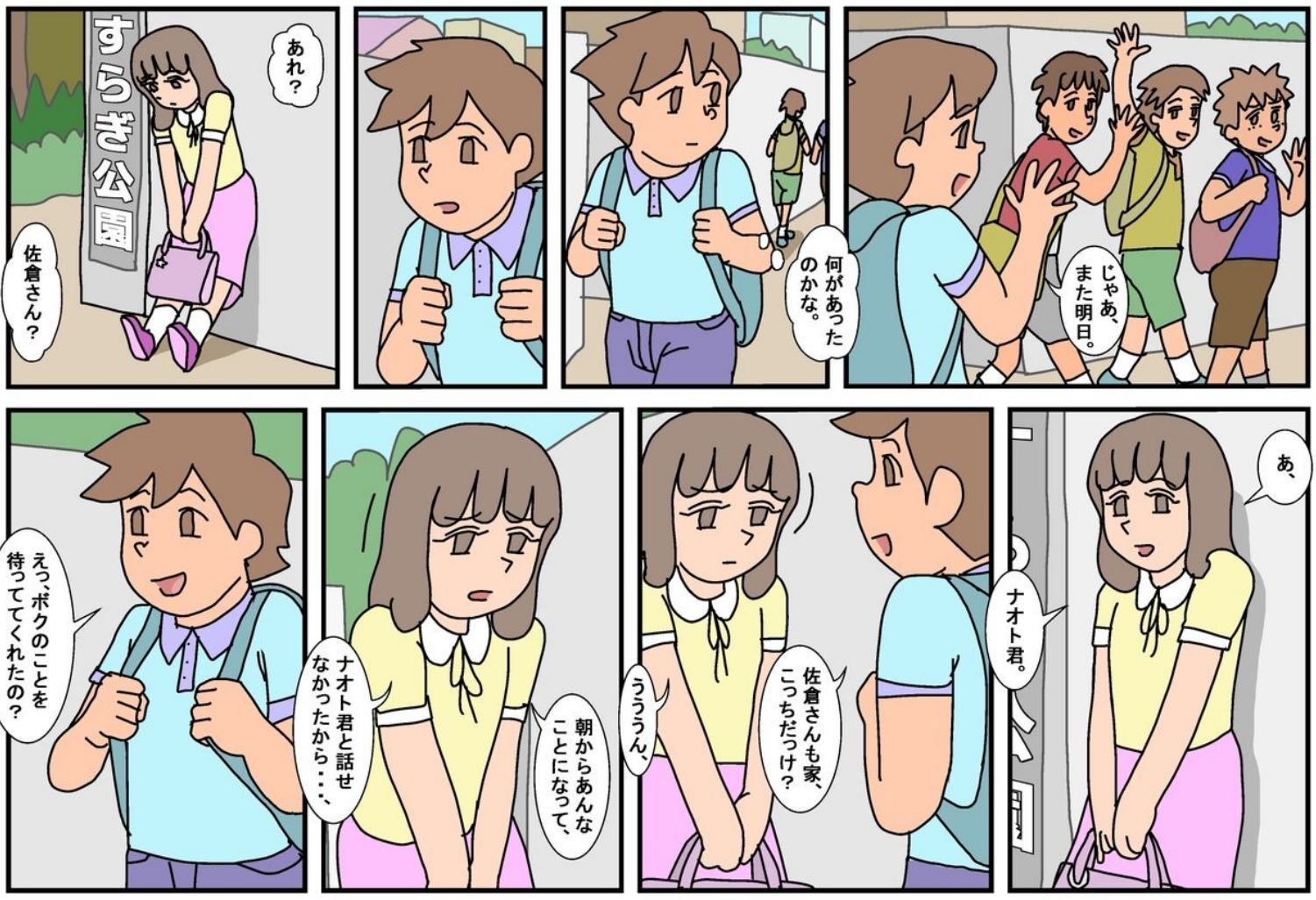

ナオト
クラスメイト２
ふー。
楽gaki
ガラッ
おはよー。
ようっ、ナオト。
休み中はどうだった。
うん、まあ、
いろいろと
えーっと・・・
あ、いた。
あ、
ナオト君、


おはよう。
おはよう。
キラッ
あ、
キラッ
じーっ
な、なに？
さっ
今のなんだ？
怪しいぞ。
何かって何？
佐倉さんと何かあったのか？
・・・。
え、

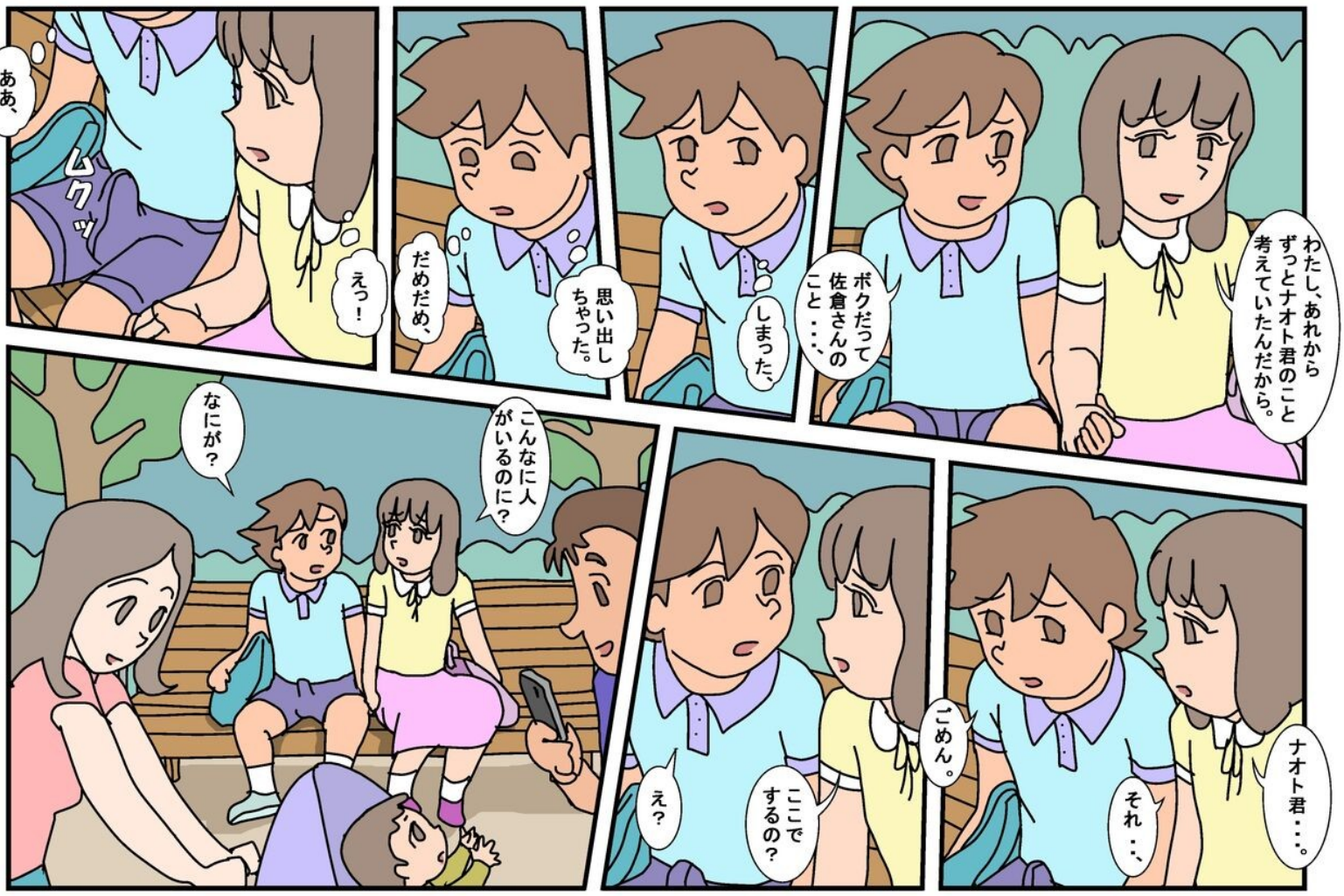
それは…、
分からないけど、
なあ、
抜け駆けとかしてないよな。
そ、そんな訳ないじゃない。
まあ、そうだよな。
ナオトにそんな勇気ないよ。
そうだよね。
ばーか、
さっきから丸聞こえなんだけど、
まなみが立花を、相手にするわけないじゃない。
え？
えっ、
ねえ、佐倉さん。
そんなこと…、
っていうかあなた達もだけどね。
そうそう。

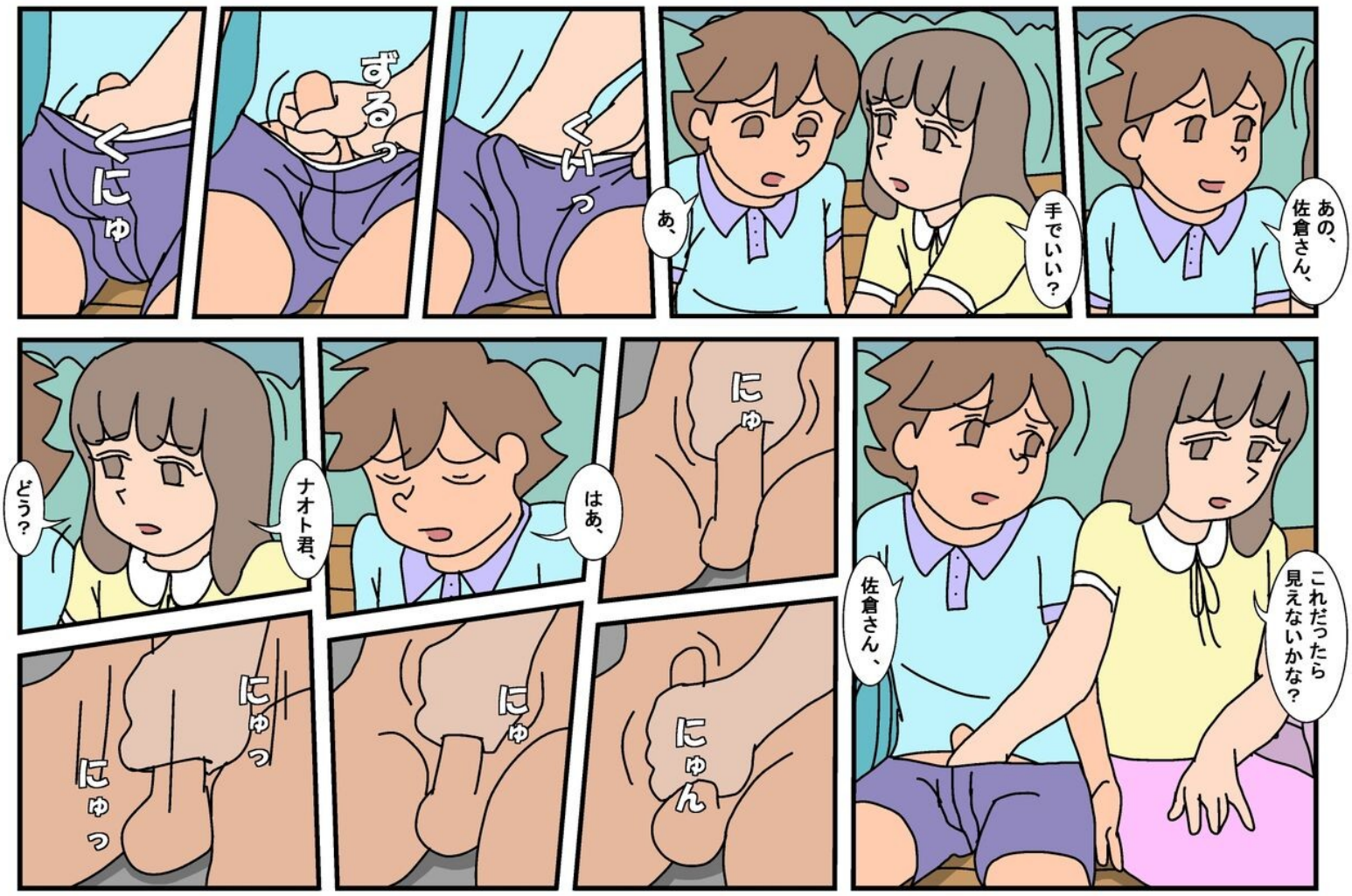
どうしてお前らが決めるんだよ。
そうだそうだ、
ナオトはともかく、
ええっ、
佐倉さんが言えないから私たちが言ってあげてるのよ。
ねえーっ。
言っちゃえば、迷惑だって。
やめてよ、エリナちゃん。
えらそうに。ゴリナのくせに。
あ、いや。
はあ？
ゴリナ？
ガタッ
おりゃあーっ
おい、
まずいよ。
ぼこっ


キーンコーン
カーンコーン
初日そうそう大変だったよな。
くそーっ
ゴリナのやつ、
いつか仕返ししてやる。
ムリムリ。
ふん。
百瀬って空手やってんだろ。
本気でやられたら鼻血じゃ済まないぞ。
でもさ、エリナは、
見た目は悪くないよな。
どこが。
スタイルもいいしな。
ああ、顔もそうだけど
たしか、ケイスケ君、
あんなブス、全然可愛くないんだよ。
百瀬さんと幼なじみだったんだよね。
しーっ、
え？
それを言うと機嫌が悪いんだ。
そうなの？

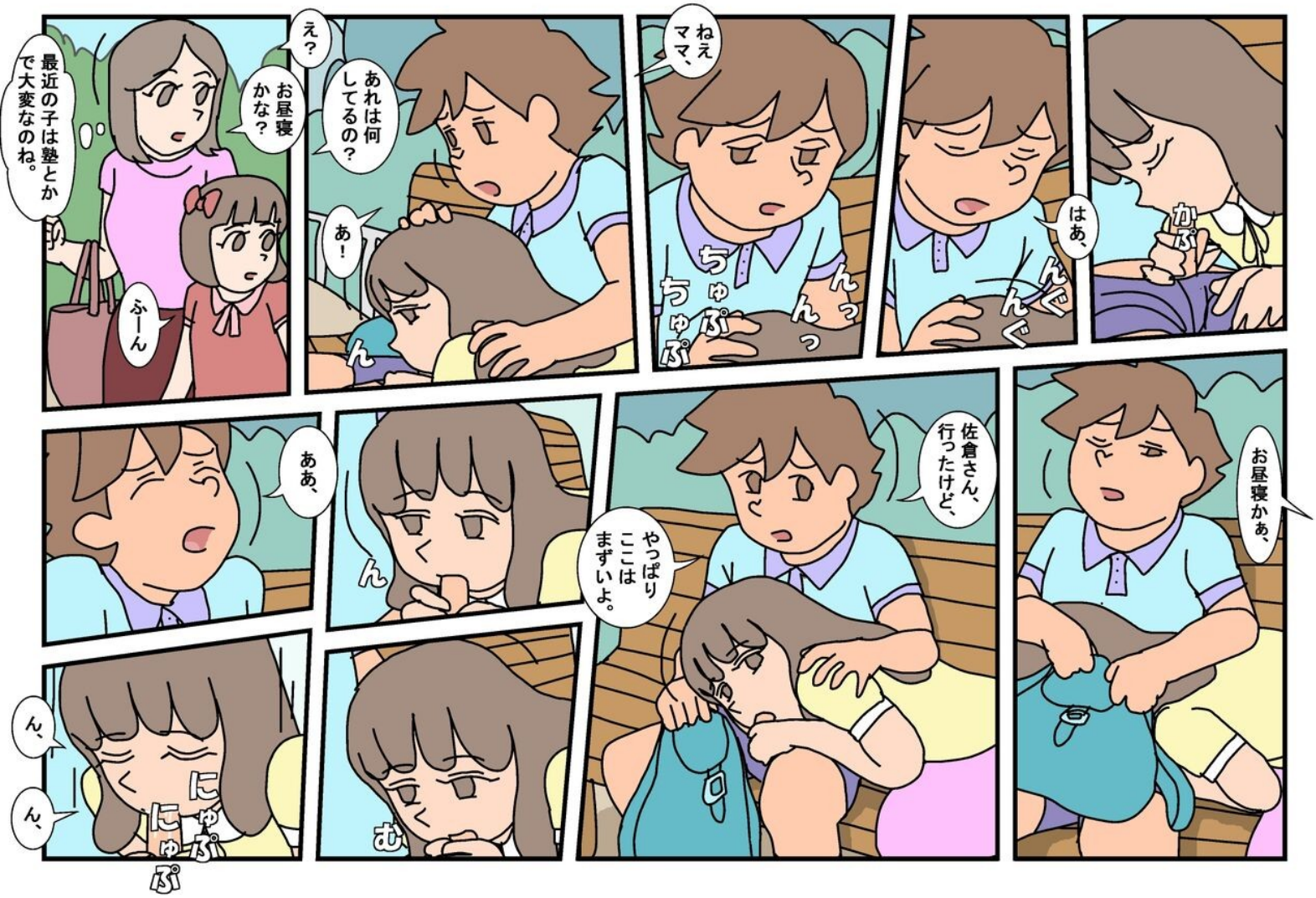

じゃあ、
また明日。
何があったのかな。
すらぎ公園
あれ？
佐倉さん？
あ、
ナオト君。
佐倉さんも家、こっちだっけ？
ううぅん、
朝からあんなことになって、
ナオト君と話せなかったから・・・、
えっ、ボクのことを待っててくれたの？

やっと話が出来るね。
うん、
学校じゃしばらくの間話せなさそうだもんね。
あれ、キーホルダーは？
見つかりそうだったから内側に付けたんだ。
知られちゃいけないの？
うん、みんなから責められるから。
男子のほとんどが佐倉さんのこと狙ってるんだよ。
ふーん、
どうしたの？
なんだかうれしそうだったから。
ヤキモチ？
う、うん。
私達、付き合ってるんでしょ。
もうっ、
なに？
あっ、
？


わたし、あれから
ずっとナオト君のこと
考えていたんだから。
ボクだって
佐倉さんの
こと・・・、
しまった、
思い出し
ちゃった。
だめだめ、
えっ！
ムクッ
ああ、
ナオト君・・・。
それ・・、
ごめん。
ここで
するの？
え？
こんなに人
がいるのに？
なにが？

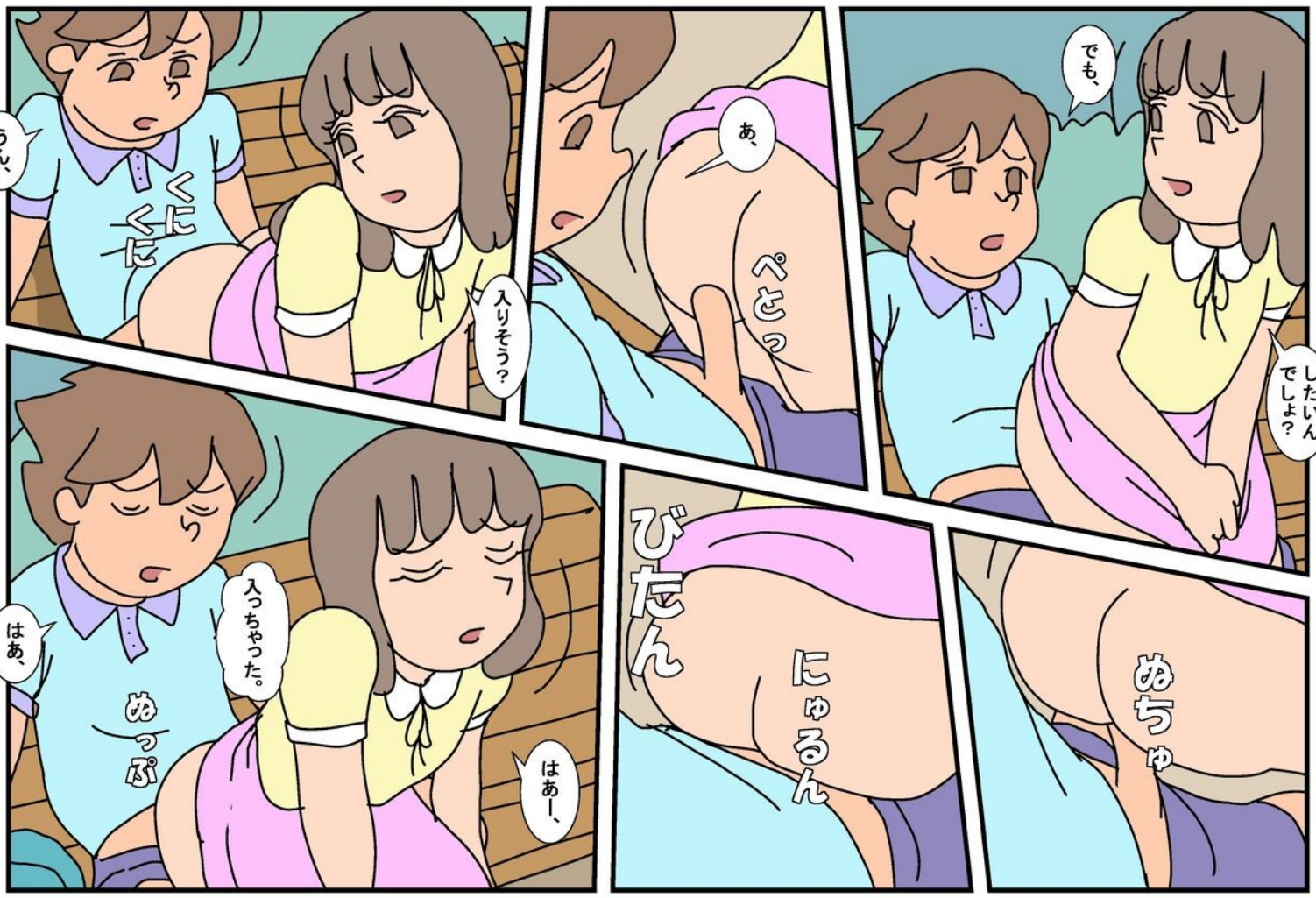

あの、佐倉さん、
手でいい？
あ、
くいっ
ずるっ
くにゅ
これだったら見えないかな？
佐倉さん、
にゅ
はあ、
にゅん
にゅ
にゅっ
にゅっ
ナオト君、
どう？

気持ちいい？
うん。
くりっ
くるん
あうっ、
にゅっ
まだ出ない？
うぅん。
くにゅっ
やっぱり手だけじゃだめなのかなあ。
ふう。
口がいいんだよね？
え？
ぺろ
れろ


お昼寝かぁ、
佐倉さん、行ったけど、
やっぱりここはまずいよ。
ん
ああ、
ん、
ん、
にゅぷにゅぷ
む
はあ、
んぐんぐ
かぷ
ねえママ、
ちゅぷちゅぷ
んっんっ
え？
お昼寝かな？
ふーん
最近の子は塾とかで大変なのね。
あれは何してるの？
あ！
ん

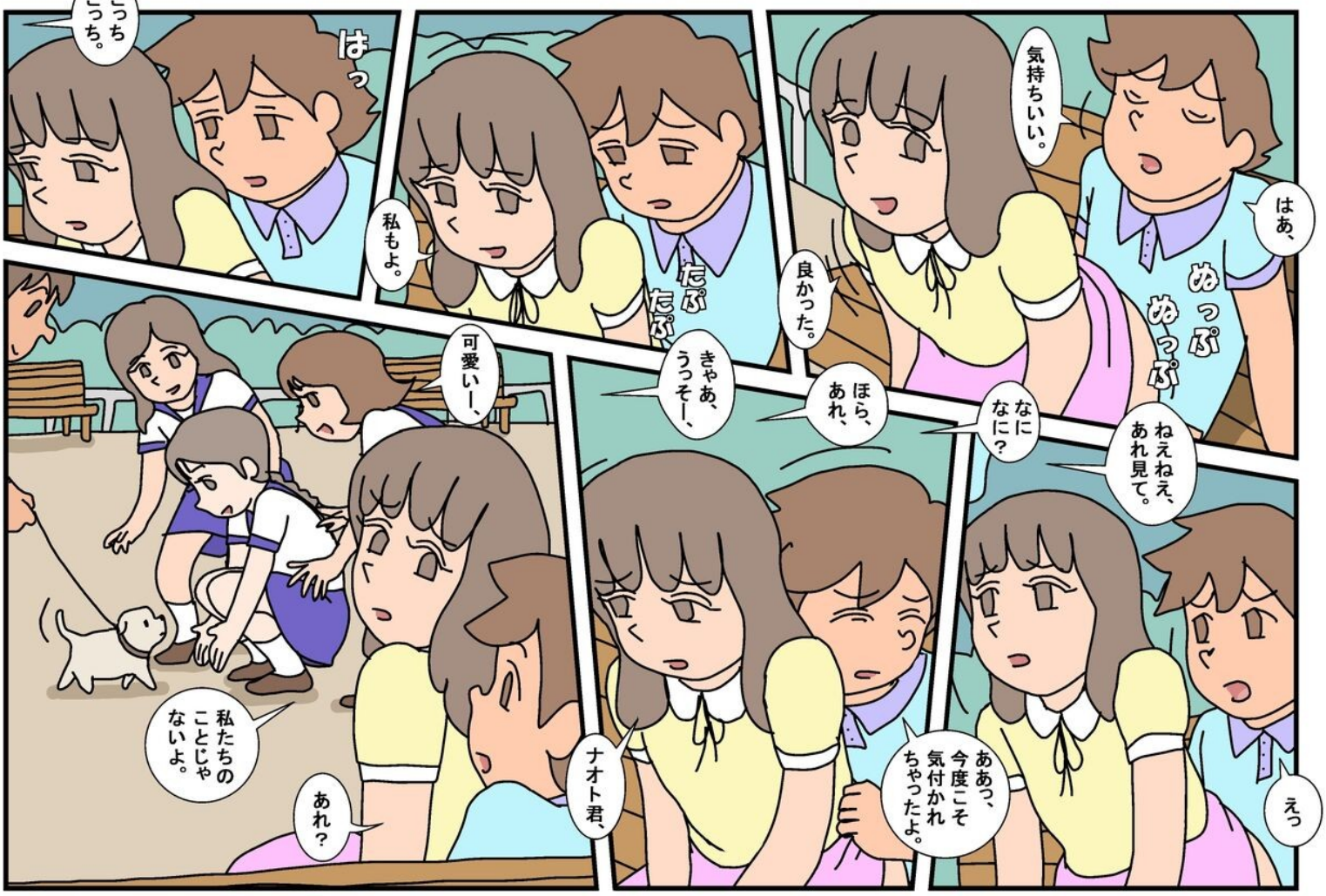
佐倉さん、
ぬぷ
ぬぷ
あ、
んむ
んむ
んぷ
んぷ
ん
にゅう
ぽん
はあー、
これもだめ？
あ、いや、
すごく気持ちいいんだけど、
けど？

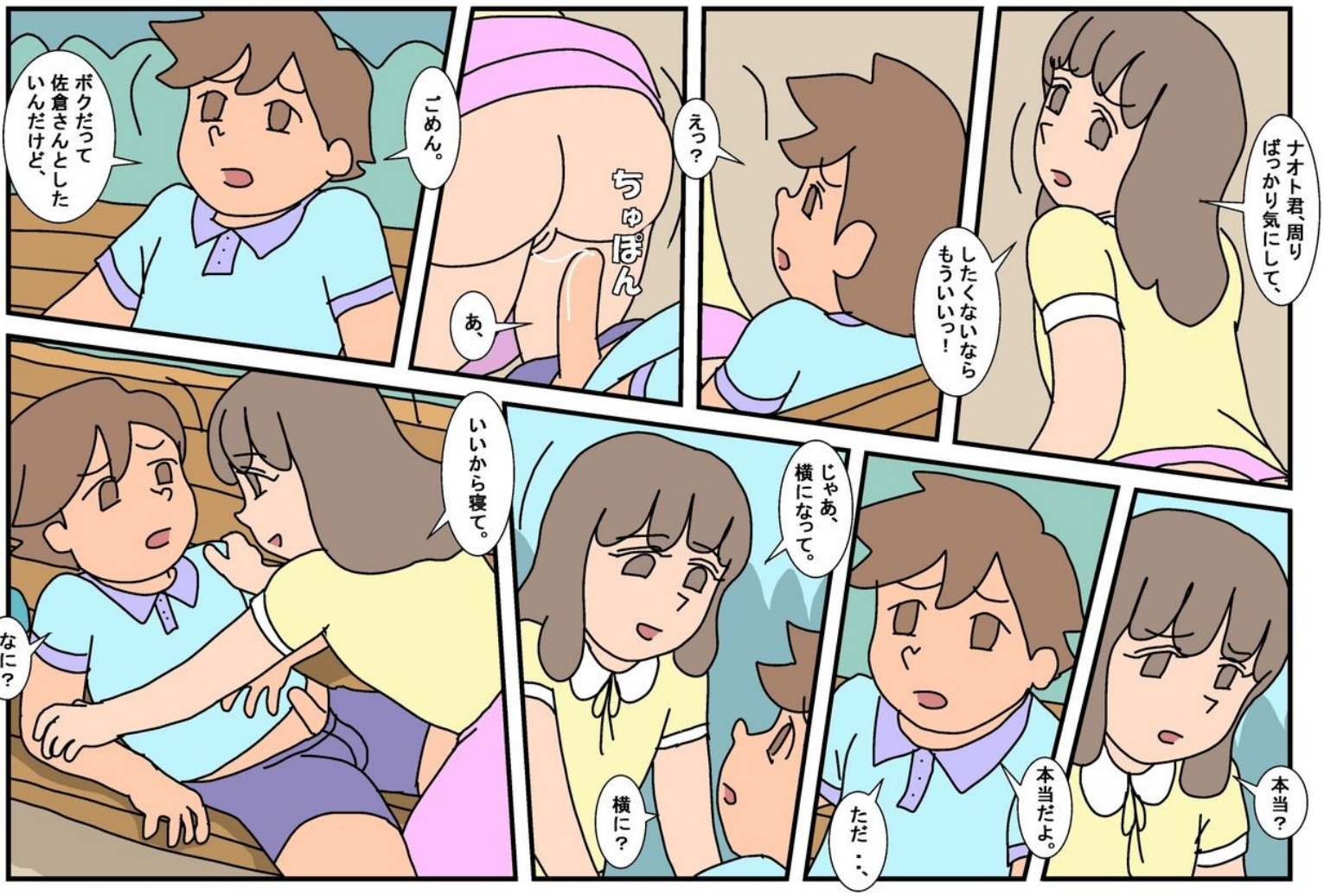
どうしても周りが気になっちゃって、
口じゃ駄目なんだ・・。
ごめん、せっかくしてくれたのに・・、
なにしてるの？
え、
脱がないと出来ないから、
あの、
出来ないって何が？
だから・・、
セックス・・。
ええっ！
ダメだよ、佐倉さん、
人に見られたら・・、
私はいいの、
ナオト君のためだもん。

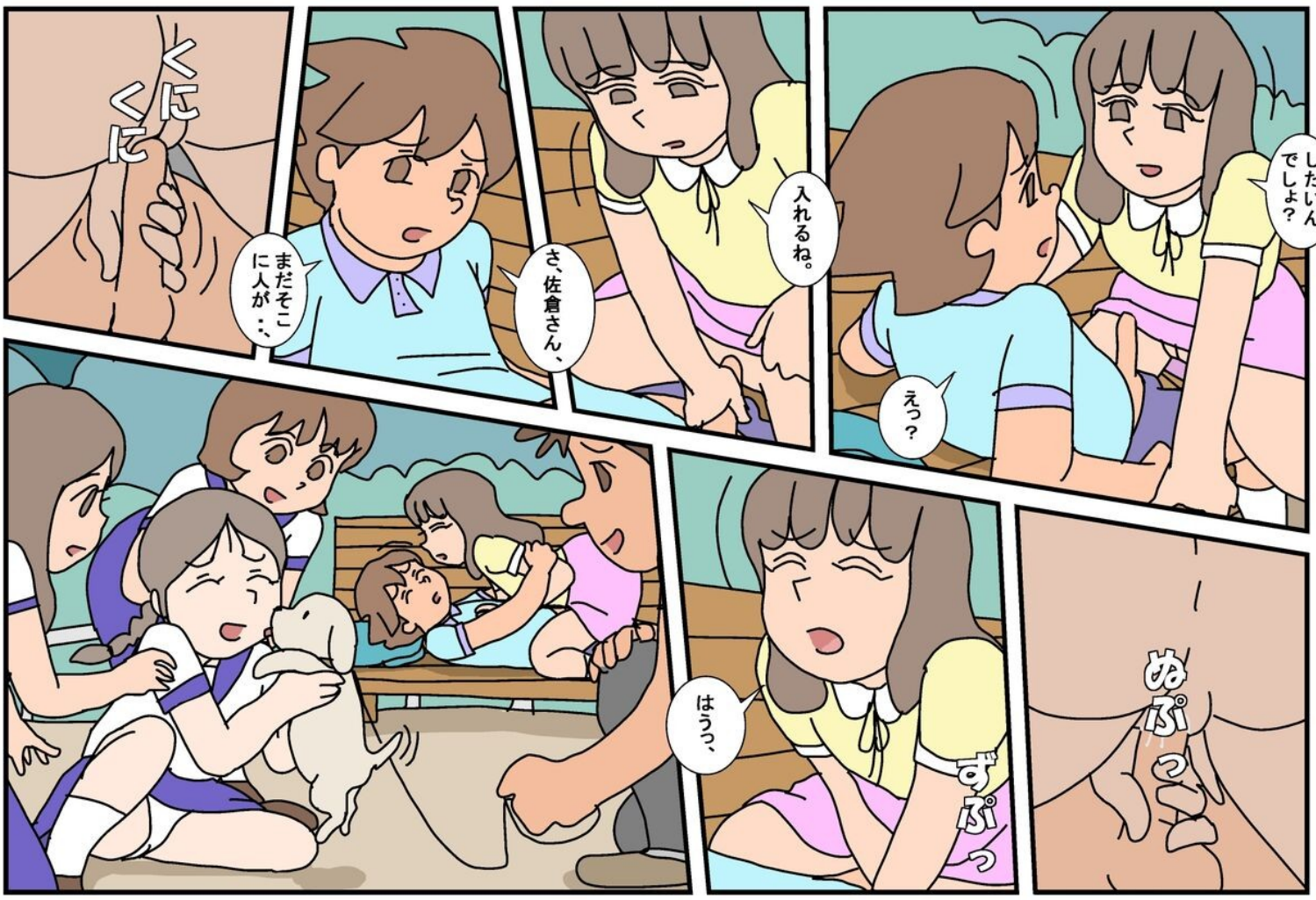

でも、
したいんでしょ？
ぬちゅ
にゅるん
びたん
あ、
ぺとっ
入りそう？
くにくに
うん、
はあー、
入っちゃった。
ぬっぷ
はあ、

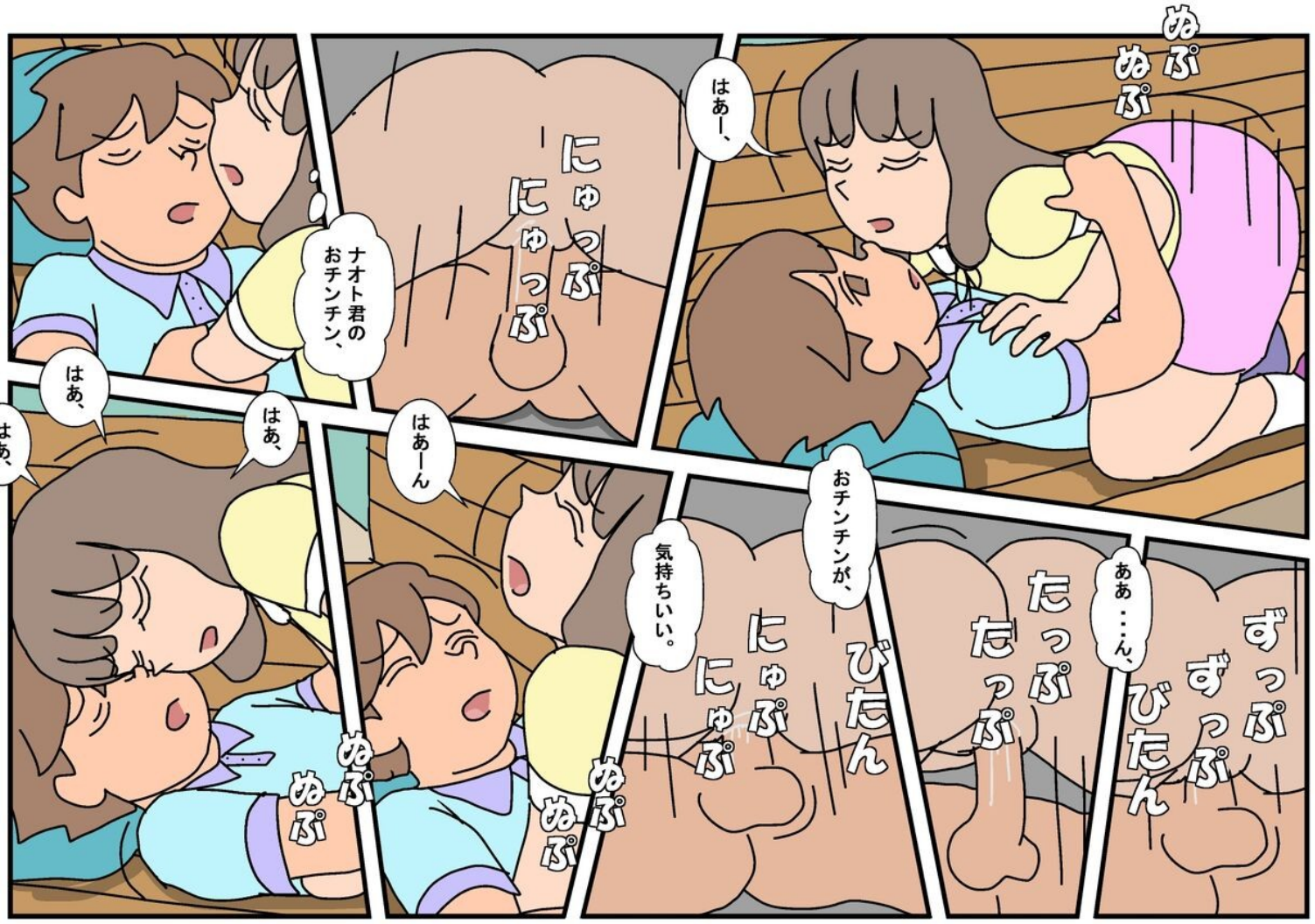
私が動くから。
ナオト君は動かなくていいよ。
あ、うん。
にゅぷ
にゅう
にゅん
ぺたん
ぬっぷぬっぷ
はあ、
はあん、
あ、佐倉さん、
ぬぷぬぷ

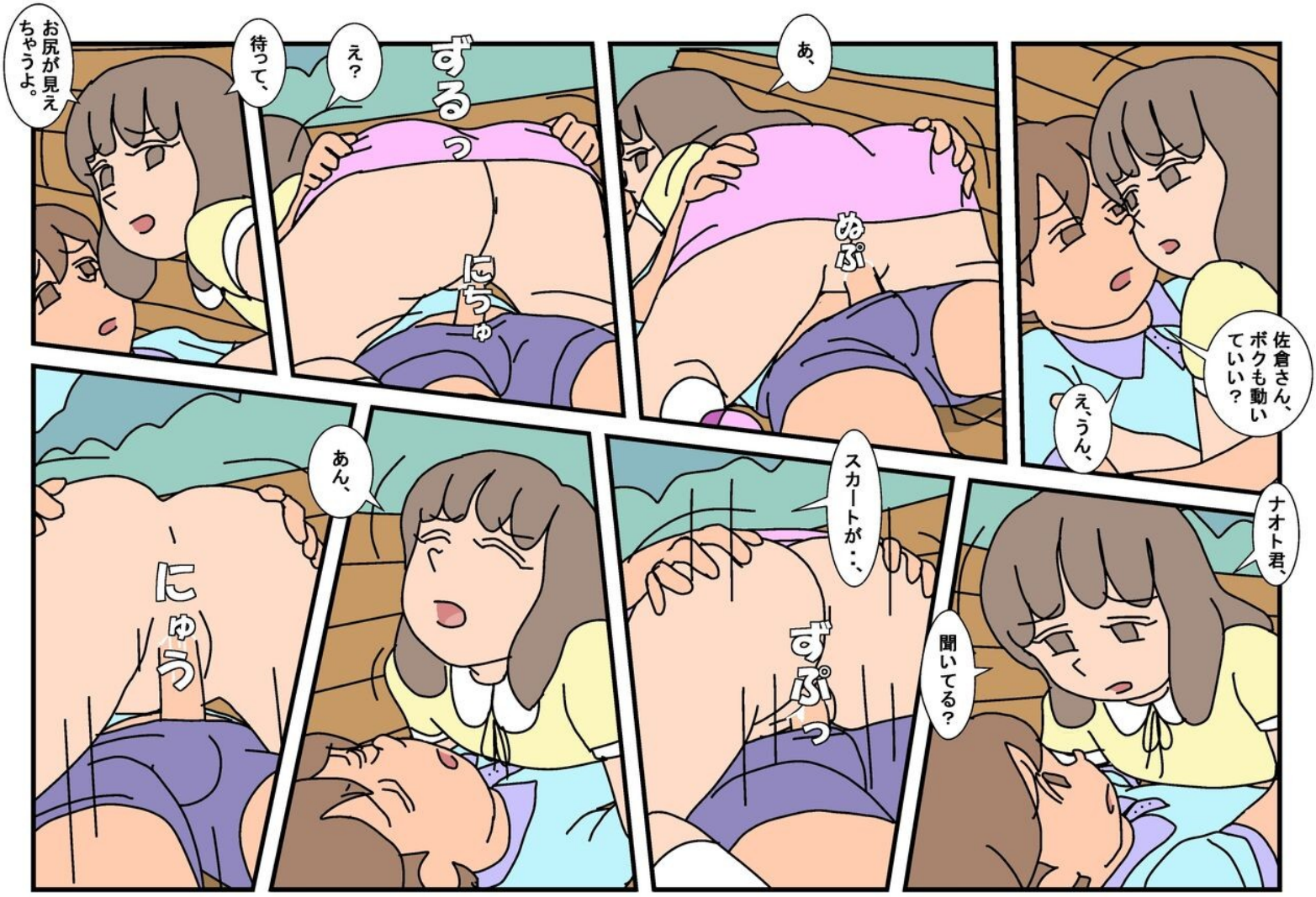
待って。
ぬっぷ
ぬっぷ
どうしたの？
今の子たちが見てたんだ。
たぷ
たぷ
そう？
あっ！
行っちゃったよ。
ぬぷ
ぬぷ
にゅぷ
にゅぷ
でも、また人が来るよ。
ぬぷ
ぬぷ
大丈夫よ、ちゃんと私が見てるから。
うん。
くにゅ
くにゅ
どう？

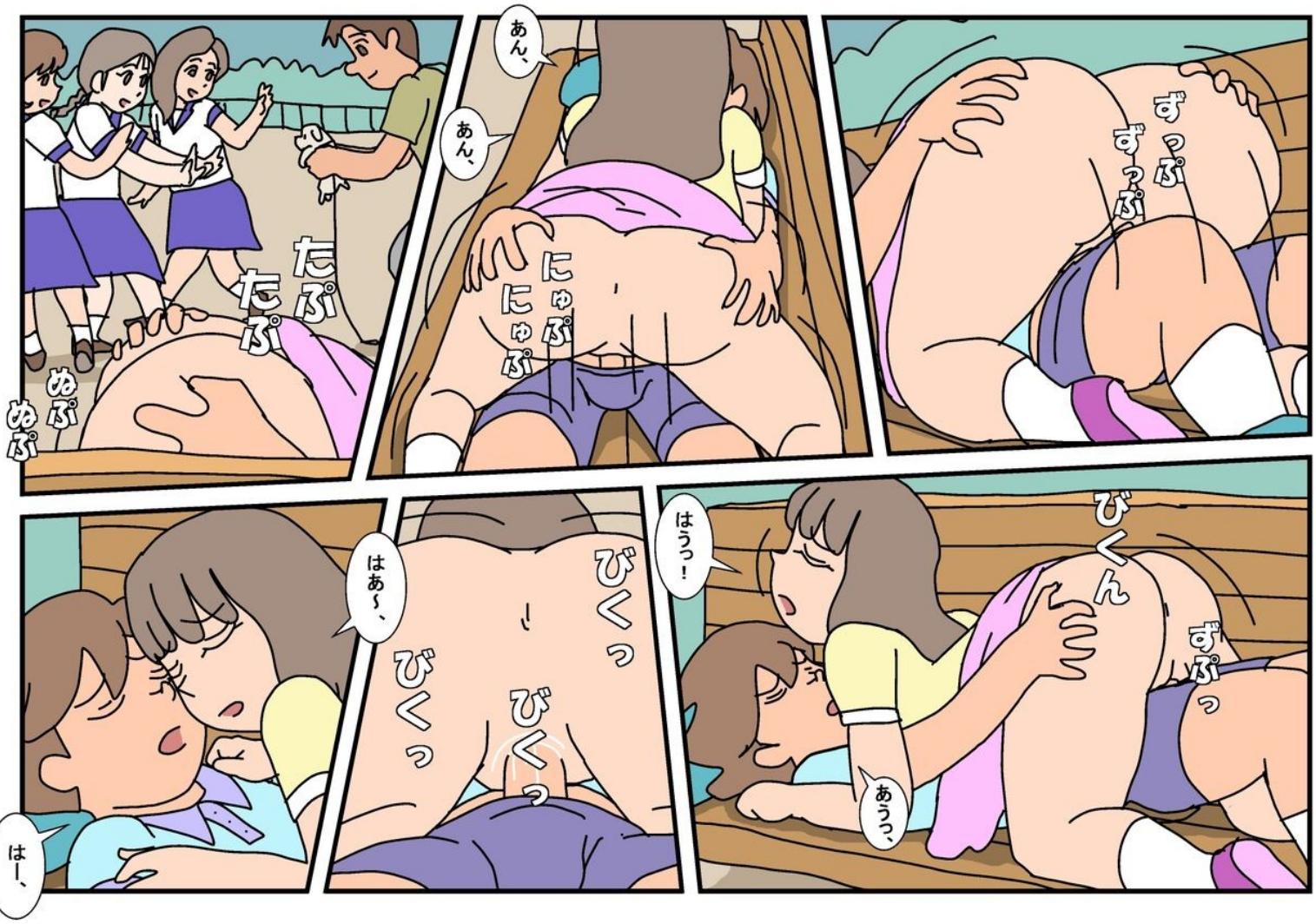

はあ、
ぬっぷ
ぬっぷ
気持ちいい。
ねえねえ、あれ見て。
なになに？
ほら、あれ、
良かった。
きゃあ、うっそー、
たぷ
たぷ
私もよ。
可愛いー、
はっ
こっちこっち。
えっ
ああっ、今度こそ気付かれちゃったよ。
ナオト君、
私たちのことじゃないよ。
あれ？

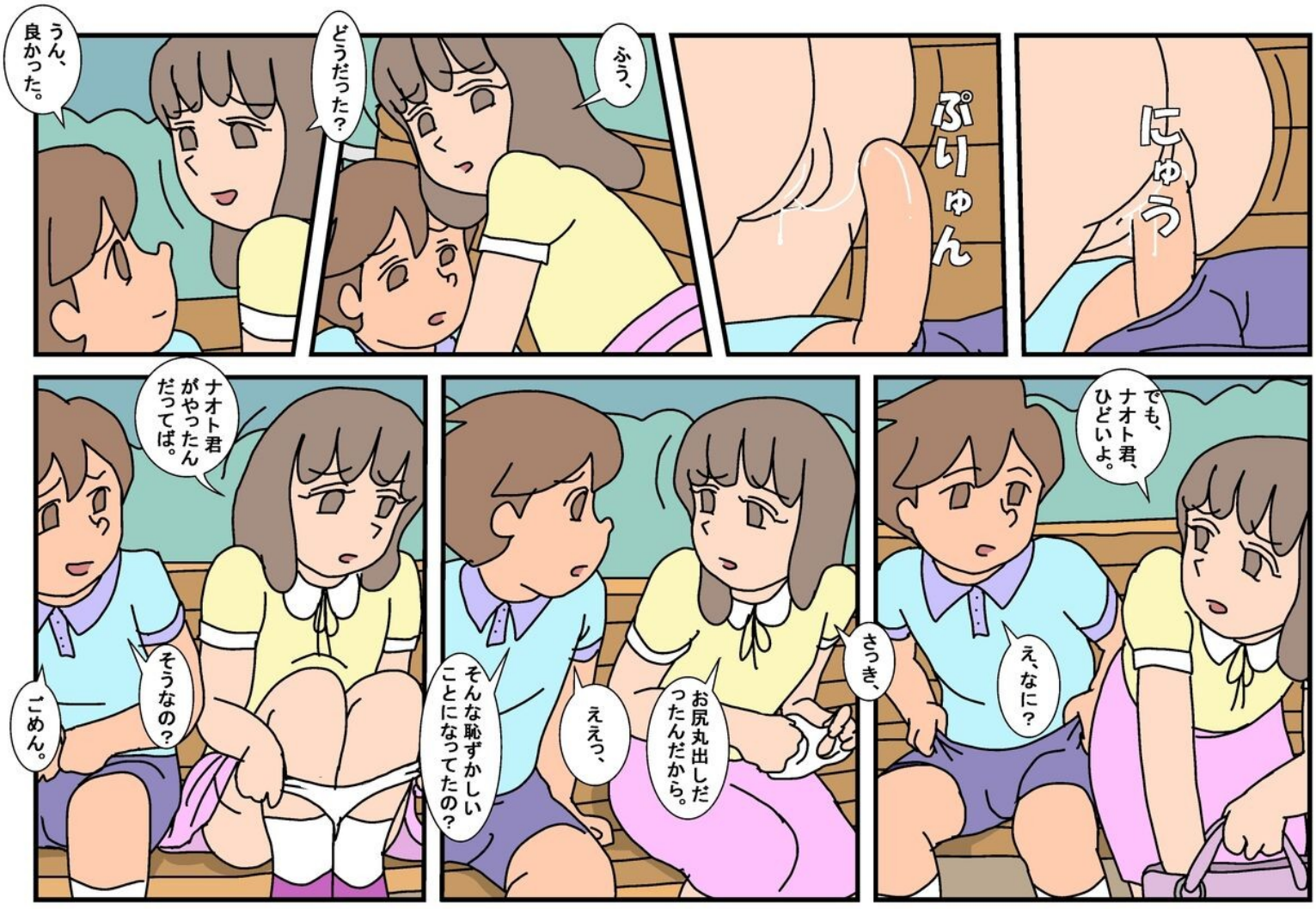

ナオト君、周りばっかり気にして、
本当？
本当だよ。
ただ・・、
じゃあ、横になって。
横に？
いいから寝て。
なに？
えっ？
ちゅぽん
あ、
ごめん。
ボクだって佐倉さんとしたいんだけど、
したくないならもういいっ！

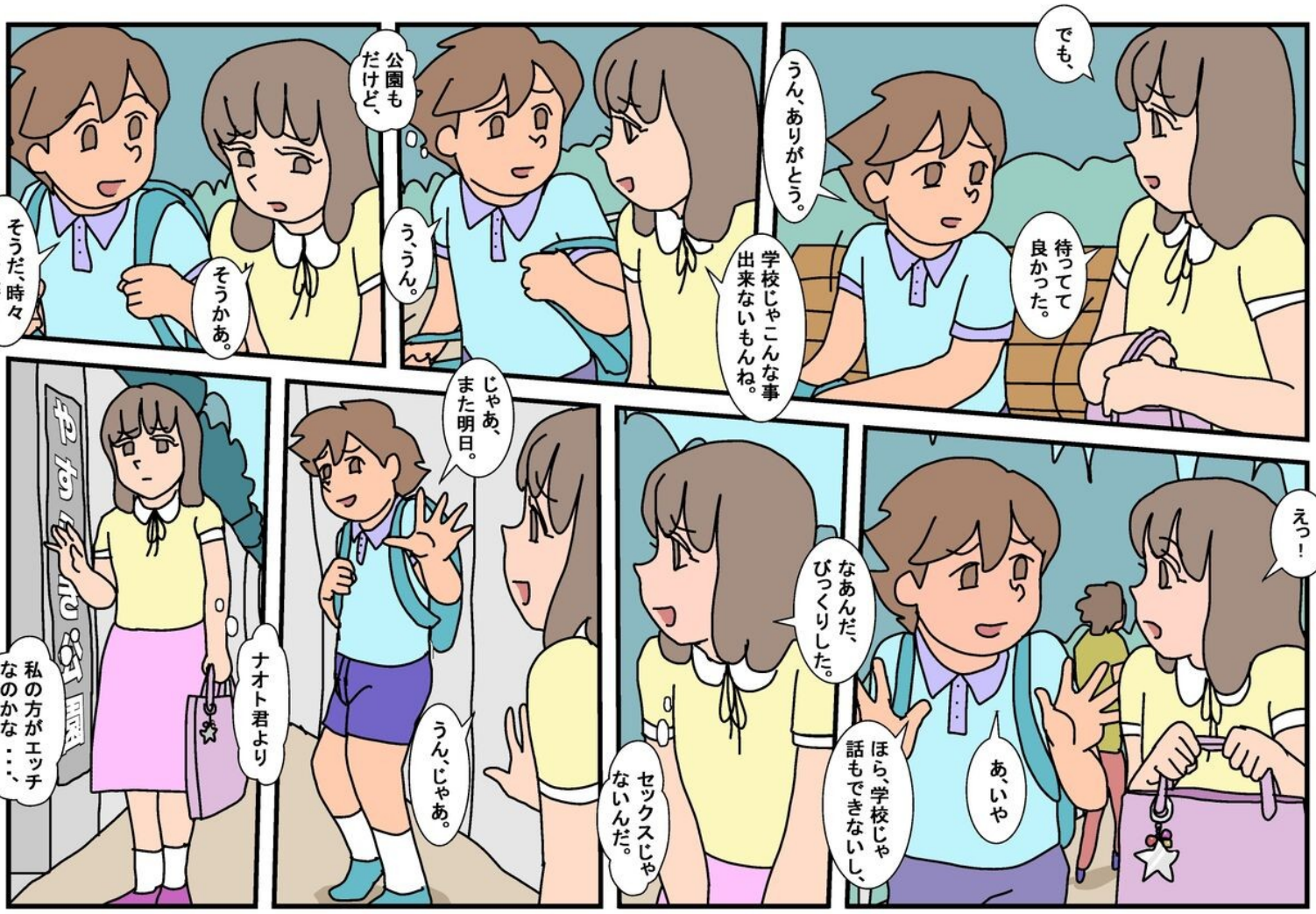

したいんでしょ？
えっ？
入れるね。
さ、佐倉さん、
まだそこに人が・・
くにくに
ぬぷっ
ずぷっ
はうっ、

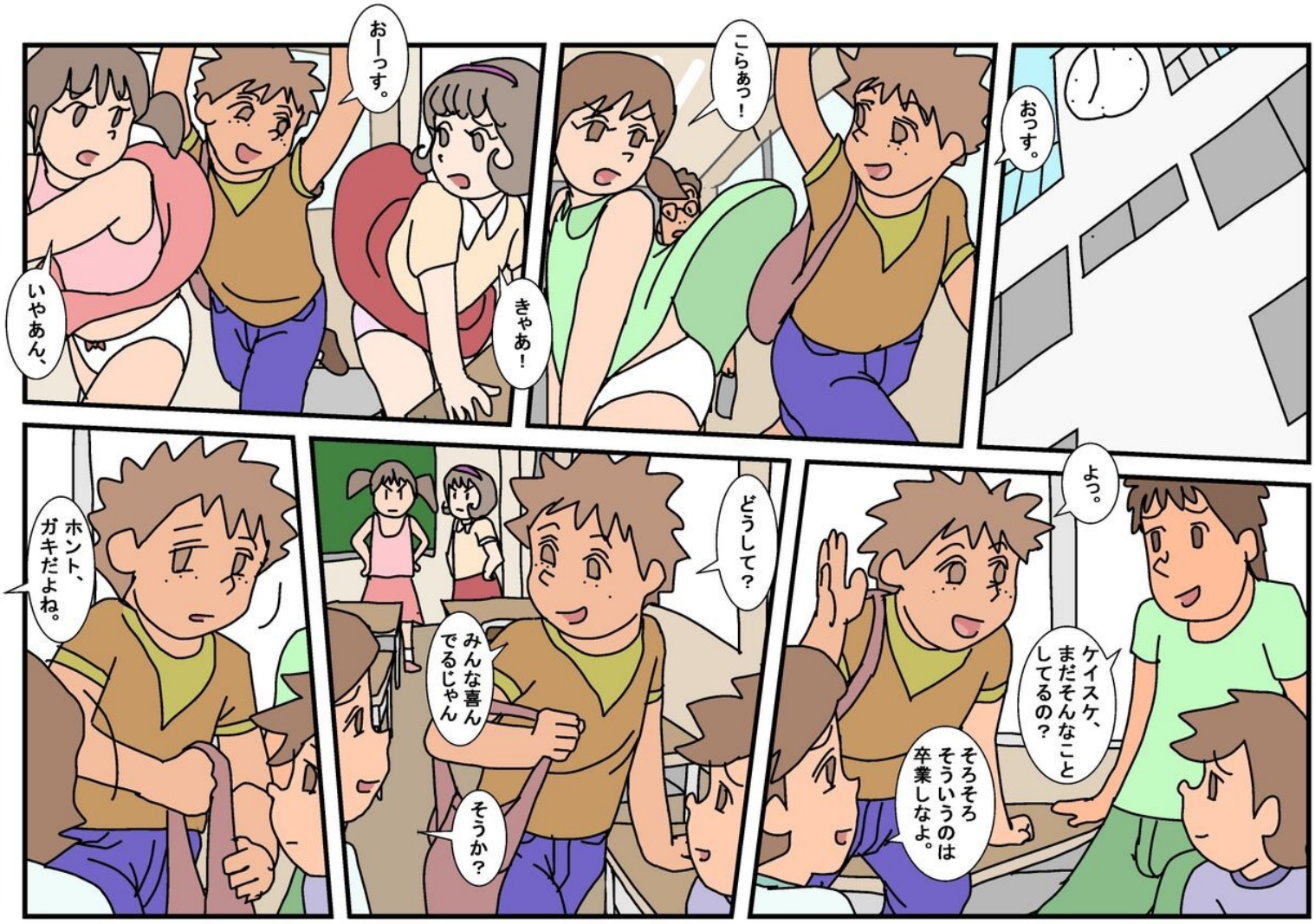

ぬぷぬぷ
はあー、
にゅっぷにゅっぷ
ナオト君のおチンチン、
はあ、
はあ、
はあーん
はあ、
はあ、
ぬぷぬぷ
おチンチンが、
気持ちいい。
ぬぷぬぷ
にゅぷにゅぷ
びたん
ああ…ん、
たっぷたっぷ
ずっぷずっぷ
びたん

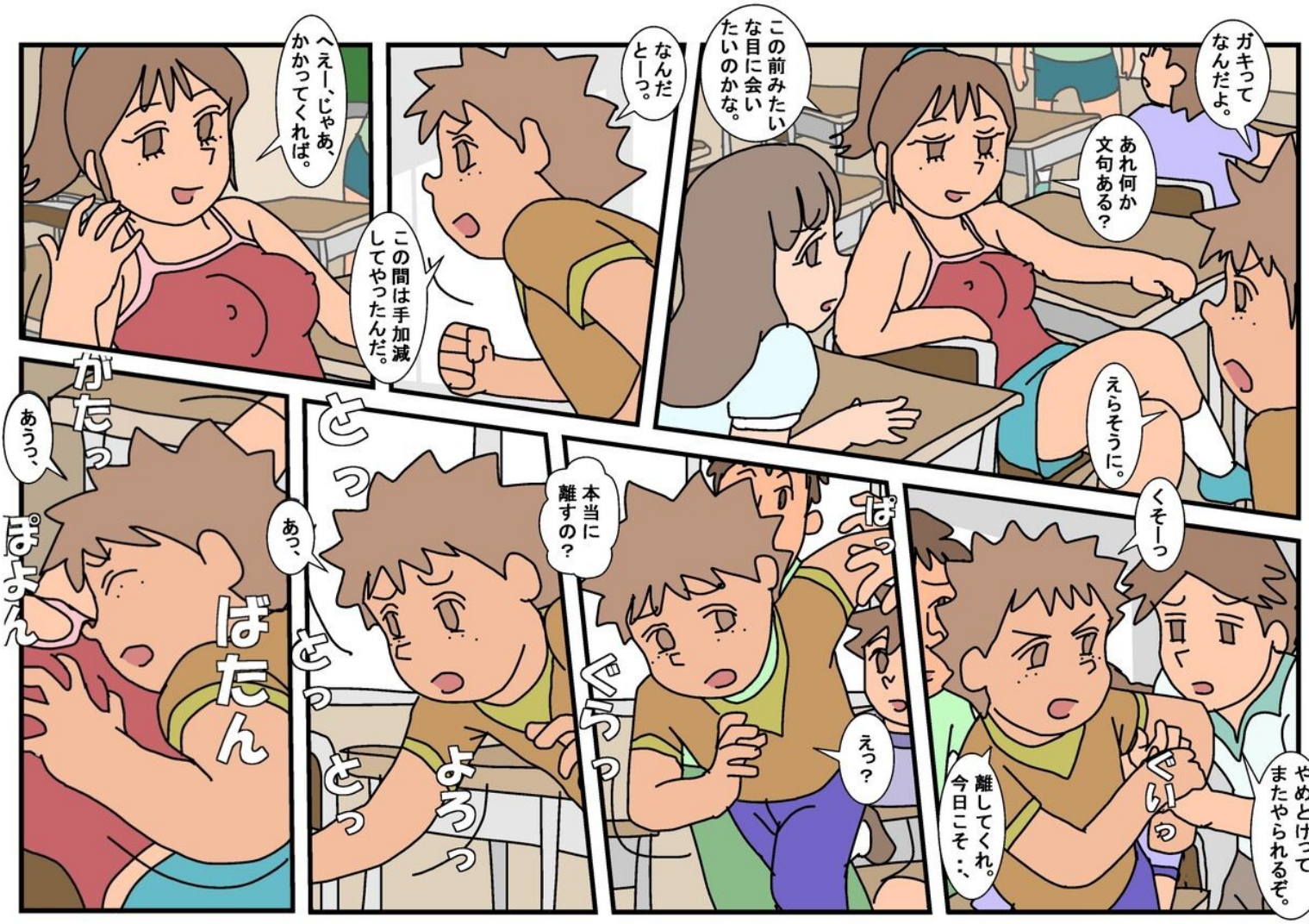

ナオト君、
聞いてる？
佐倉さん、
ボクも動いていい？
え、うん、
ぬぷ
あ、
スカートが・・・
ずぷっ
にちゅ
ずるっ
え？
待って、
お尻が見えちゃうよ。
にゅう
あん、

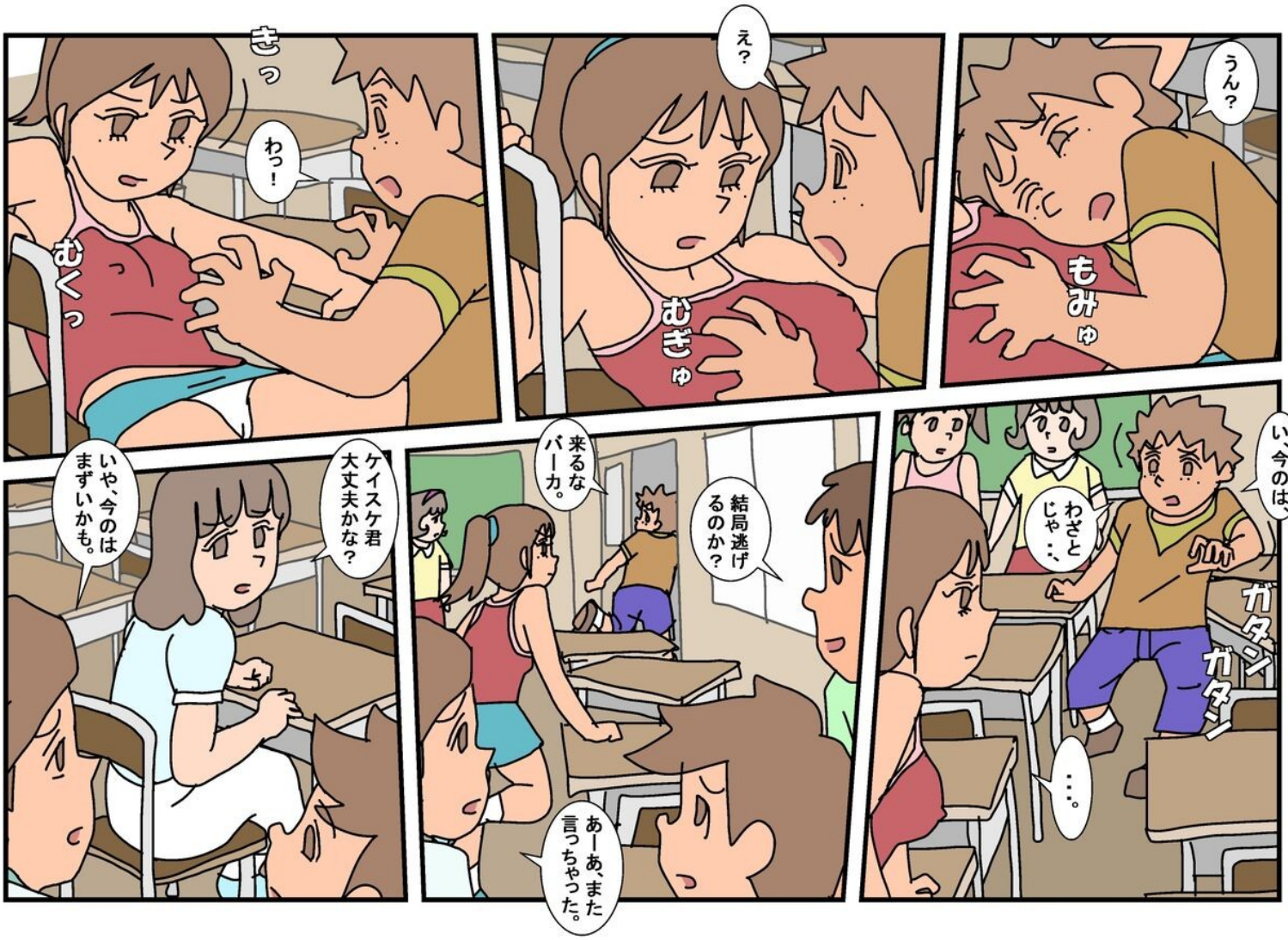

たぷ
たぷ
ぬぷ
ぬぷ
あん、
あん、
にゅぷ
にゅぷ
ずっぷ
ずっぷ
はうっ！
びくん
ずぷっ
あうっ、
はあ～、
びくっ
びくっ
びくっ
はー、

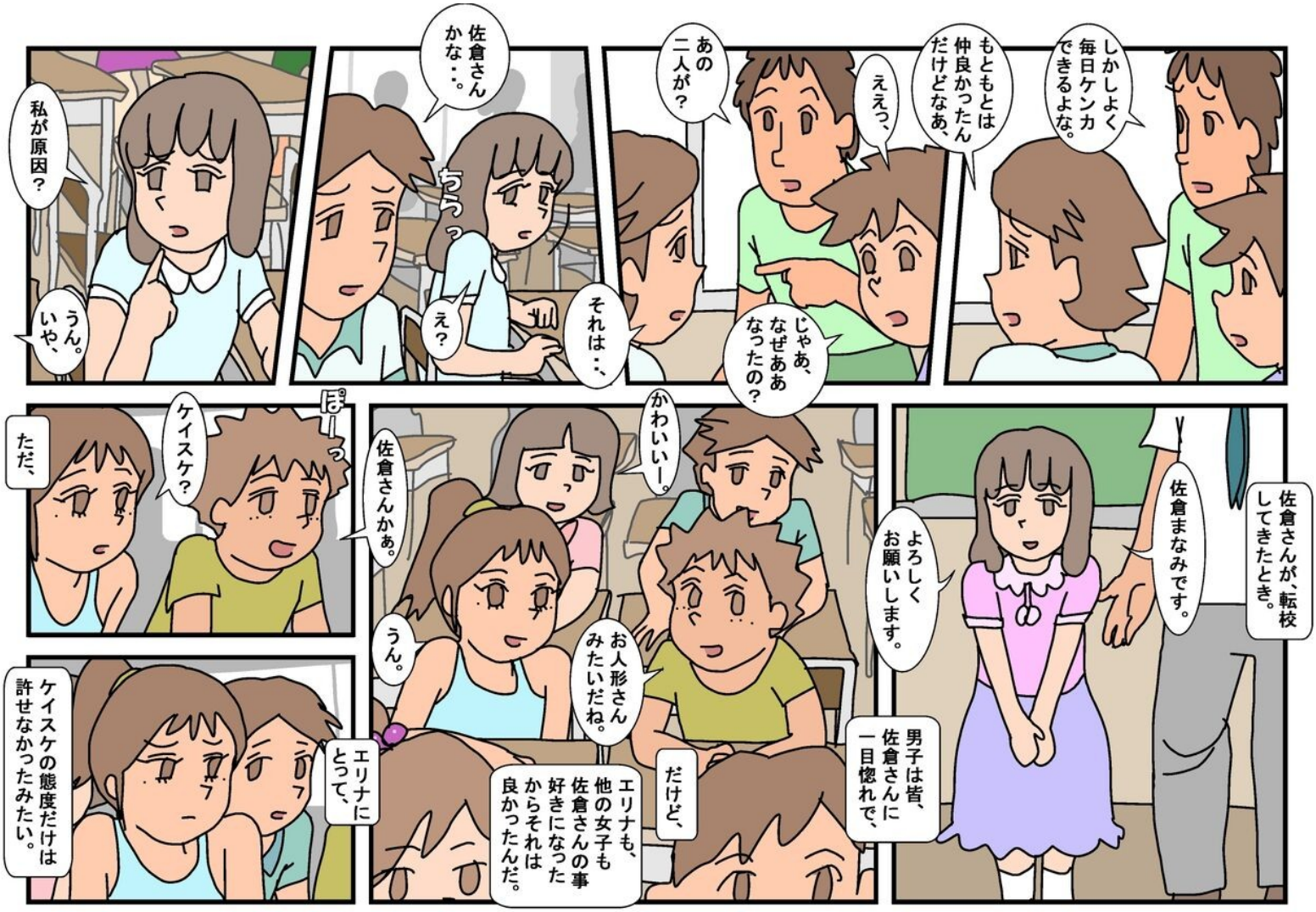

にゅう
ぷりゅん
ふう、
どうだった？
うん、良かった。
でも、ナオト君、ひどいよ。
え、なに？
さっき、
お尻丸出しだったんだから。
ええっ、
そんな恥ずかしいことになってたの？
ナオト君がやったんだってば。
そうなの？
ごめん。

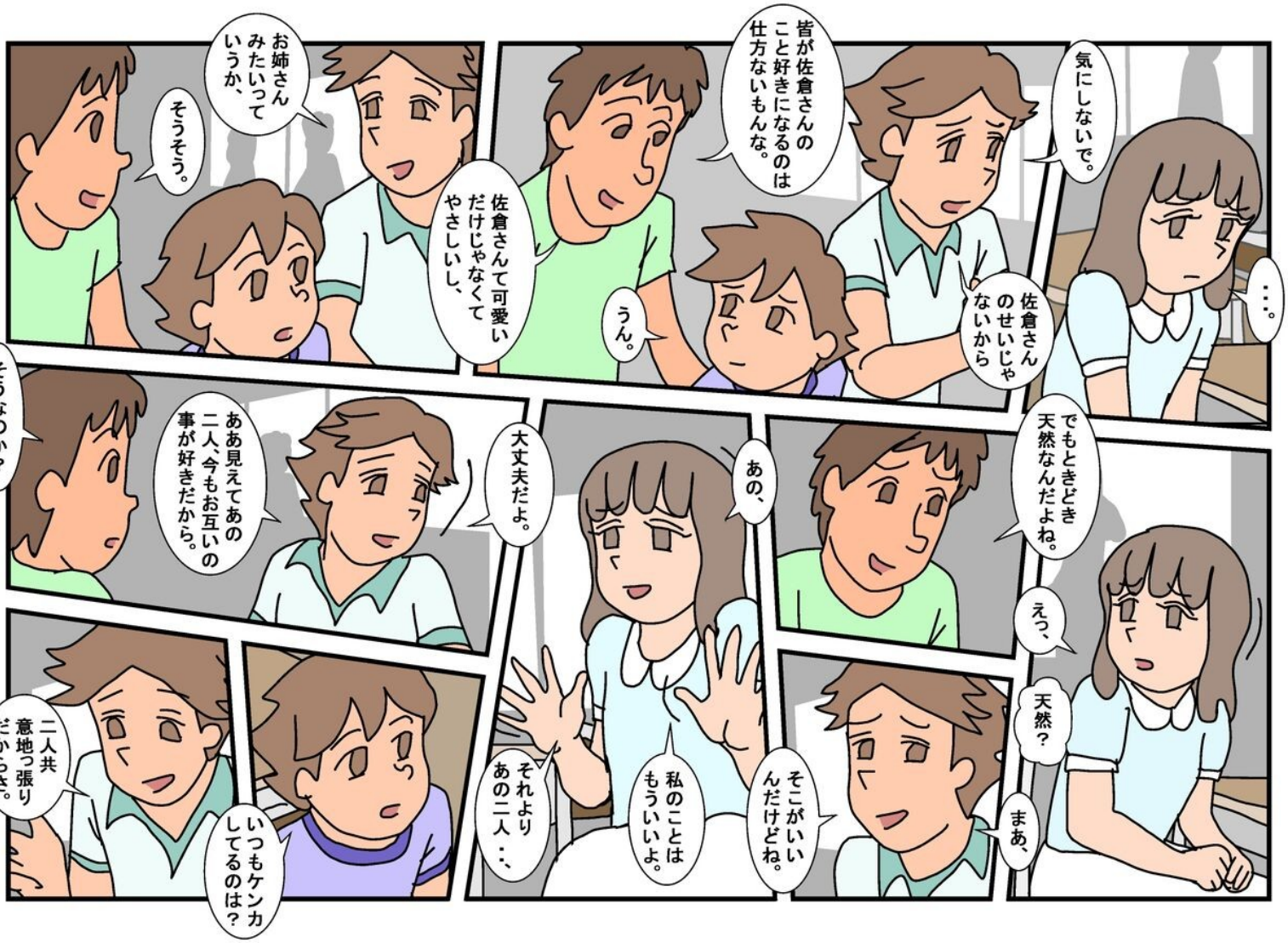

えっ！
なあんだ、びっくりした。
あ、いや
ほら、学校じゃ話もできないし、
セックスじゃないんだ。
でも、
待ってて良かった。
うん、ありがとう。
学校じゃこんな事出来ないもんね。
じゃあ、また明日。
うん、じゃあ。
ナオト君より
私の方がエッチなのかな・・・
公園もだけど、
う、うん。
そうかあ。
そうだ、時々ここで逢う？


おっす。
こらあっ！
きゃあ！
おーっす。
いやあん、
よっ。
ケイスケ、まだそんなことしてるの？
そろそろそういうのは卒業しなよ。
どうして？
みんな喜んでるじゃん
そうか？
ホント、ガキだよね。

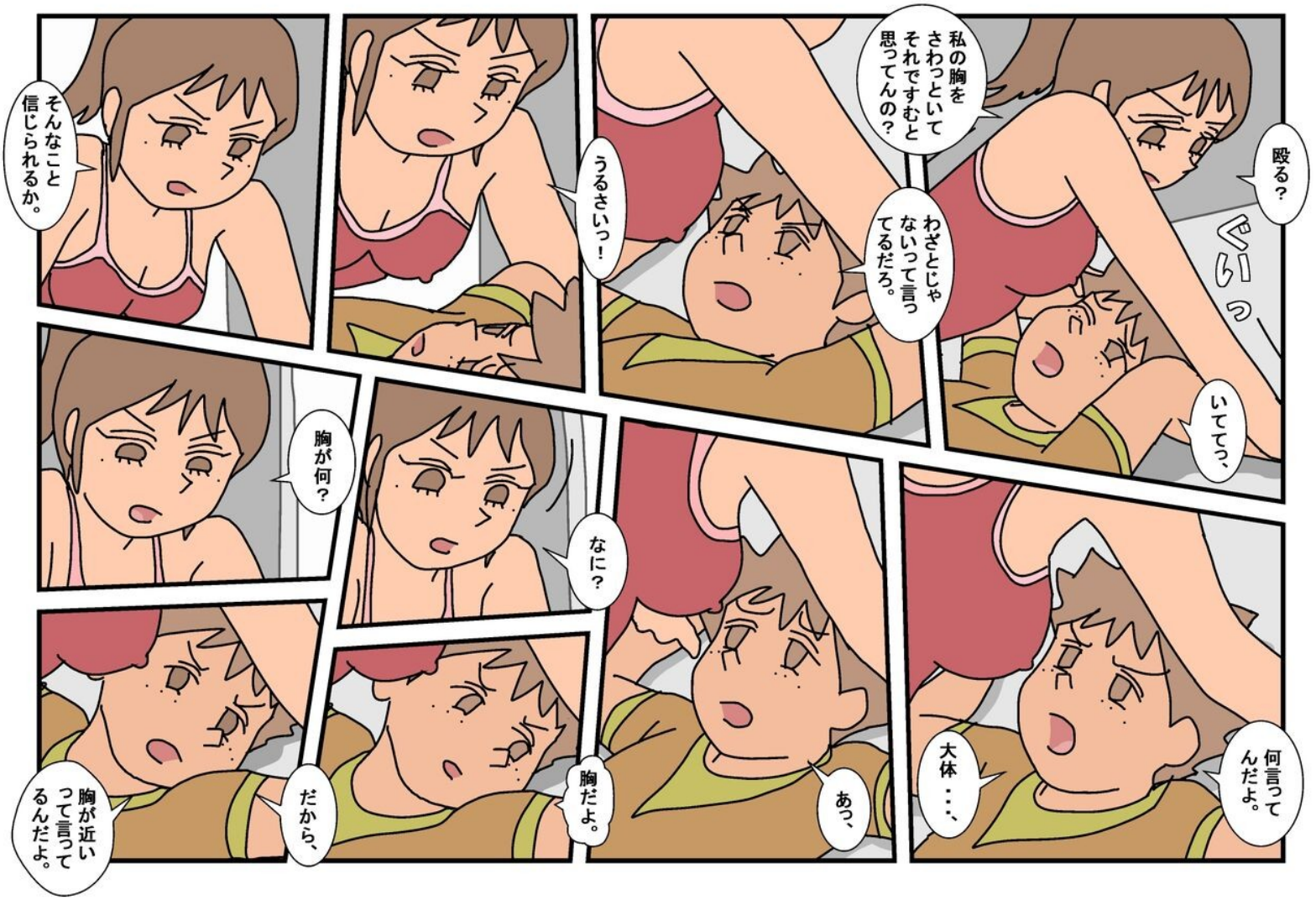

やめとけってまたやられるぞ。
ガキってなんだよ。
離してくれ。今日こそ…。
あれ何か文句ある？
えっ？
この前みたいな目に会いたいのかな。
本当に離すの？
えらそうに。
なんだとーっ。
くそーっ
この間は手加減してやったんだ。
へえー、じゃあ、かかってくれば。
ぐりっ
ぱっ
ぐっ
とっ
とっ
とっ
よろっ
あっ、
がたっ
ばたん
あうっ、
ぽよん

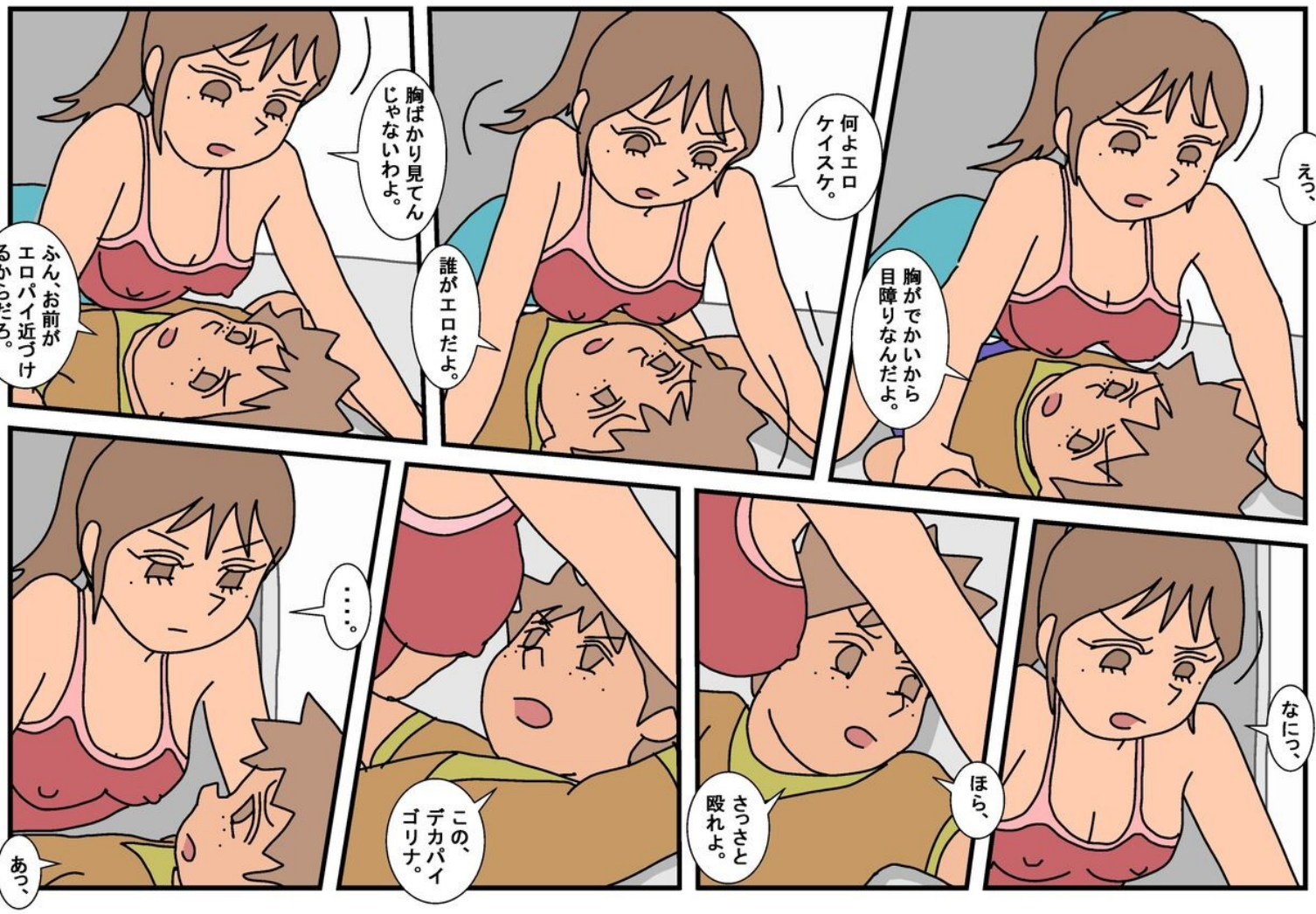

うん？
もみゅ
え？
むぎゅ
きっ
わっ！
むくっ
い、今のは、
わざとじゃ…、
ガタン
ガタン
…。
来るなバーカ。
結局逃げるのか？
あーあ、また言っちゃった。
ケイスケ君大丈夫かな？
いや、今のはまずいかも。

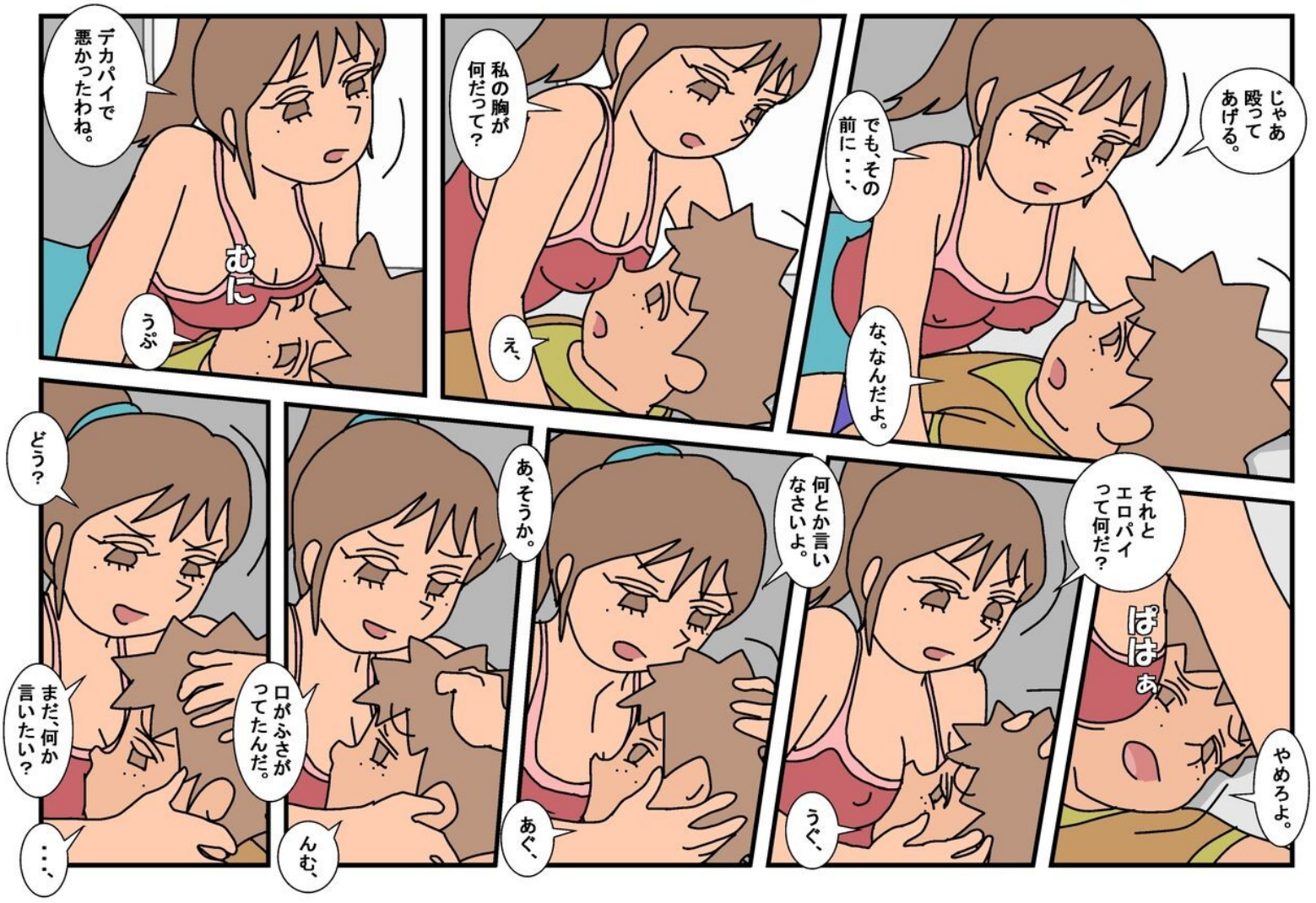

佐倉さんが、転校してきたとき。
佐倉まなみです。
よろしくお願いします。
男子は皆、佐倉さんに一目惚れで、
しかしよく毎日ケンカできるよな。
もともとは仲良かったんだけどなあ、
ええっ、
あの二人が？
じゃあ、なぜああなったの？
かわいいー。
だけど、
エリナも、他の女子も佐倉さんの事好きになったからそれは良かったんだ。
お人形さんみたいだね。
うん。
エリナにとって、
ケイスケの態度だけは許せなかったみたい。
それは…、
佐倉さんかぁ。
ケイスケ？
ただ、
佐倉さんかな…。
ちらっ
え？
私が原因？
うん。いや、

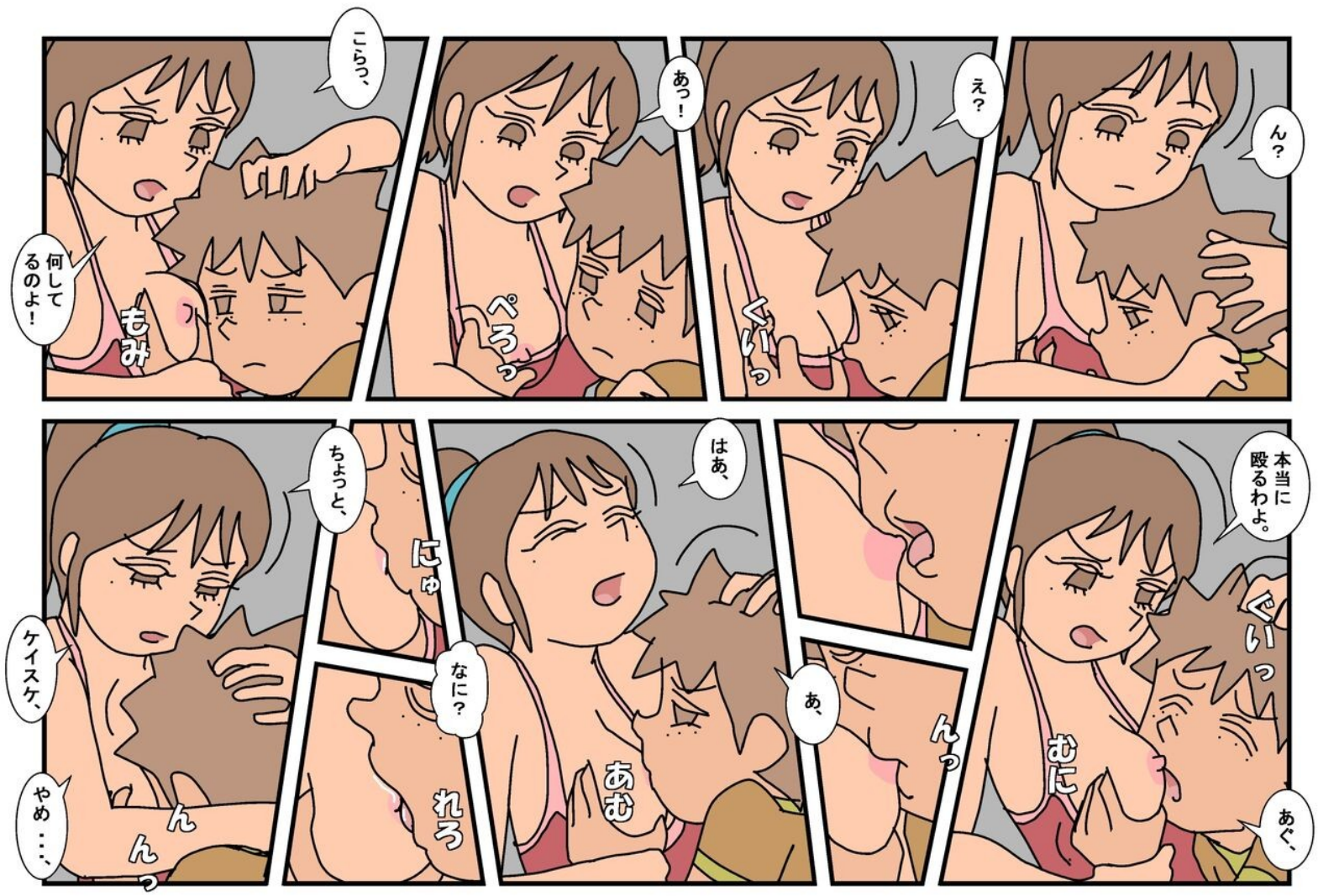

気にしないで。
…。
皆が佐倉さんのこと好きになるのは仕方ないもんな。
佐倉さんのせいじゃないから
うん。
佐倉さんて可愛いだけじゃなくてやさしいし、
お姉さんみたいっていうか、
そうそう。
でもときどき天然なんだよね。
えっ、
天然？
まあ、
そこがいいんだけどね。
私のことはもういいよ。
あの、
それよりあの二人…、
大丈夫だよ。
ああ見えてあの二人、今もお互いの事が好きだから。
そうなのか？
二人共意地っ張りだからさ。
いつもケンカしてるのは？

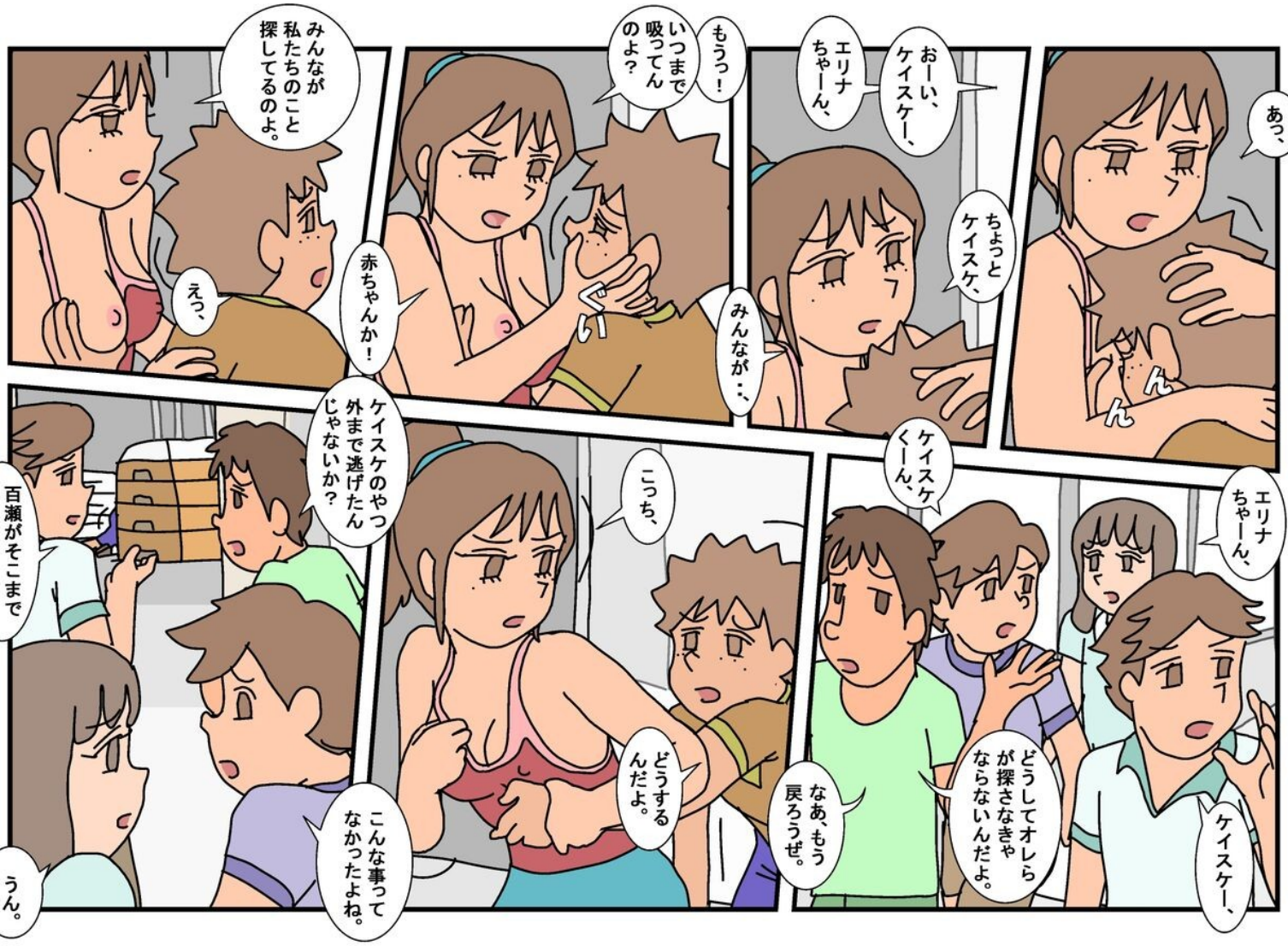
用具倉庫
たったっ
ケイスケ！
わっ、
殴るのか？
やってみろよ。
はあ、はあ、
さっ
ばっ
え？
がっ
ぐりっ
な、なんだよ。
ふうっ
エリナのオッパイ・・
揉んじゃった。

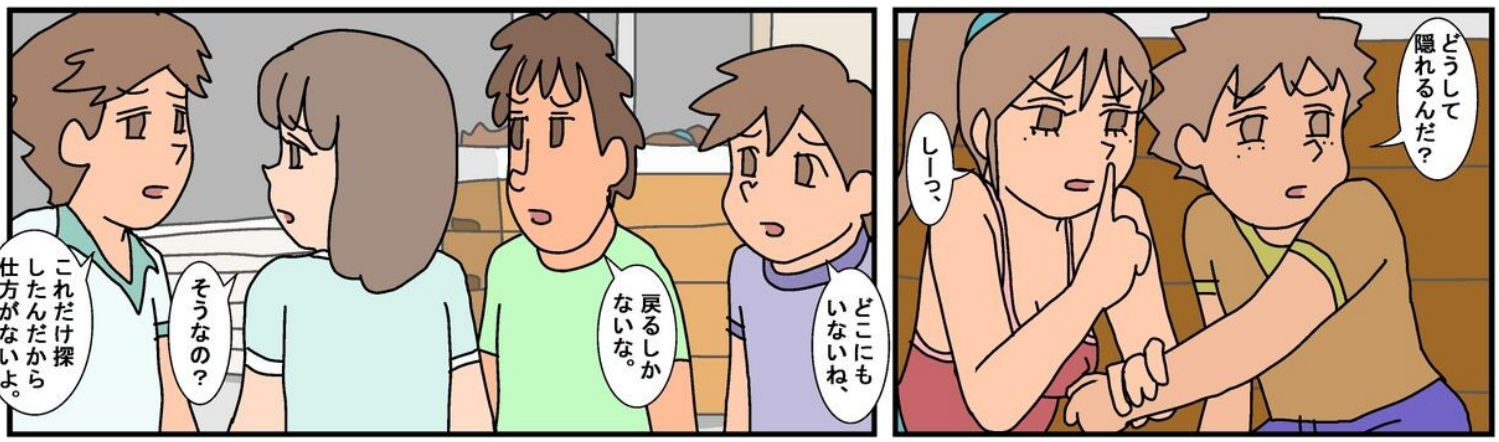

殴る？
ぐいっ
私の胸をさわっといてそれですむと思ってんの？
わざとじゃないって言ってるだろ。
うるさいっ！
いててっ、
何言ってんだよ。
大体・・・、
あっ、
胸だよ。
なに？
だから、
胸が近いって言ってるんだよ。
胸が何？
そんなこと信じられるか。

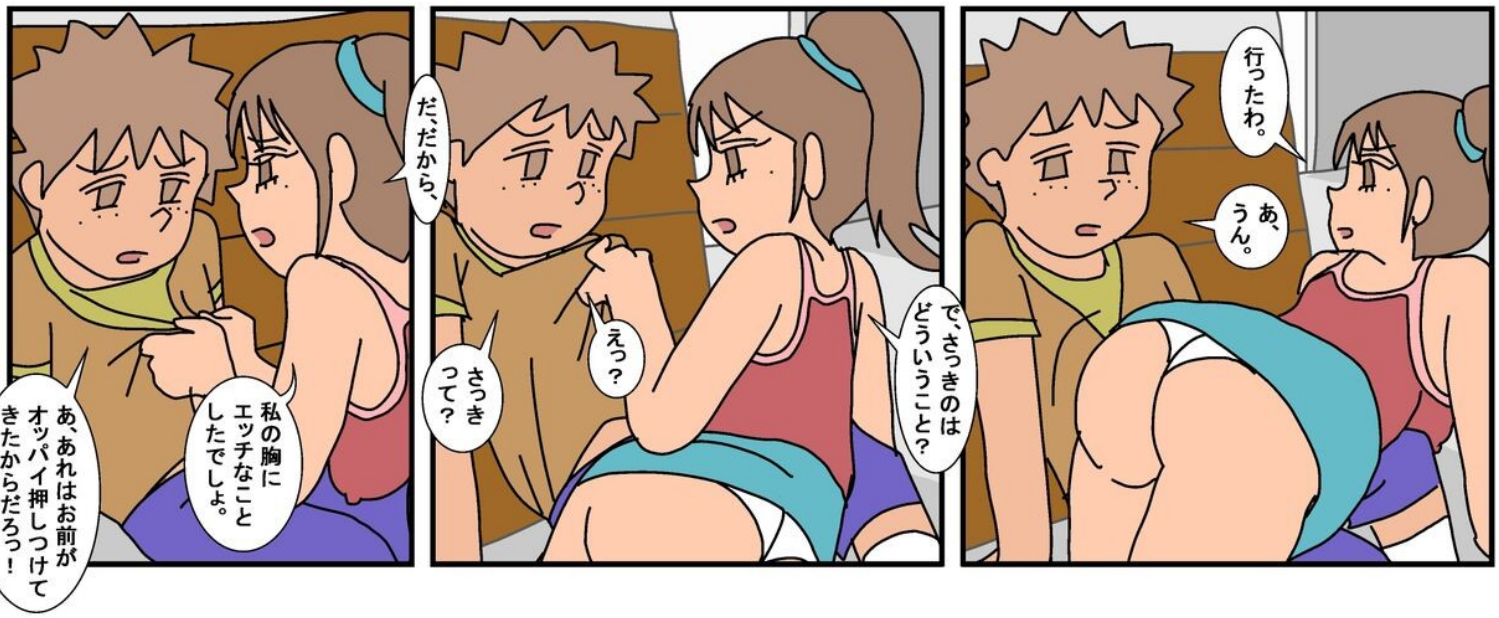

えっ、
胸がでかいから目障りなんだよ。
何よエロケイスケ。
誰がエロだよ。
胸ばかり見てんじゃないわよ。
ふん、お前がエロパイ近づけるからだろ。
なにっ、
ほら、
さっさと殴れよ。
この、デカパイゴリナ。
……。
あっ、

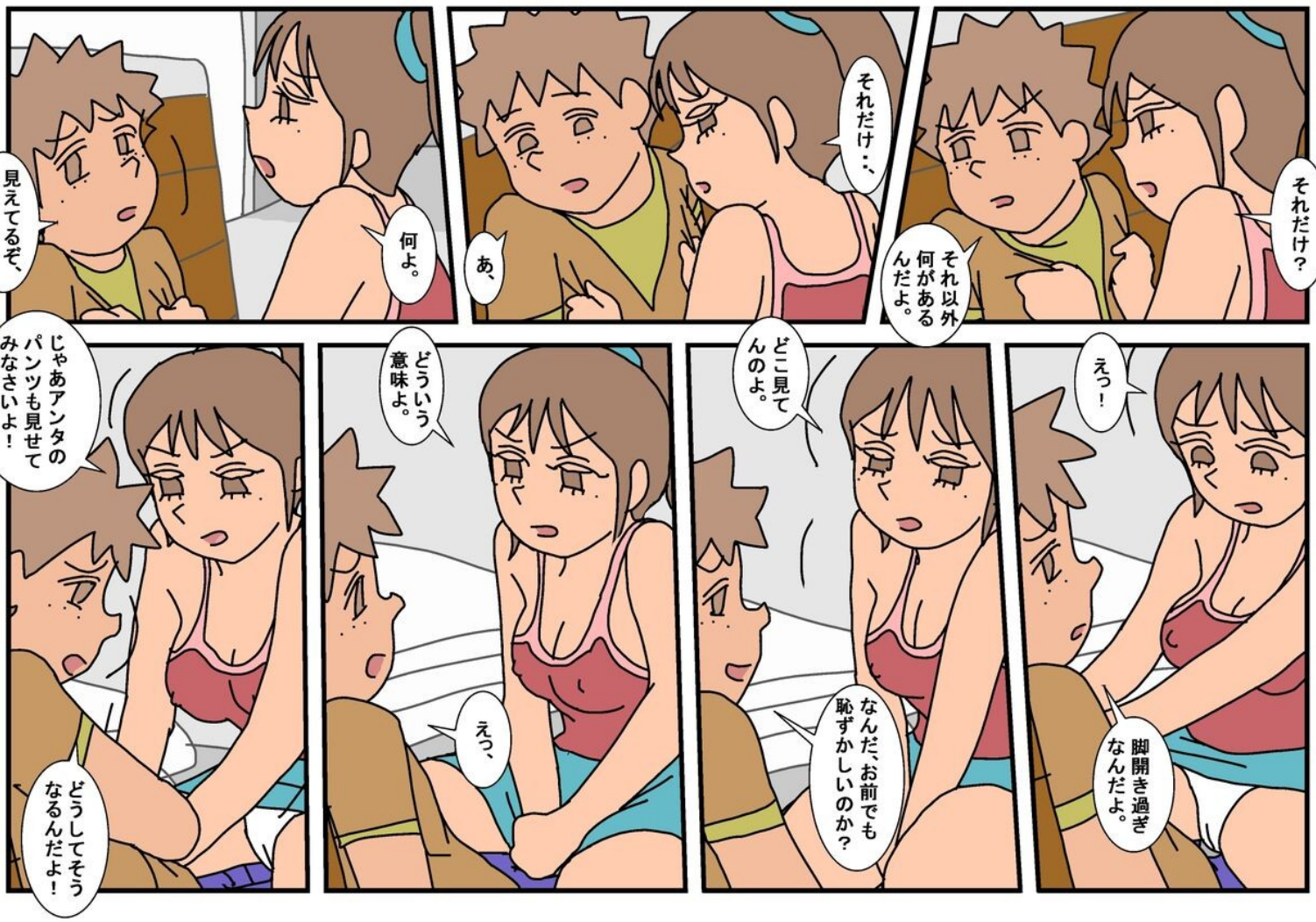

じゃあ殴ってあげる。
でも、その前に・・・、
な、なんだよ。
それとエロパイって何だ？
ぱはぁ
やめろよ。
私の胸が何だって？
え、
あ、そうか。
何とか言いなさいよ。
うぐ、
あぐ、
デカパイで悪かったわね。
むに
うぷ
どう？
口がふさがってたんだ。
んむ、
まだ、何か言いたい？
・・・、

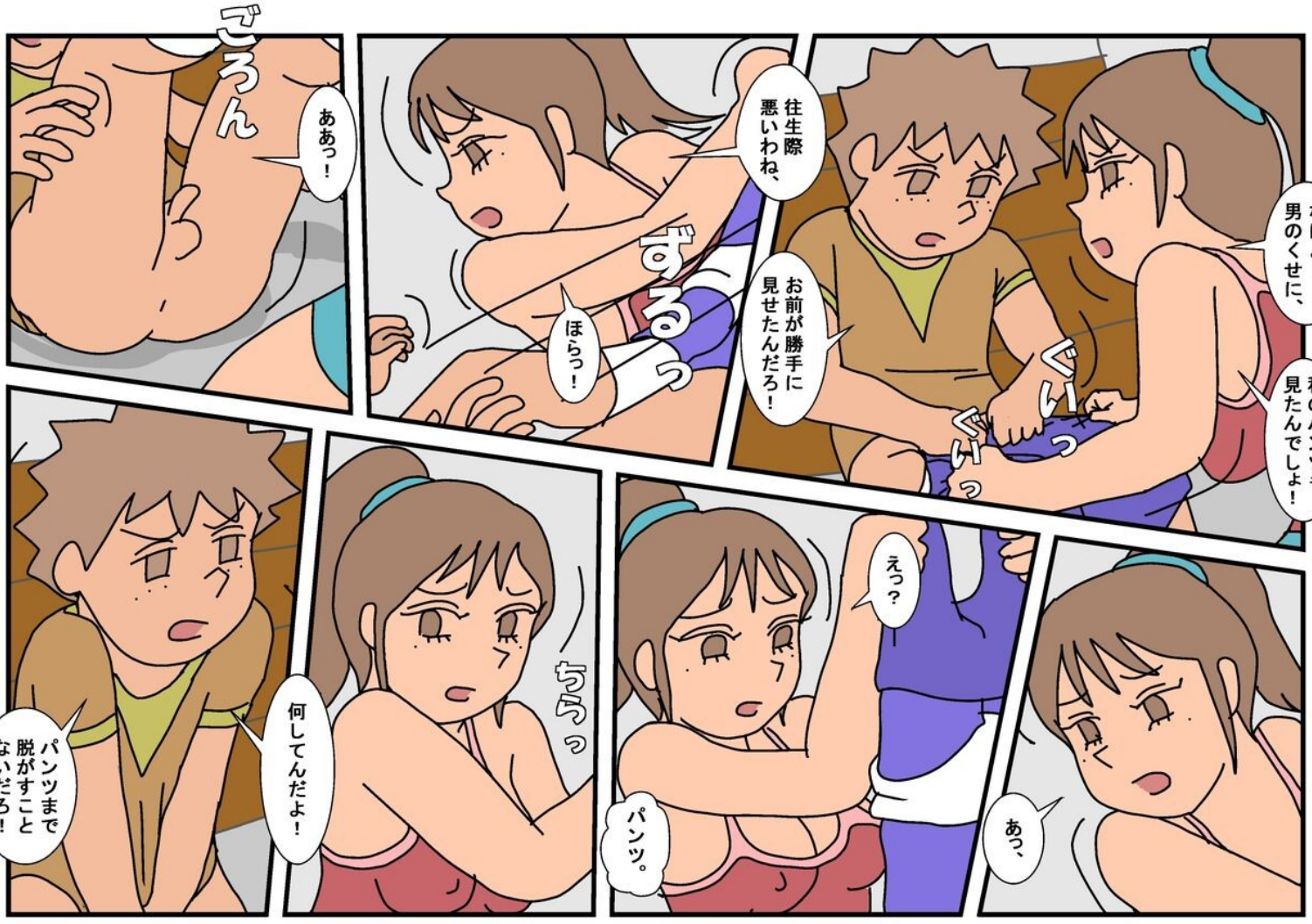

こらっ、
何してるのよ！
もみ
あっ！
ぺろっ
え？
くいっ
ん？
本当に殴るわよ。
くいっ
むに
あぐ、
はあ、
あむ
あ、
んっ
ちょっと、
にゅ
なに？
れろ
ケイスケ、
んんっ
やめ…、

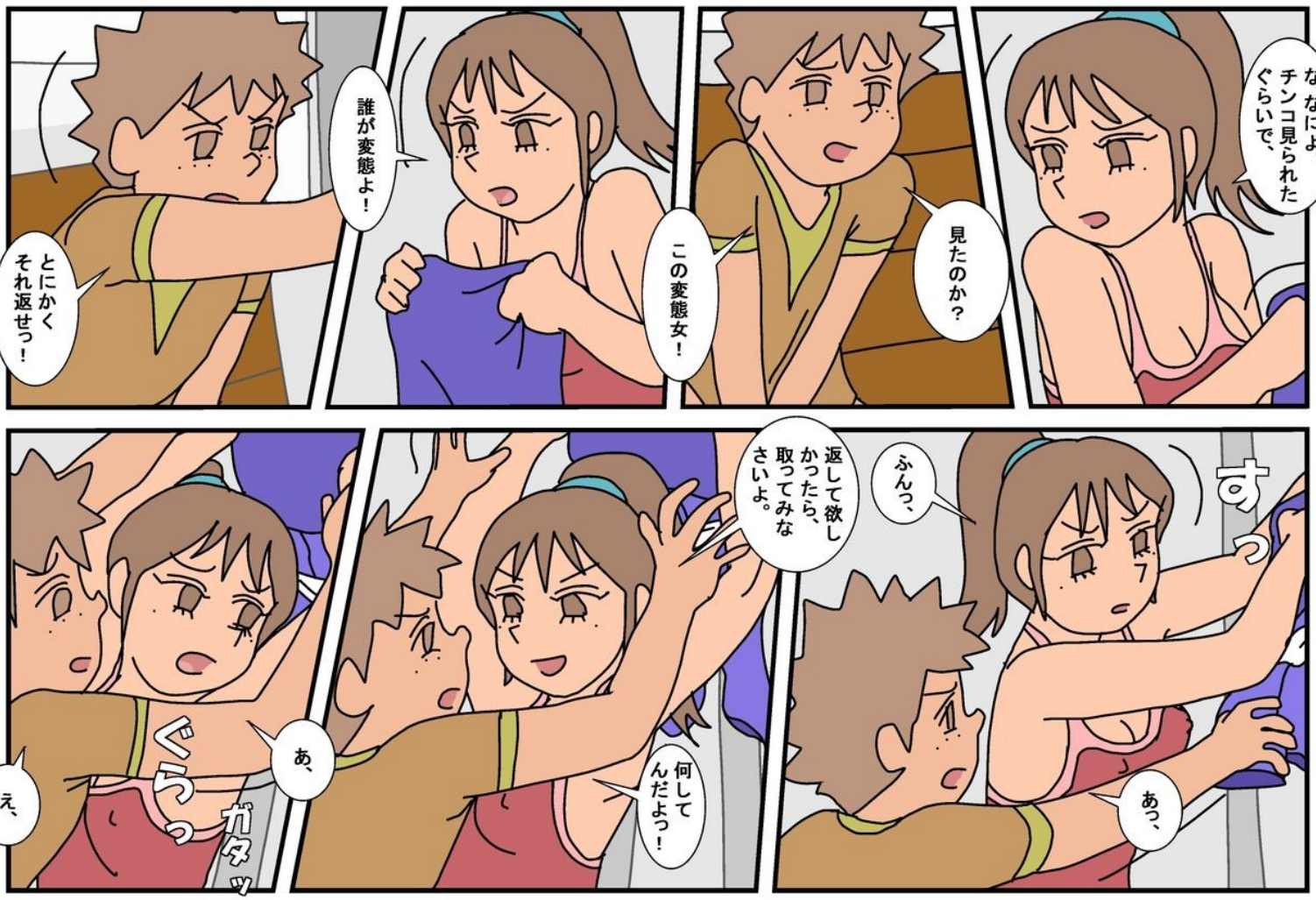

あっ、
エリナちゃーん、
ケイスケー、
おーい、ケイスケー、
エリナちゃーん、
ちょっとケイスケ、
みんなが・・、
もうっ！
いつまで吸ってんのよ？
赤ちゃんか！
みんなが私たちのこと探してるのよ。
えっ、
ケイスケくーん、
エリナちゃーん、
どうしてオレらが探さなきゃならないんだよ。
なあ、もう戻ろうぜ。
こっち、
どうするんだよ。
ケイスケのやつ外まで逃げたんじゃないか？
こんな事ってなかったよね。
百瀬がそこまで追いかけるか？
うん。

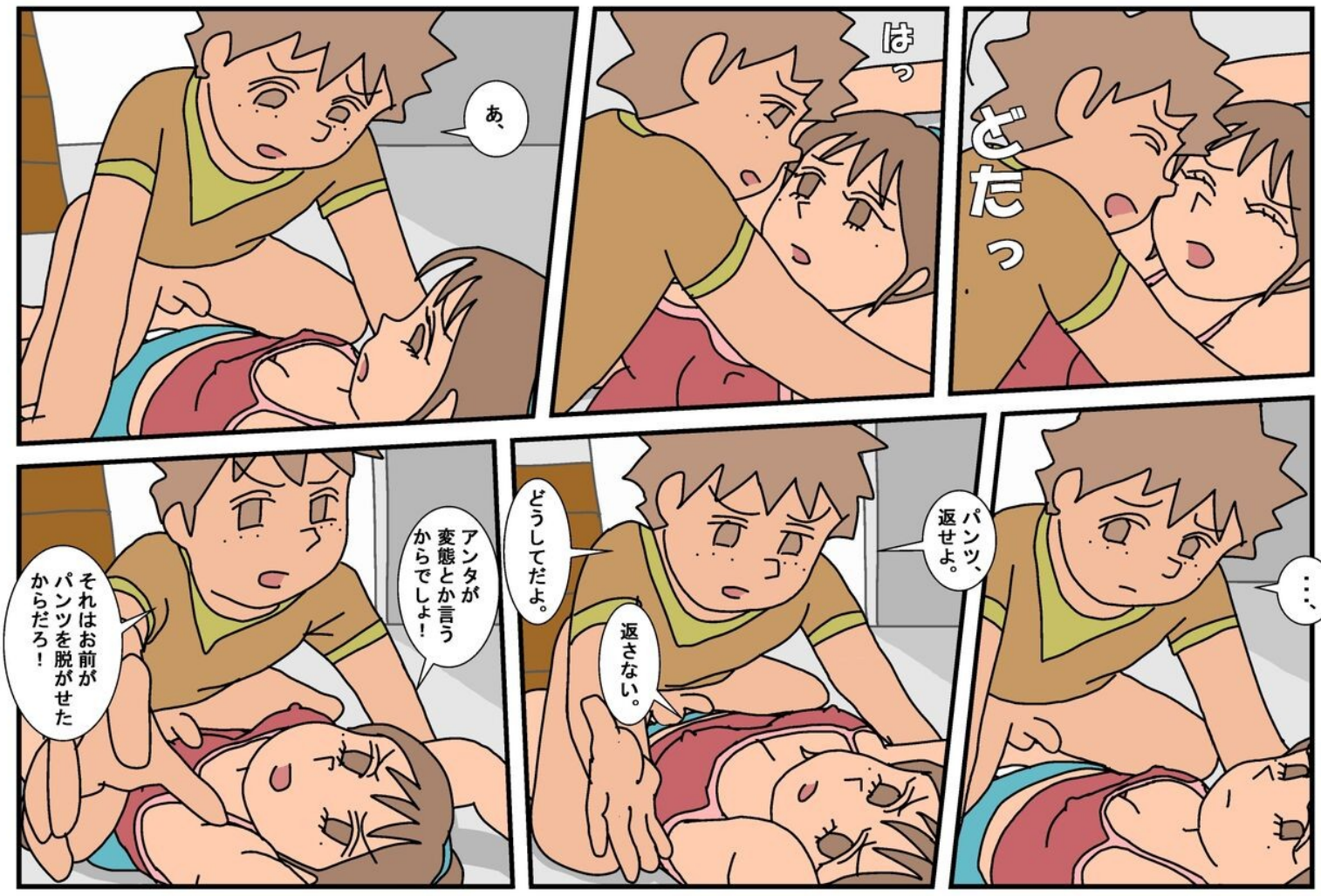

どうして隠れるんだ？
しーっ、
どこにもいないね、
戻るしかないな。
そうなの？
これだけ探したんだから仕方がないよ。

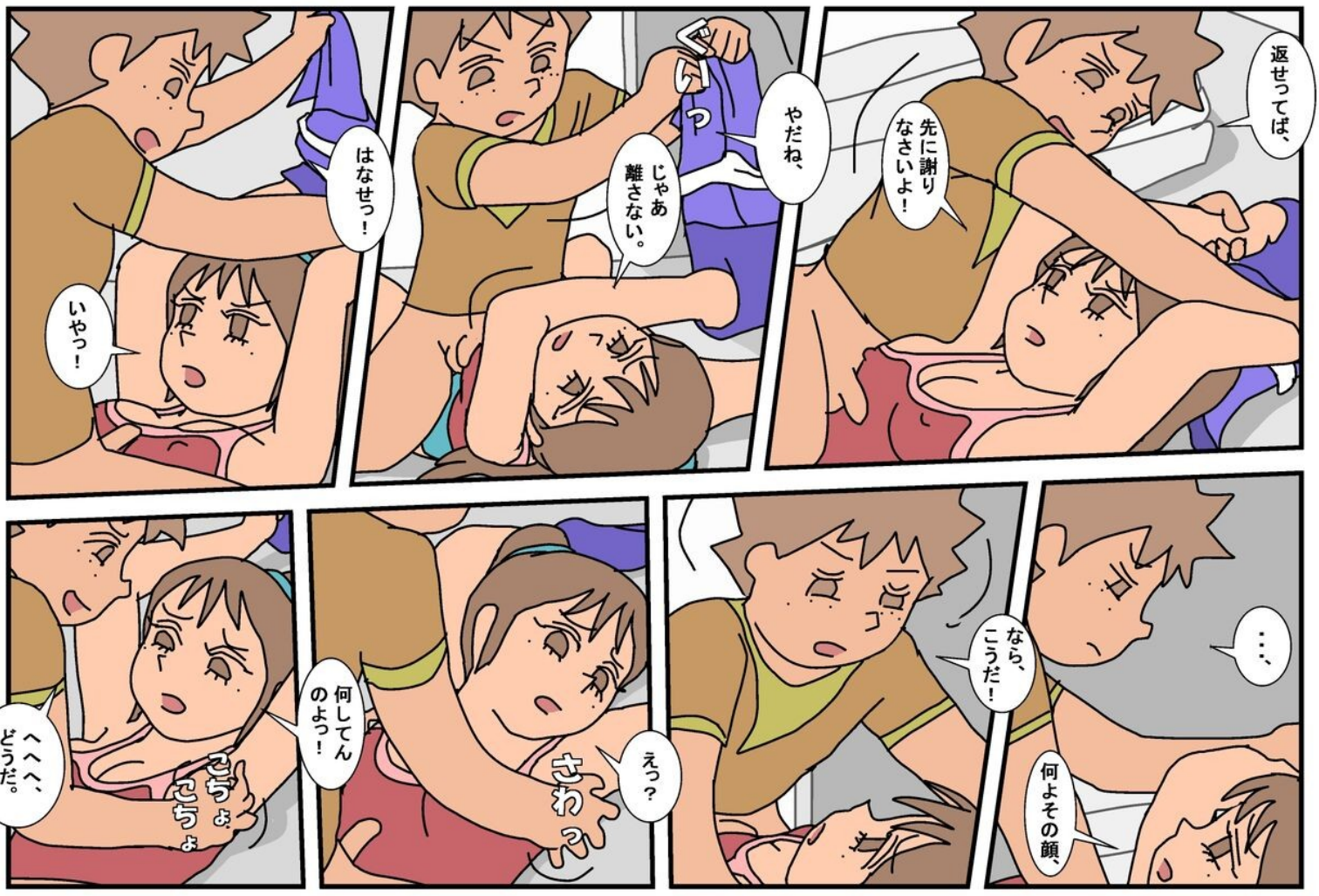

行ったわ。
あ、うん。
で、さっきのはどういうこと？
だ、だから、
えっ？
さっきって？
私の胸にエッチなことしたでしょ。
あ、あれはお前がオッパイ押しつけてきたからだろっ！

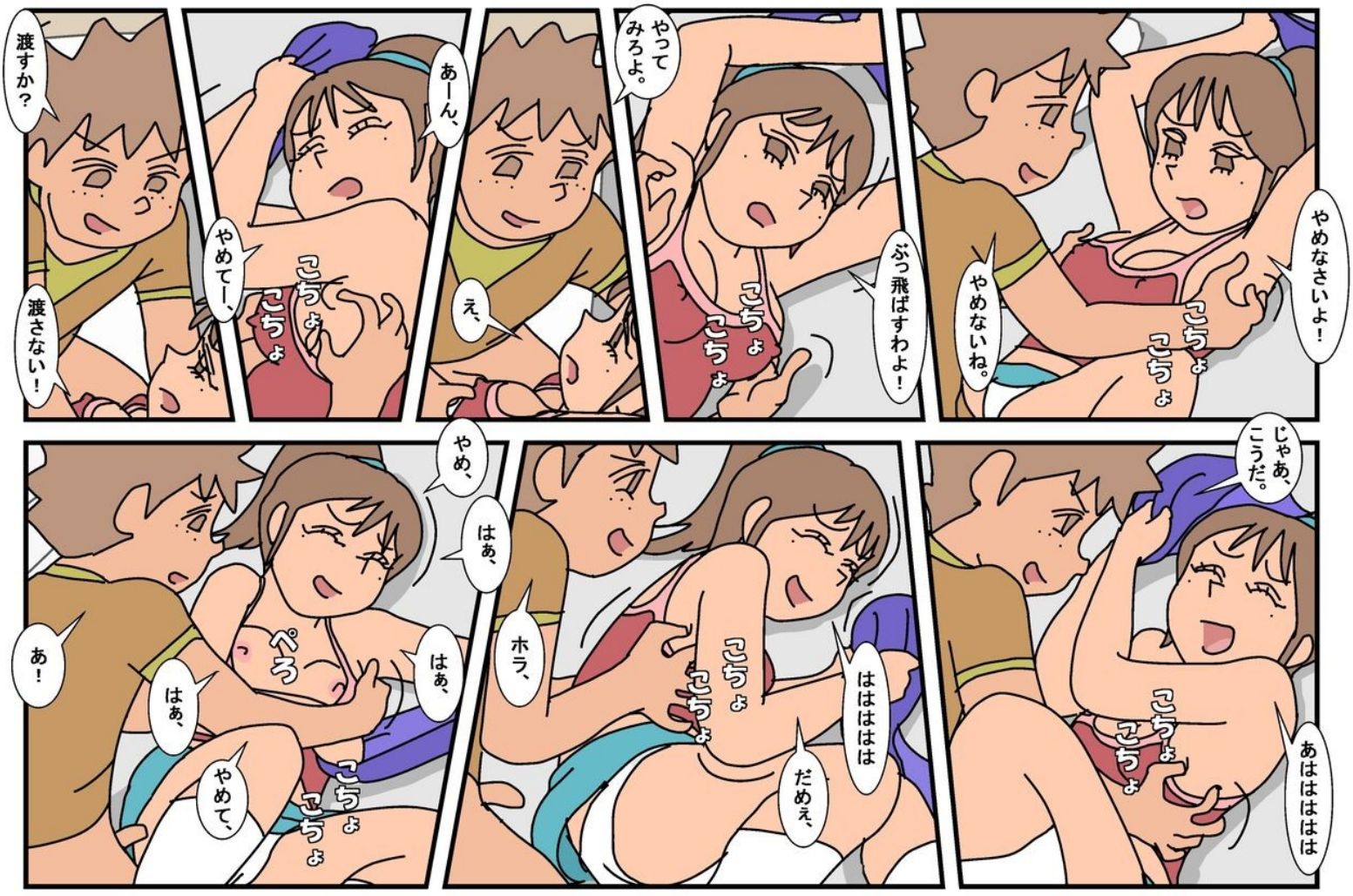

それだけ？
脚開き過ぎなんだよ。
えっ！
それだけ…、
それ以外何があるんだよ。
あ、
どこ見てんのよ。
何よ。
なんだ、お前でも恥ずかしいのか？
見えてるぞ、…パンツ。
どういう意味よ。
えっ、
じゃあアンタのパンツも見せてみなさいよ！
どうしてそうなるんだよ！

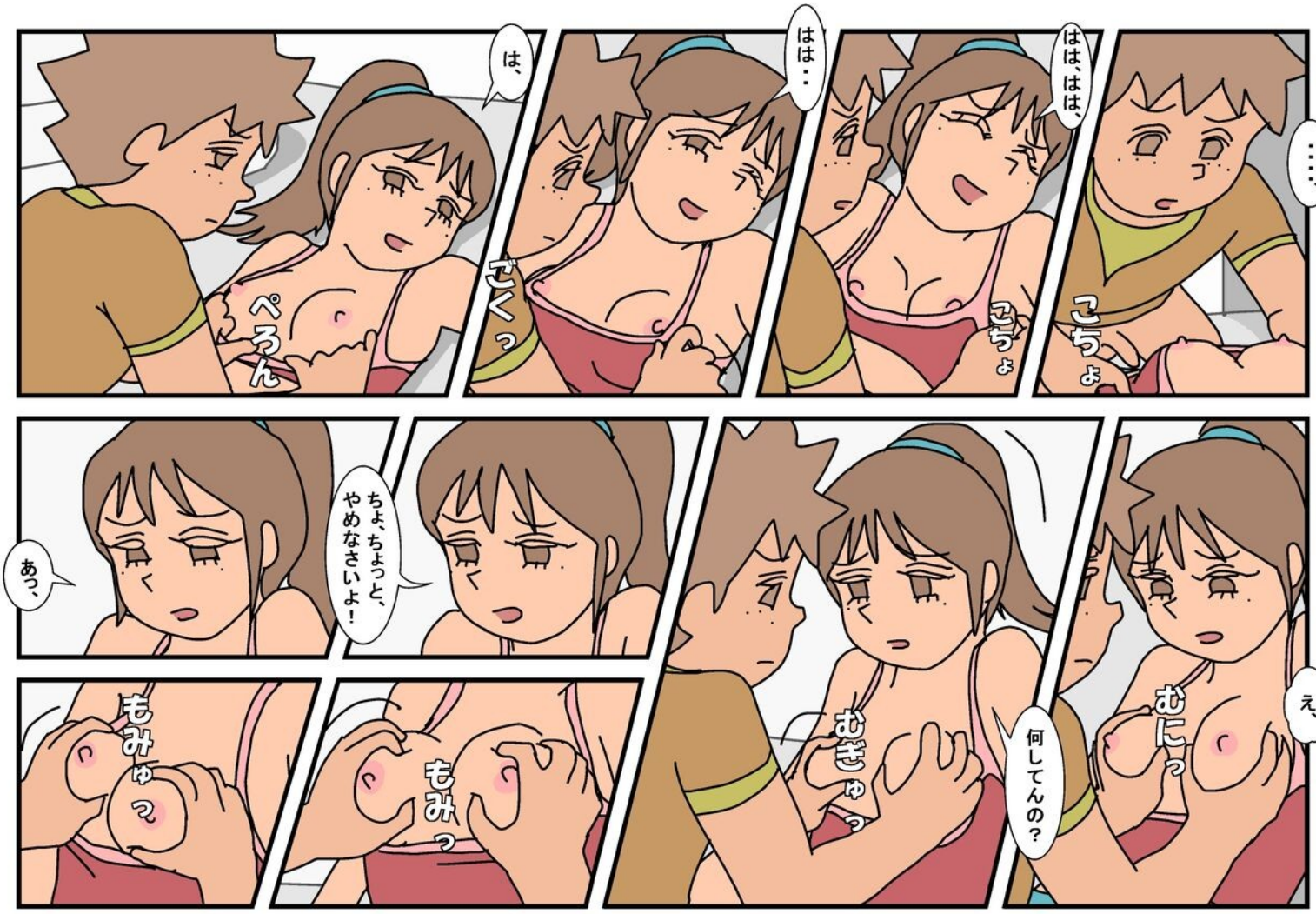

なによ、男のくせに、
私のパンツも見たんでしょ！
ぐいっ
ぐいっ
お前が勝手に見せたんだろ！
往生際悪いわね、
ずるっ
ほらっ！
ああっ！
ごろん
あっ、
パンツ。
えっ？
ちらっ
何してんだよ！
パンツまで脱がすことないだろ！


な、なによ、チンコ見られたぐらいで、
見たのか？
この変態女！
誰が変態よ！
とにかくそれ返せっ！
すっ
ふんっ、
返して欲しかったら、取ってみなさいよ。
あっ、
何してんだよっ！
あ、
ぐらっ
ガタッ
え、

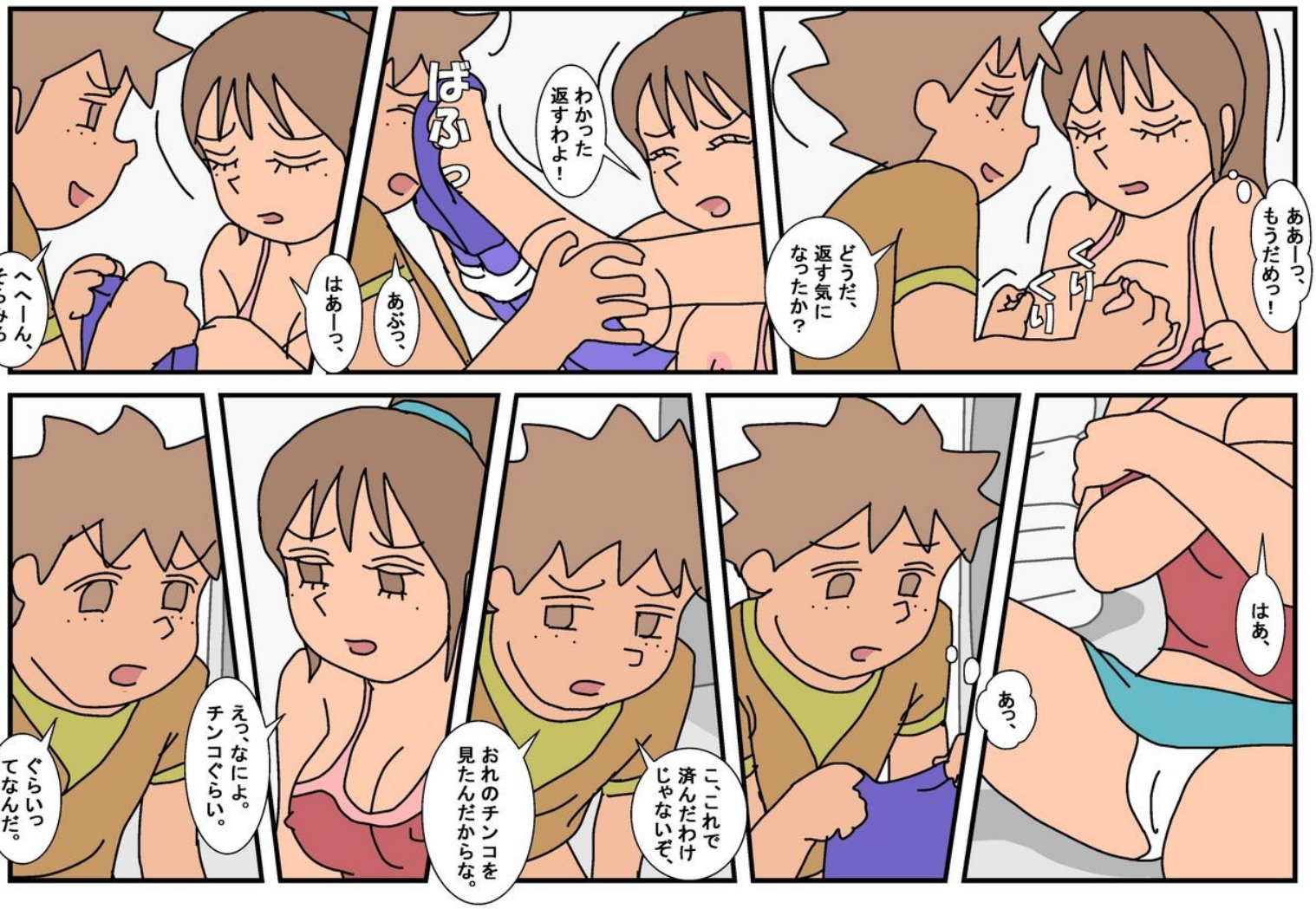

どたっ
はっ
あ、
…、
パンツ、返せよ。
どうしてだよ。
返さない。
アンタが変態とか言うからでしょ！
それはお前がパンツを脱がせたからだろ！

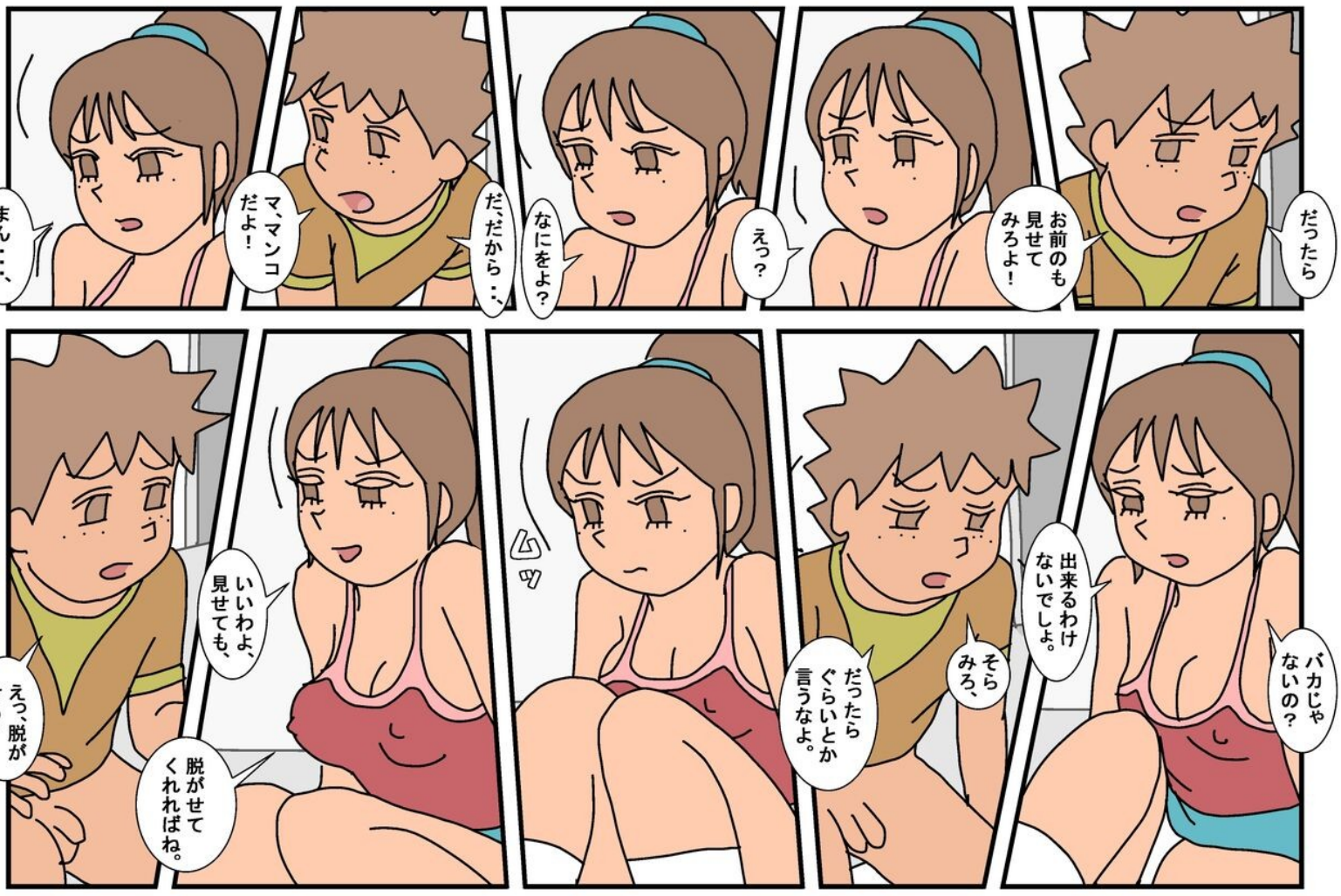

返せってば、
先に謝りなさいよ！
やだね、
じゃあ離さない。
はなせっ！
いやっ！
…、
何よその顔、
なら、こうだ！
えっ？
さわっ
何してんのよっ！
こちょこちょ
へへへ、どうだ。


やめなさいよ！
こちょこちょ
じゃあ、こうだ。
こちょこちょ
あはははは
やめないね。
こちょこちょ
ぶっ飛ばすわよ！
はははは
だめぇ、
やってみろよ。
ホラ、
こちょこちょ
え、
こちょこちょ
あーん、
やめてー、
渡すか？
渡さない！
やめ、
はぁ、
はぁ、
ぺろ
こちょこちょ
はぁ、
やめて、
あ！

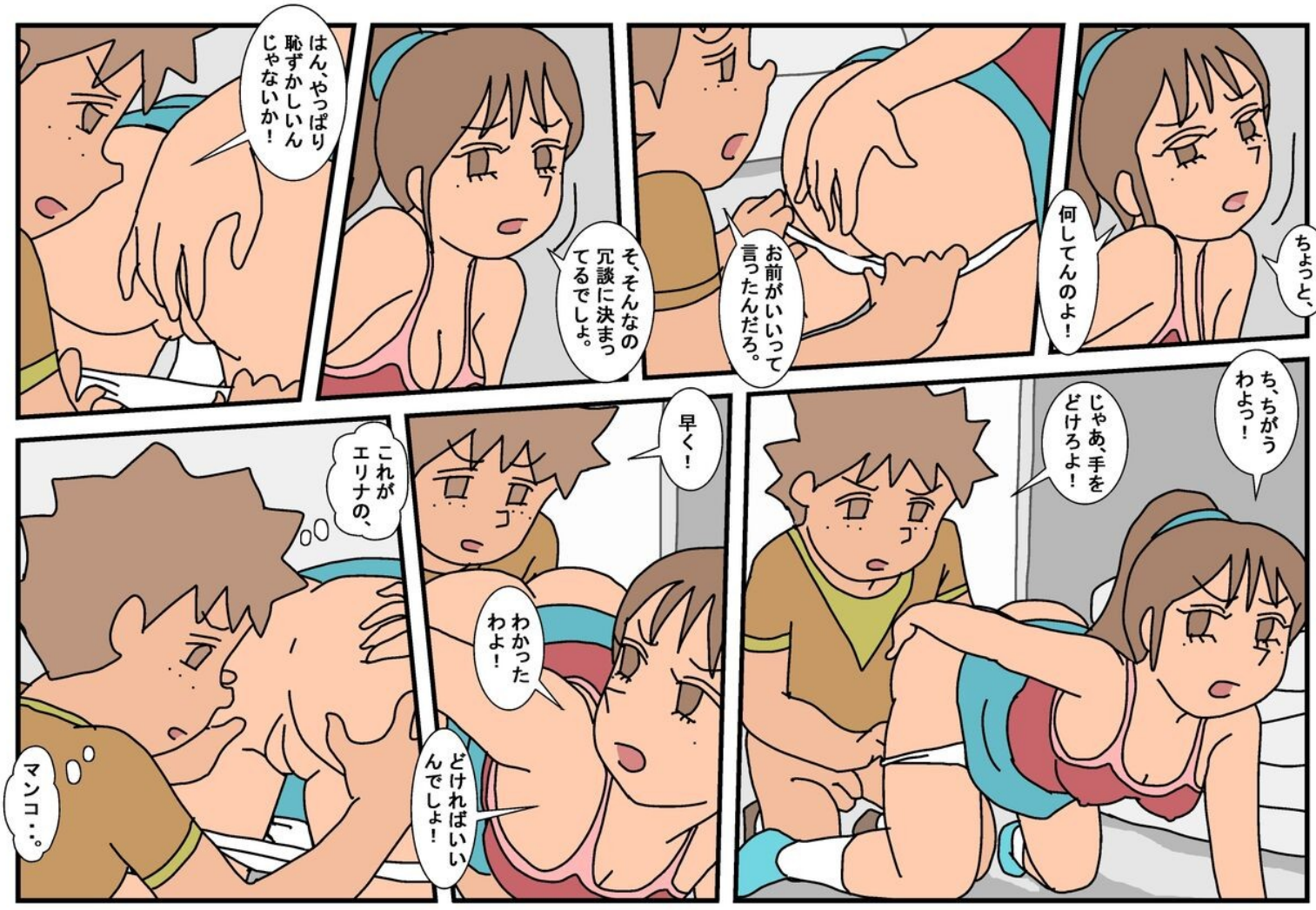

は、
ぺろん
はは・
ごくっ
はは、はは、
こちょ
・・・、
こちょ
あっ、
ちょ、ちょっと、
やめなさいよ！
もみゅっ
もみっ
むぎゅっ
何してんの？
え、
むにっ

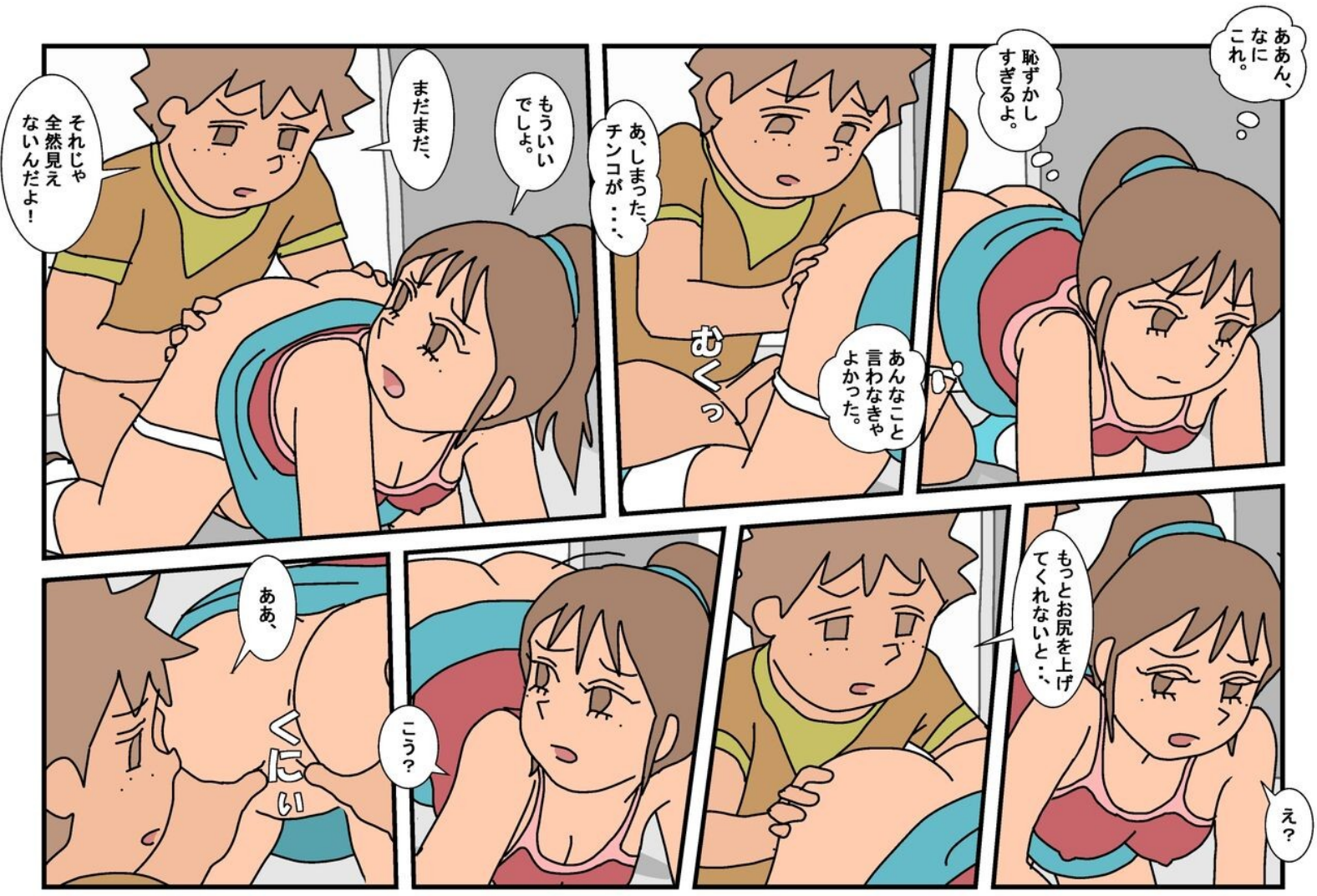
え？
返さなけりゃこれ続けるぞ。
だ、だからパンツ返さないからだろ。
どういうつもり？
そんなの全然平気なんだけど、
じゃあ、そうすれば。
えっ、
言ったな。
ああん
それ、反則でしょ。
あれ？平気なんだよな。
あ、
あんっ、
そんなルールないね。
ちょっと、
ぷにゅ
ぷに
そんな、
にゅん
くりくり

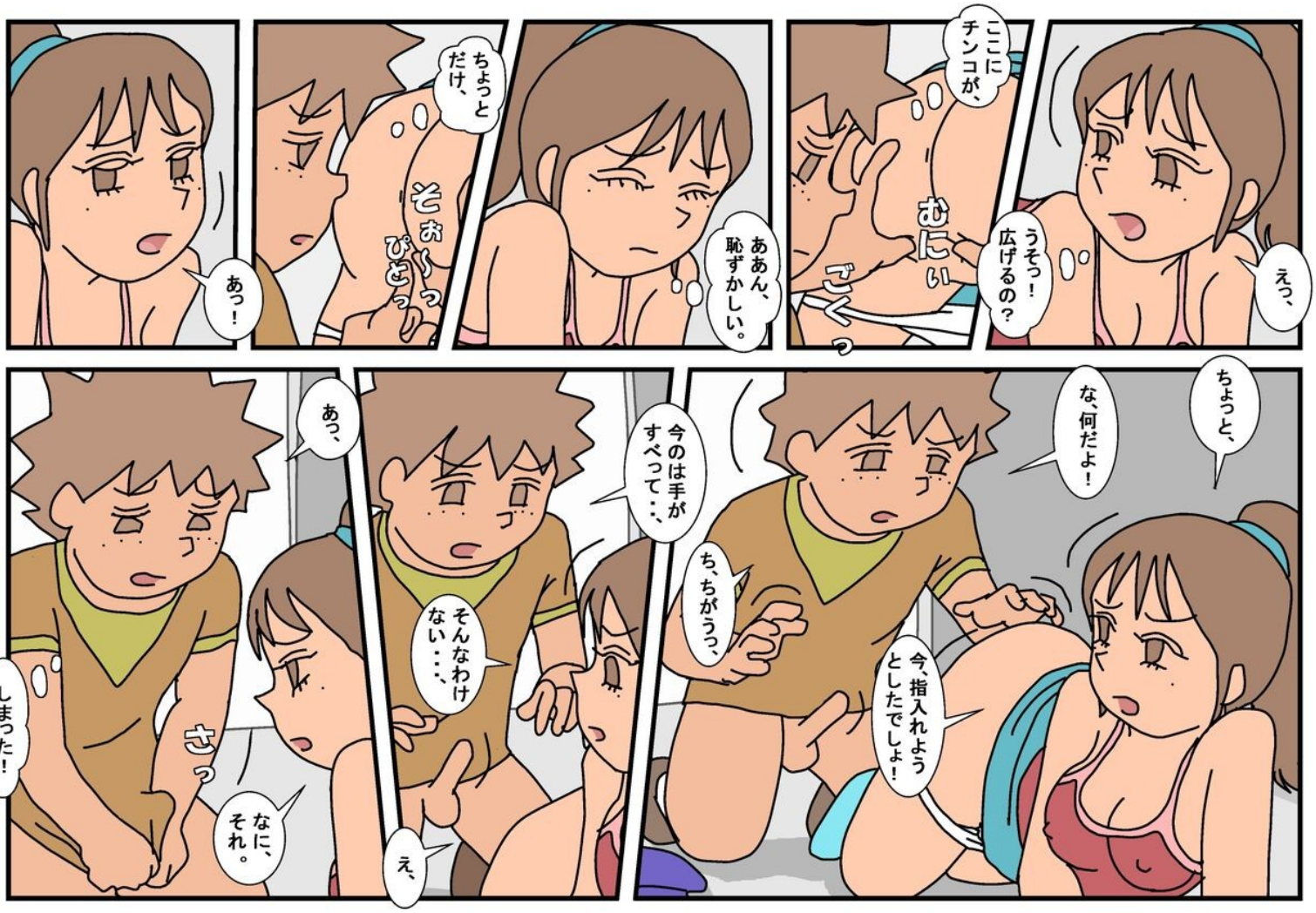

ああーっ、もうだめっ！
くりくり
どうだ、返す気になったか？
わかった返すわよ！
ぱふっ
あぶっ、
はあーっ、
へへーん、そらみろ
はあ、
あっ、
こ、これで済んだわけじゃないぞ、
おれのチンコを見たんだからな。
えっ、なによ。チンコぐらい。
ぐらいってなんだ。


だったら
お前のも見せてみろよ！
えっ？
なにをよ？
だ、だから・・、
マ、マンコだよ！
まん・・、
バカじゃないの？
出来るわけないでしょ。
そらみろ、
だったらぐらいとか言うなよ。
ムッ
いいわよ、見せても、
えっ、脱がせる？
脱がせてくれればね。

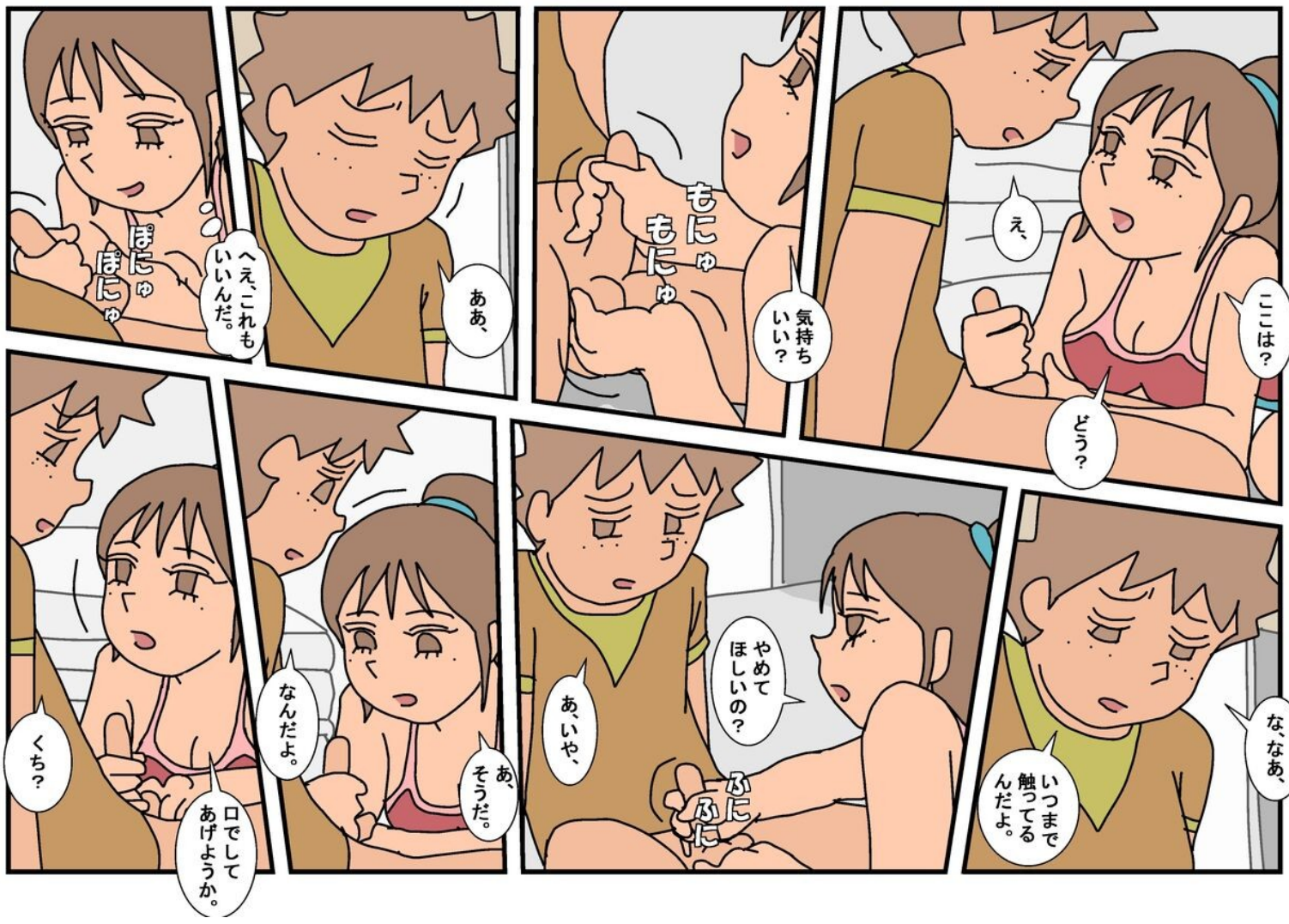
そうよ、
でなきゃ見れないでしょ？
……。
ほらほら、
ふりふりふり
うーっ、
わなわなわな
えっ？
ホントに脱がせる気じゃないよね？
あっ！
ぷりん
あ、
見てもいいって言ってるのに、
出来ないの？ざんねーん。
どうしたのよ。
あれえ？


ちょっと、
何してんのよ！
お前がいいって言ったんだろ。
そ、そんなの冗談に決まってるでしょ。
はん、やっぱり恥ずかしいんじゃないか！
ち、ちがうわよっ！
じゃあ、手をどけろよ！
早く！
わかったわよ！
どければいいんでしょ！
これがエリナの、
マンコ・・。

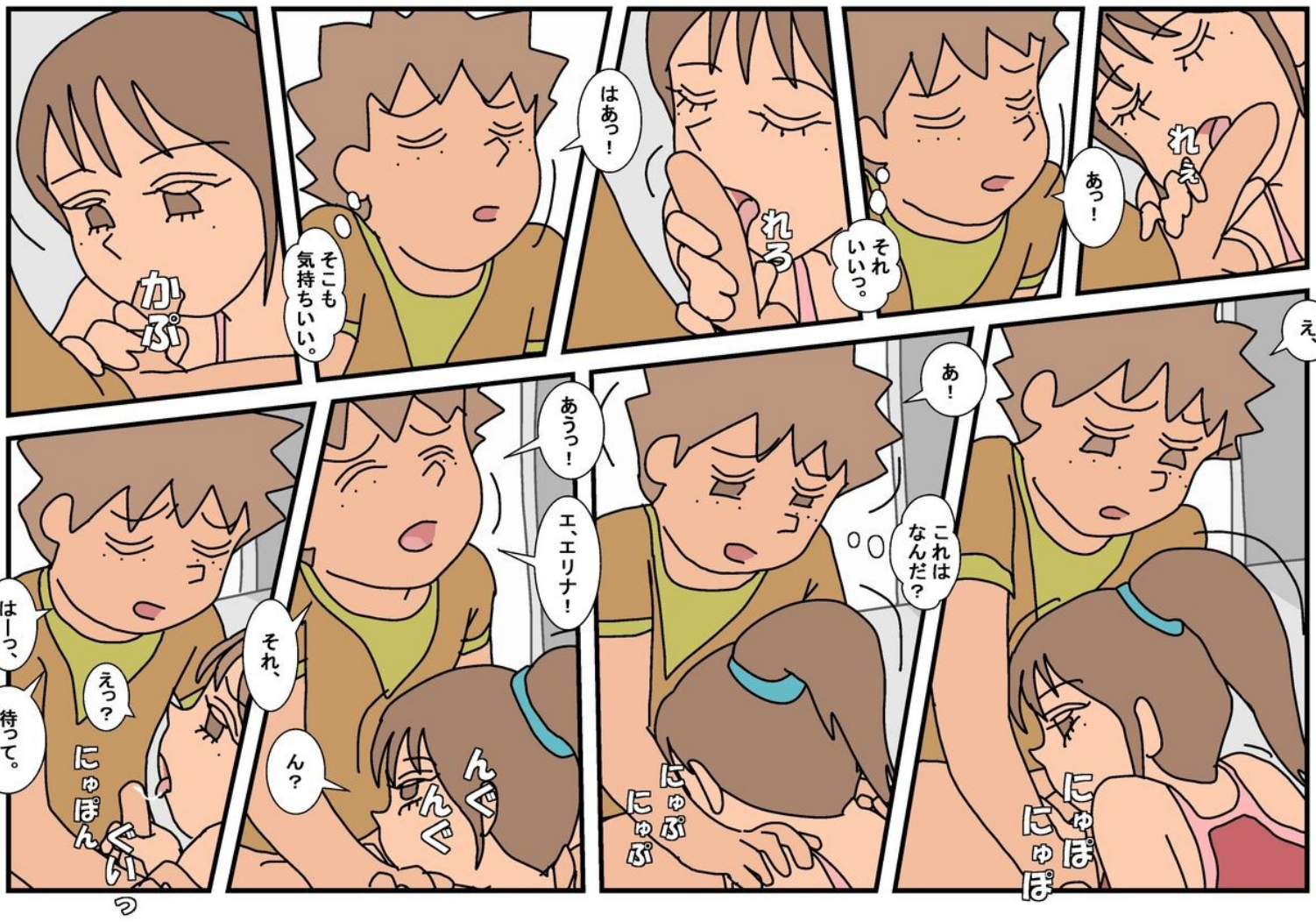

ああん、なにこれ。
恥ずかしすぎるよ。
あんなこと言わなきゃよかった。
むくっ
あ、しまった、チンコが・・・
もういいでしょ。
まだまだ、
それじゃ全然見えないんだよ！
え？
もっとお尻を上げてくれないと・・・
こう？
ああ、
くにい

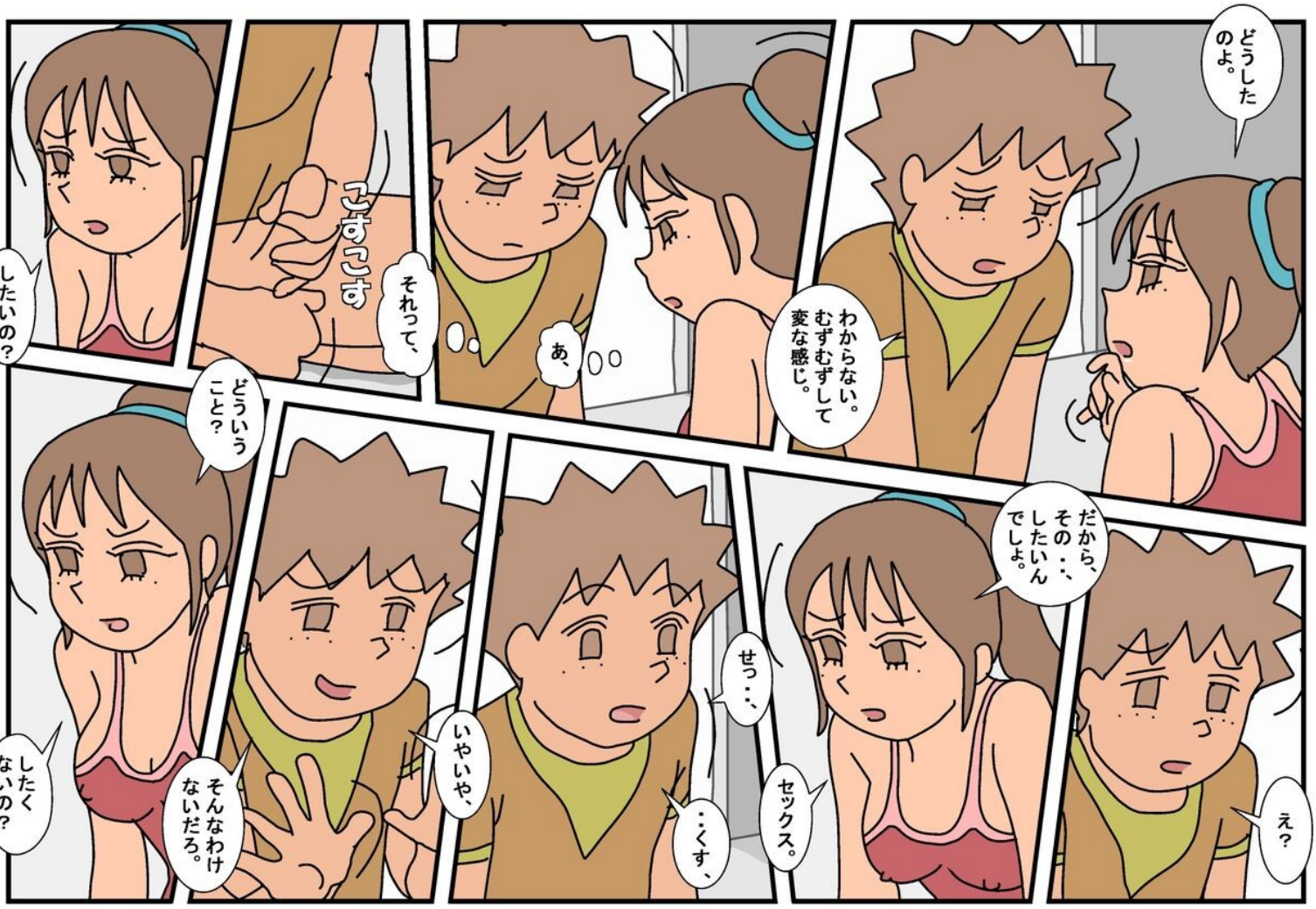

えっ、
ここにチンコが、
むにぃ
うそっ！広げるの？
ごくっ
ああん、恥ずかしい。
ちょっとだけ、
そおいっ
ぴとっ
あっ！
ちょっと、
な、何だよ！
ち、ちがうっ、
今のは手がすべって…、
そんなわけない…、
え、
今、指入れようとしたでしょ！
あっ、
さっ
なに、それ。
しまった！

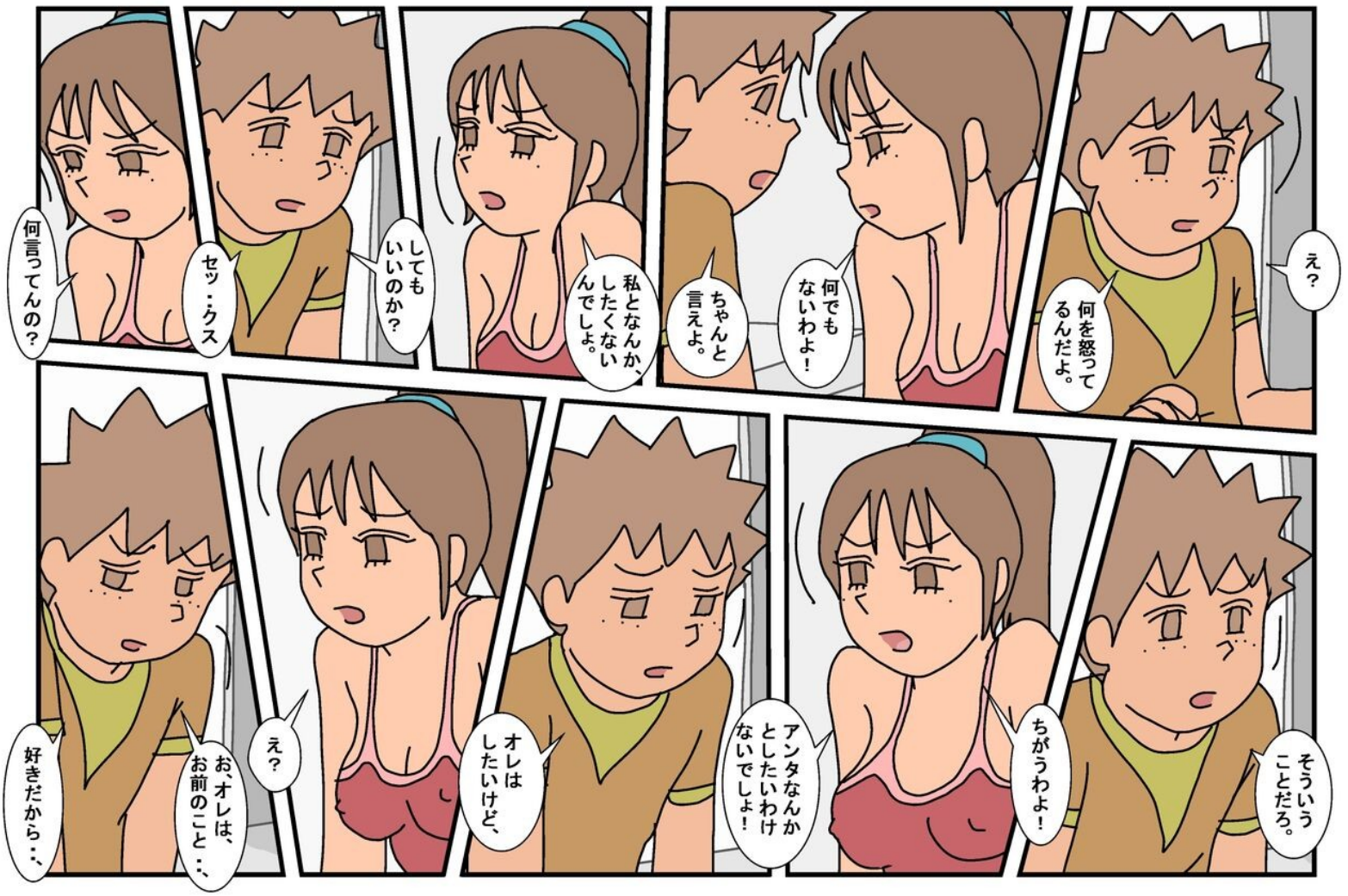
勃起よね。
そうでしょ？
あ、いやこれは、
ちょっと見せなさいよ。
エッチなことでしょ！
ちがうって。
ぷに
びくっ
あ、
ぷりん
え？
・・・
やっぱりそうじゃない！
それは、
なに考えてたのよ！
ときどき
あれ？今、びくって、
くに
なに？
これ気持ちいいの？
うっ、
くにくにくに

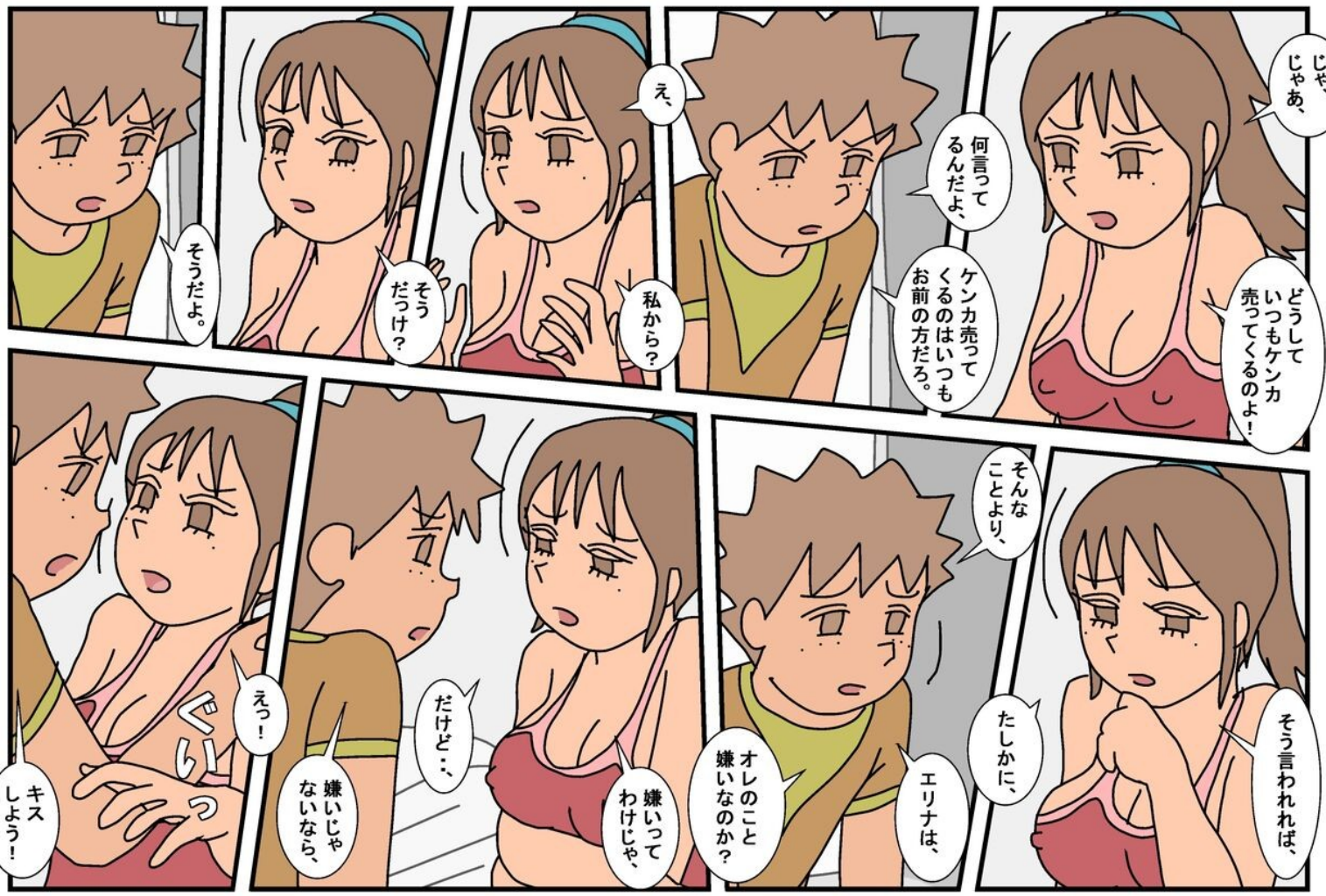

な、なあ、
いつまで触ってるんだよ。
ここは？
どう？
え、
気持ちいい？
もにゅもにゅ
ふにふに
やめてほしいの？
あ、いや、
あ、そうだ。
なんだよ。
口でしてあげようか。
くち？
ああ、
へえ、これもいいんだ。
ぽにゅぽにゅ

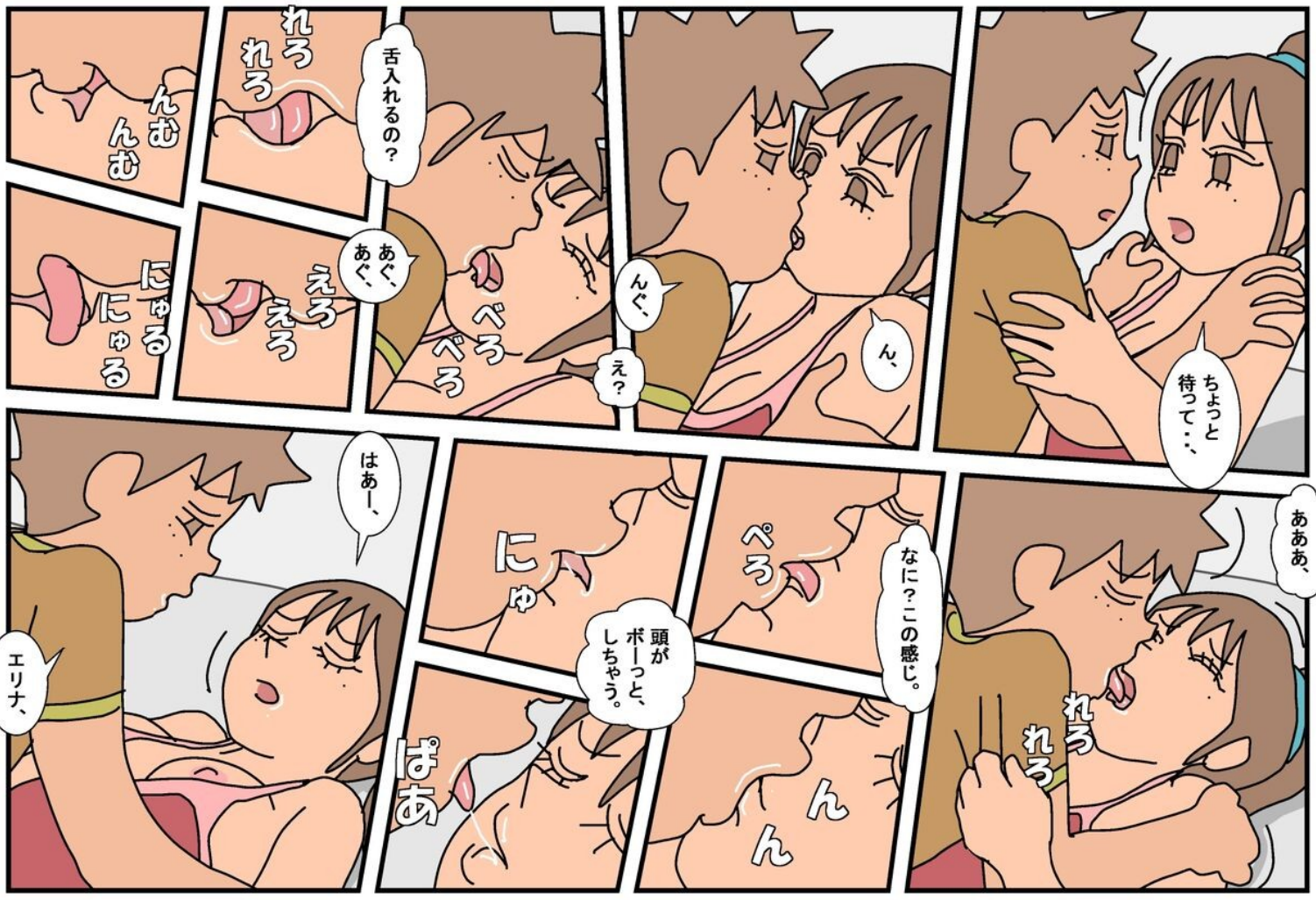
ふぇら：なんとか、
どうって、
ちろ
あ、
ペロ
ちゅっ
うっ、
れぇ
なんだよそれ、
ちゅ
え？
れろれろ
こ、これは、
はあっ！
えろえろ
気持ちいい！
どう？

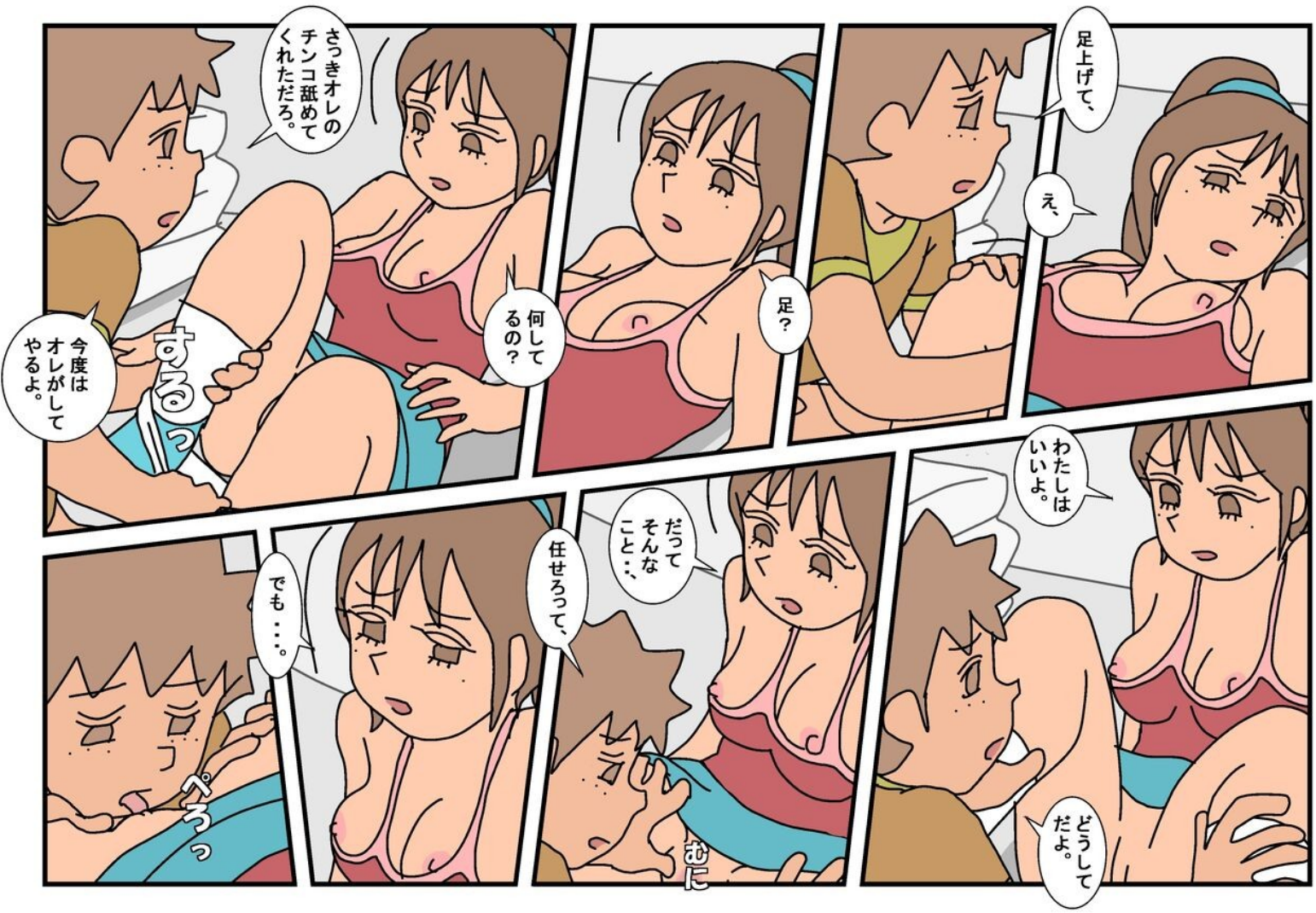

え、
あっ！
れぇ
それいいっ。
れろ
はあっ！
そこも気持ちいい。
かぷ
あ！
これはなんだ？
にゅぽ
にゅぽ
あうっ！
エ、エリナ！
にゅぷ
にゅぷ
それ、
ん？
んぐ
んぐ
はーっ、
えっ？
待って。
にゅぽん
ぐいっ

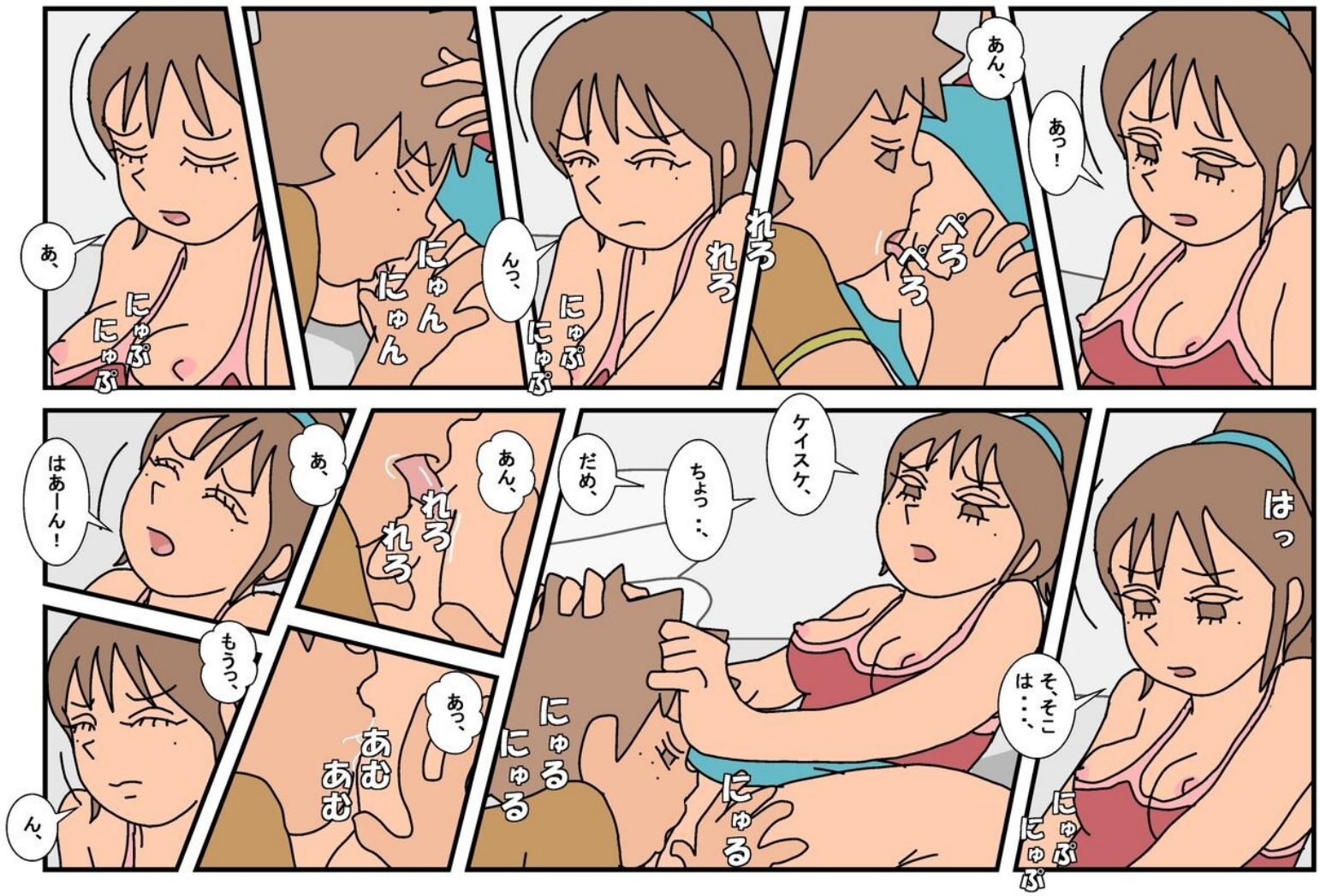

どうしたのよ。
わからない。むずむずして変な感じ。
だから、その・・、したいんでしょ。
え？
セックス。
せっ・・、
・・くす、
いやいや、
そんなわけないだろ。
したくないの？
どういうこと？
それって、
こすこす
あ、
したいの？

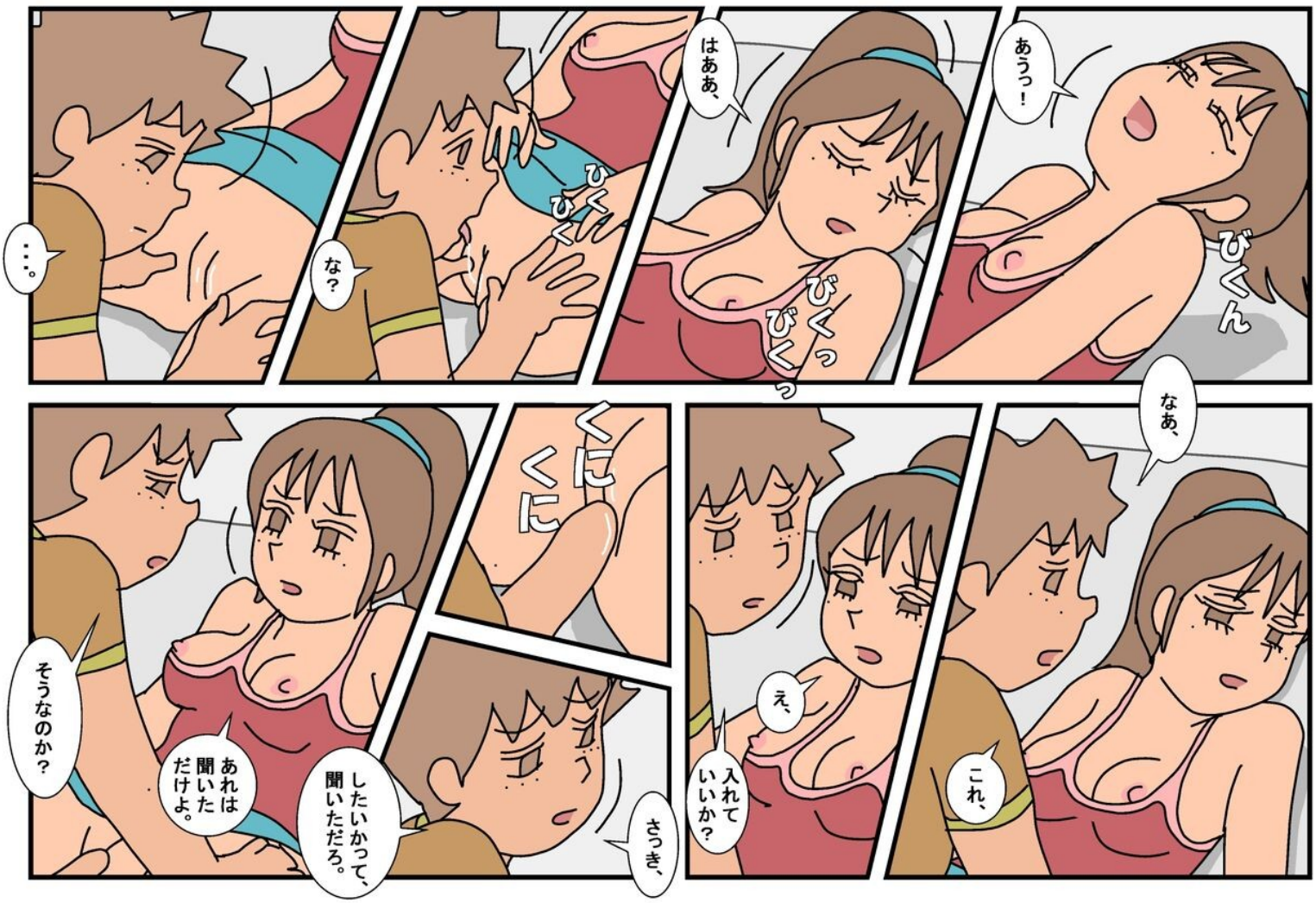

え？
何を怒ってるんだよ。
そういうことだろ。
何でもないわよ！
ちゃんと言えよ。
ちがうわよ！
私となんか、したくないんでしょ。
アンタなんかとしたいわけないでしょ！
してもいいのか？
オレはしたいけど、
セッ・クス
え？
何言ってんの？
お、オレは、お前のこと・・、
好きだから・・、

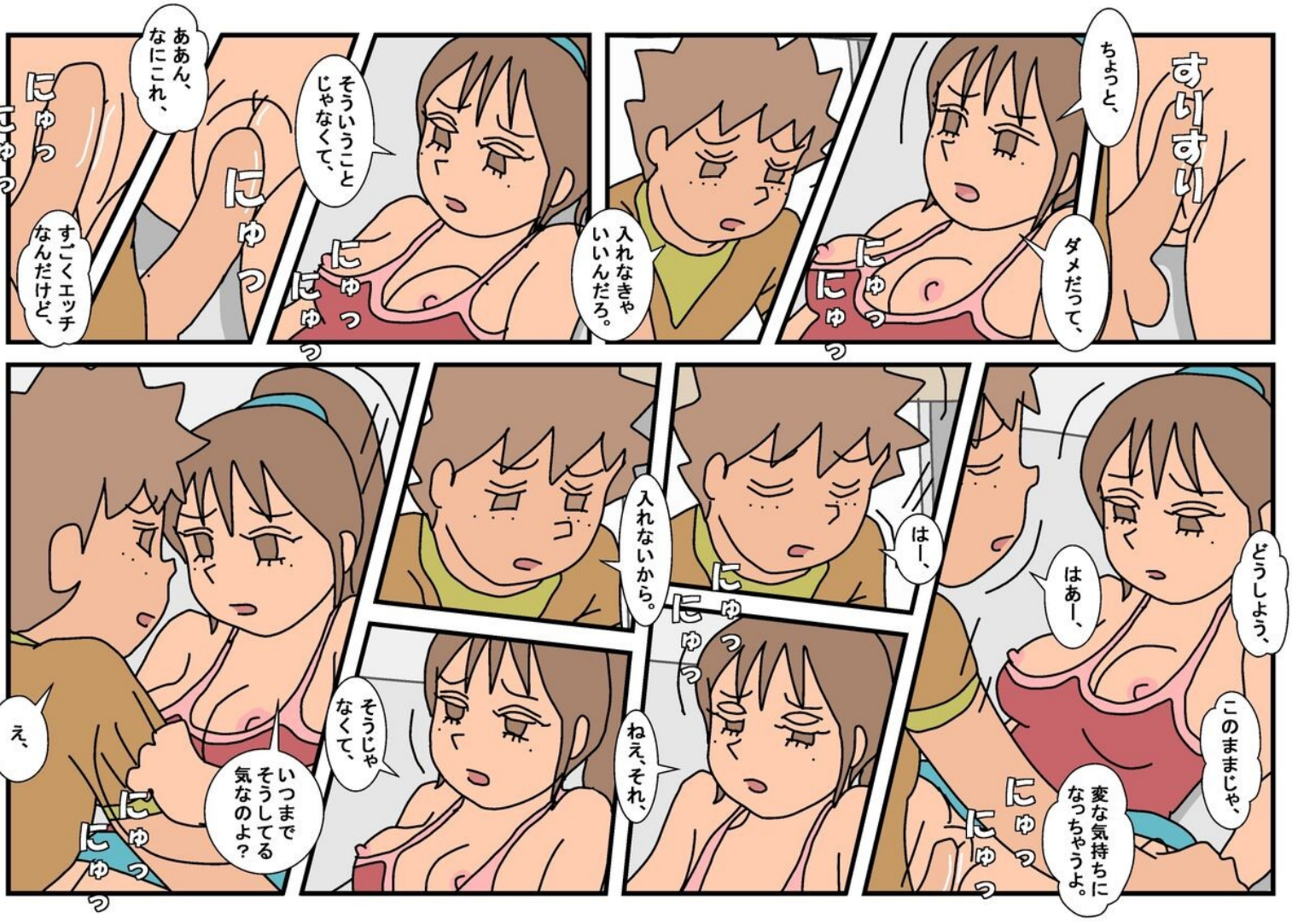

じゃ、じゃあ、
どうしていつもケンカ売ってくるのよ！
何言ってるんだよ、
ケンカ売ってくるのはいつもお前の方だろ。
そんなことより、
オレのこと嫌いなのか？
エリナは、
たしかに、
そう言われれば、
え、
私から？
嫌いってわけじゃ、
だけど・・、
嫌いじゃないなら、
そうだっけ？
そうだよ。
えっ！
くいっ
キスしよう！

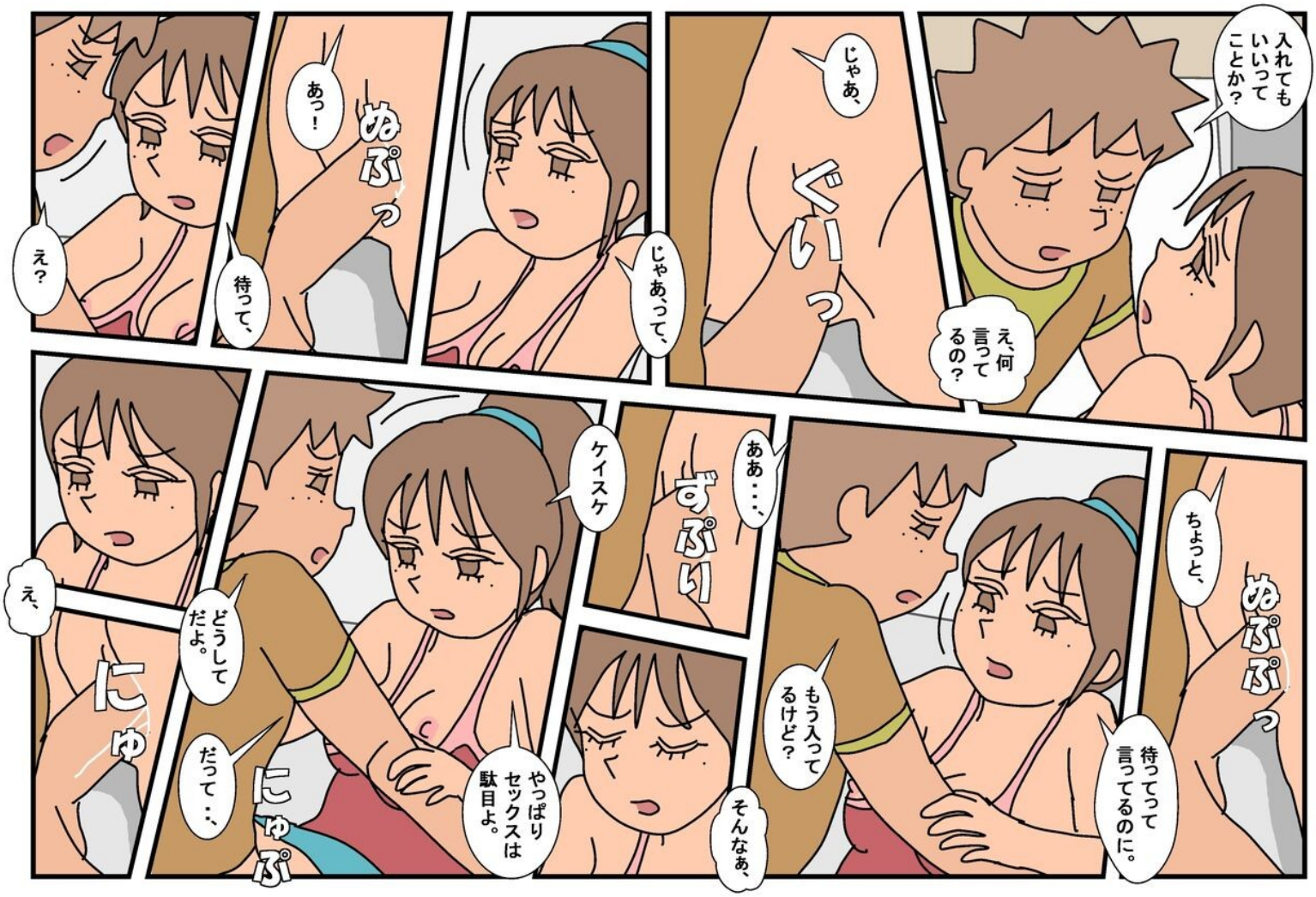

ちょっと待って…
ああぁ、
ん、
んぐ、
え？
べろべろ
舌入れるの？
あぐ、あぐ、
えろえろ
にゅるにゅる
れろれろ
んむんむ
なに？この感じ。
ぺろ
頭がボーっと、しちゃう。
にゅ
んん
ぱあ
はあー、
エリナ、

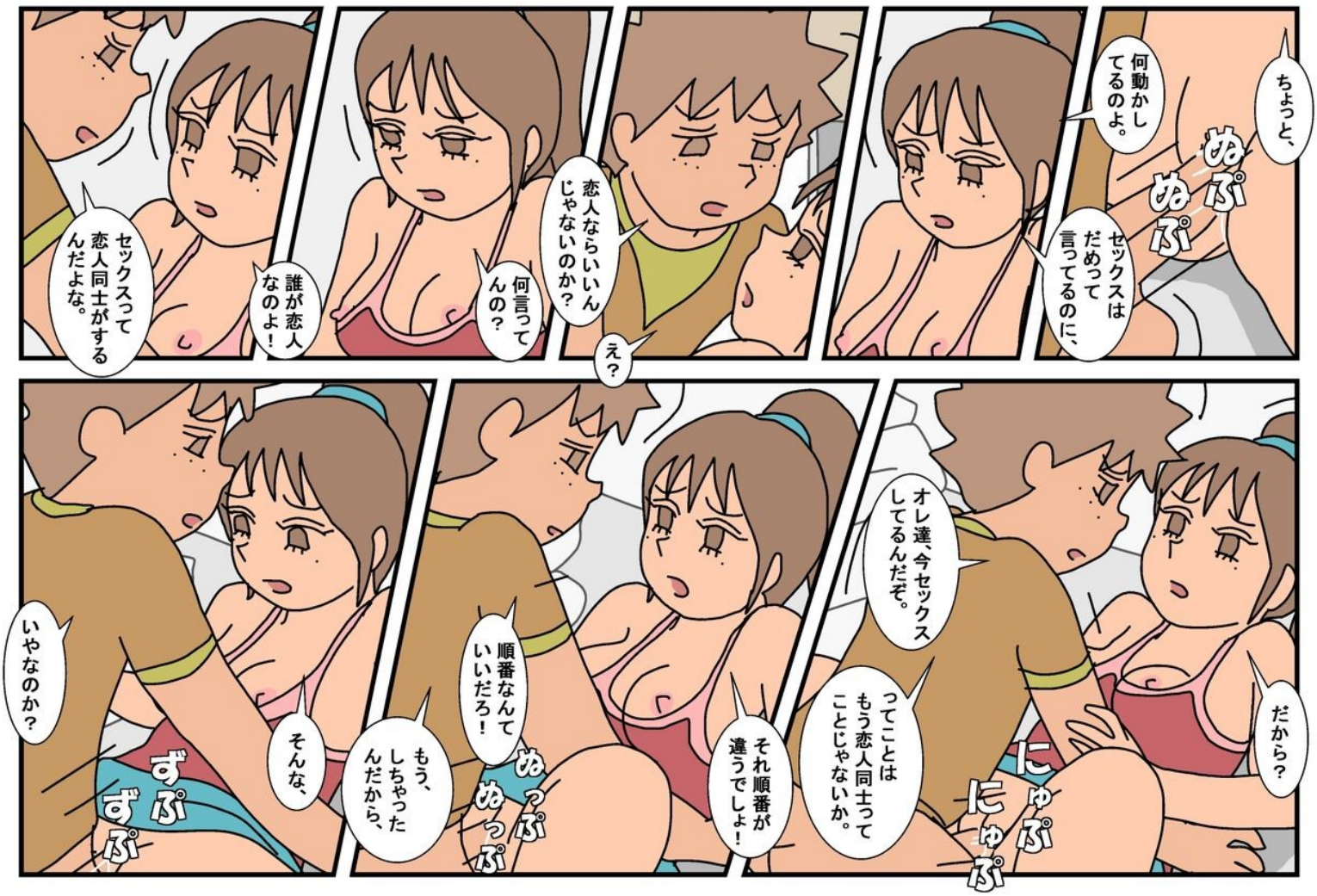

足上げて、
え、
足？
何してるの？
さっきオレのチンコ舐めてくれただろ。
今度はオレがしてやるよ。
すりっ
わたしはいいよ。
どうしてだよ。
だってそんなこと…
任せろって、
むに
でも…。
ぺろっ

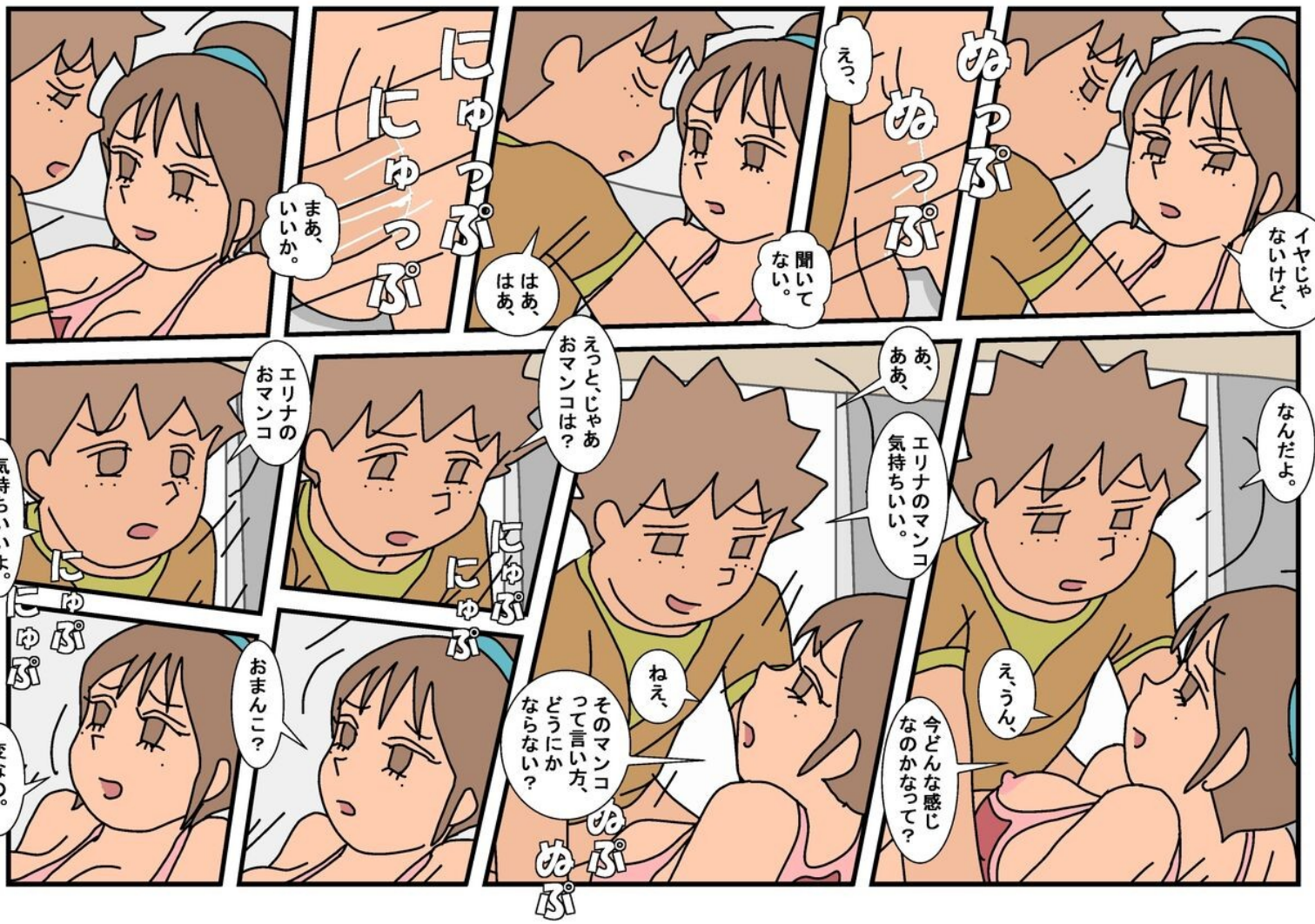

はっ
にゅぷにゅぷ
そ、そこは…、
にゅる
にゅる
ケイスケ、
ちょっ…、
だめ、
にゅる
にゅる
あっ、
あむあむ
もうっ、
ん、
あん、
れろれろ
あ、
はあーん！
あっ！
ぺろぺろ
あん、
れろれろ
にゅぷにゅぷ
んっ、
にゅぷにゅぷ
にゅんにゅん
あ、
にゅぷにゅぷ

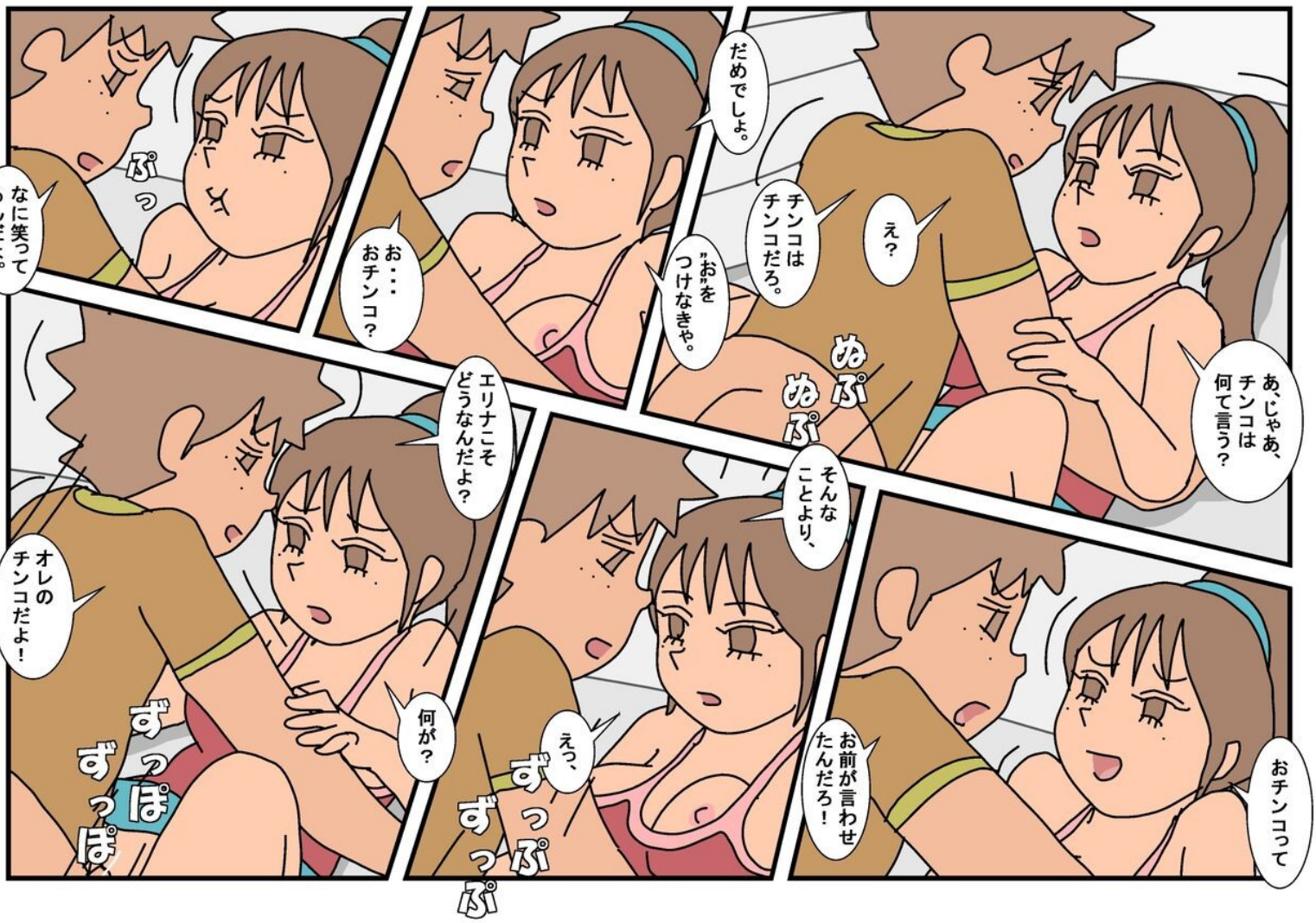

あうっ！
びくん
はああ、
びくっ
びくっ
な？
びくびく
…。
なあ、
これ、
入れていいか？
え、
さっき、
くにくに
したいかって、聞いただろ。
あれは聞いただけよ。
そうなのか？

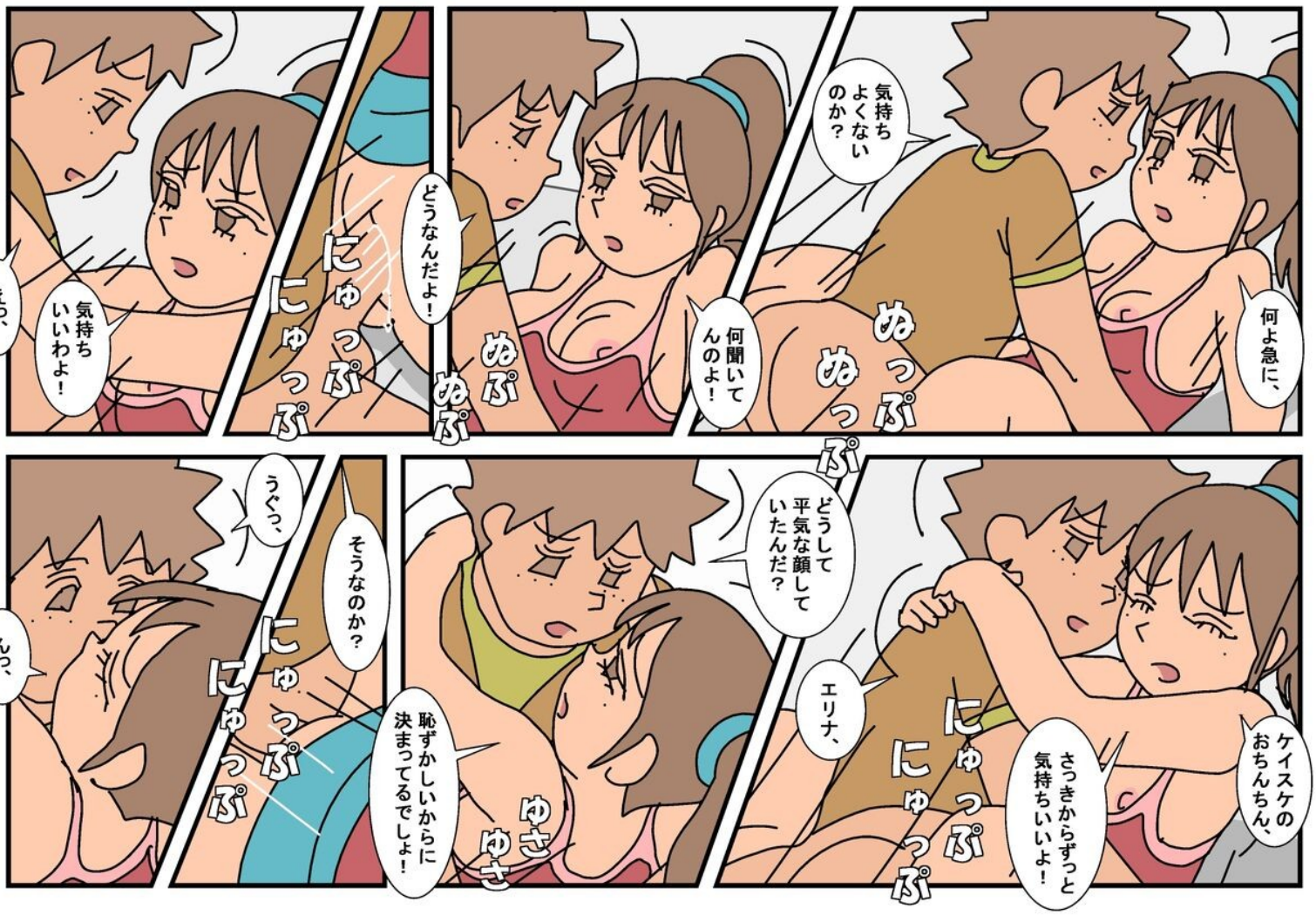

すりすり
ちょっと、
ダメだって、
にゅっ
にゅっ
入れなきゃいいんだろ。
そういうことじゃなくて、
にゅっ
にゅっ
ああん、なにこれ、
すごくエッチなんだけど、
にゅっ
にゅっ
どうしよう、
はあー、
このままじゃ、
変な気持ちになっちゃうよ。
にゅっ
にゅっ
はー、
入れないから。
にゅっ
にゅっ
ねえ、それ、
そうじゃなくて、
いつまでそうしてる気なのよ？
え、
にゅっ
にゅっ

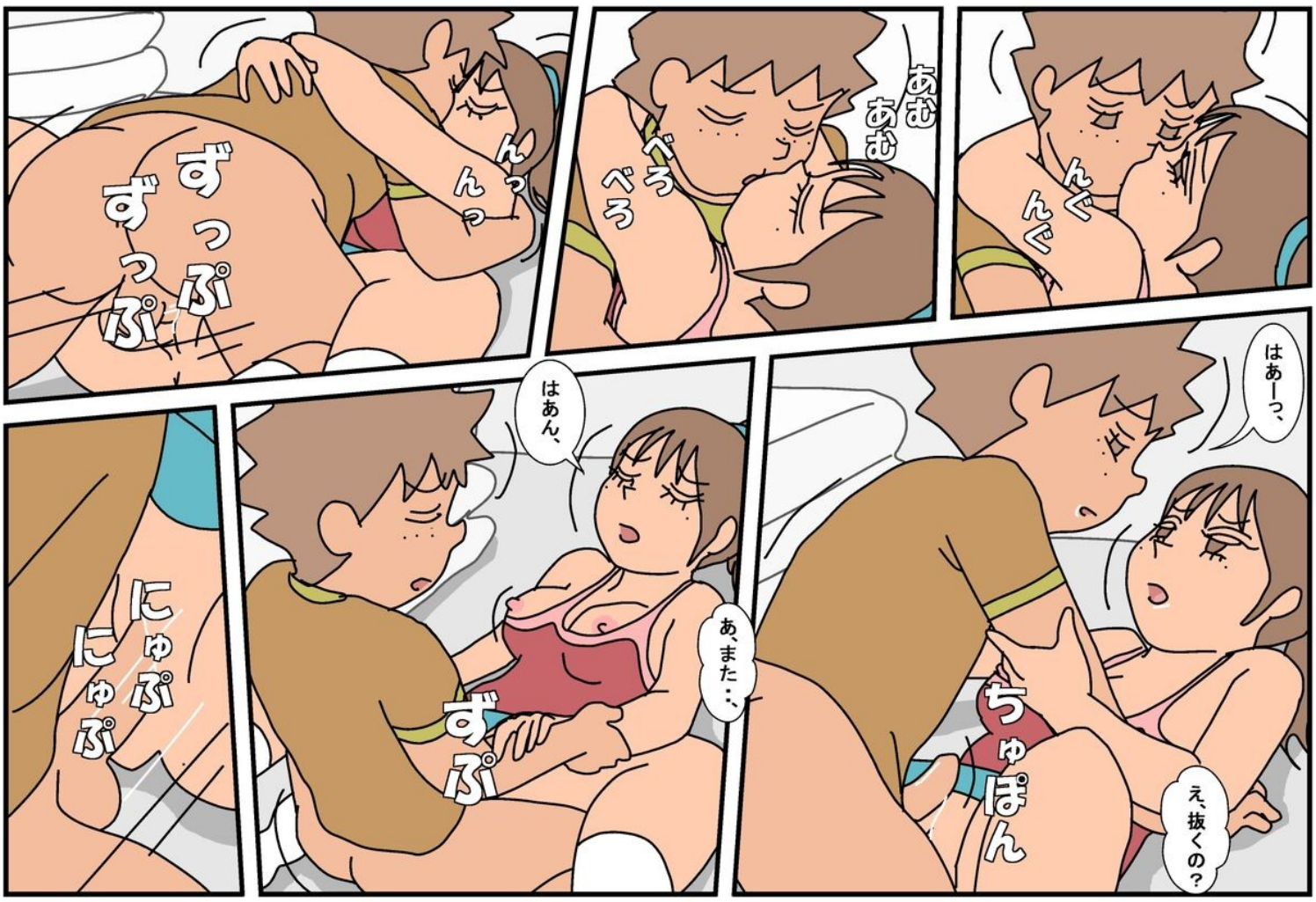

入れてもいいってことか？
ぬぷっ
ちょっと、
待ってって言ってるのに。
そんなぁ、
もう入ってるけど？
やっぱりセックスは駄目よ。
ずぷり
ああ・・・
じゃあ、
ぐいっ
え、何言ってるの？
じゃあ、って、
ケイスケ
にゅぷ
だって・・
どうしてだよ。
え、
にゅ
あっ！
ぬぷっ
待って、
え？

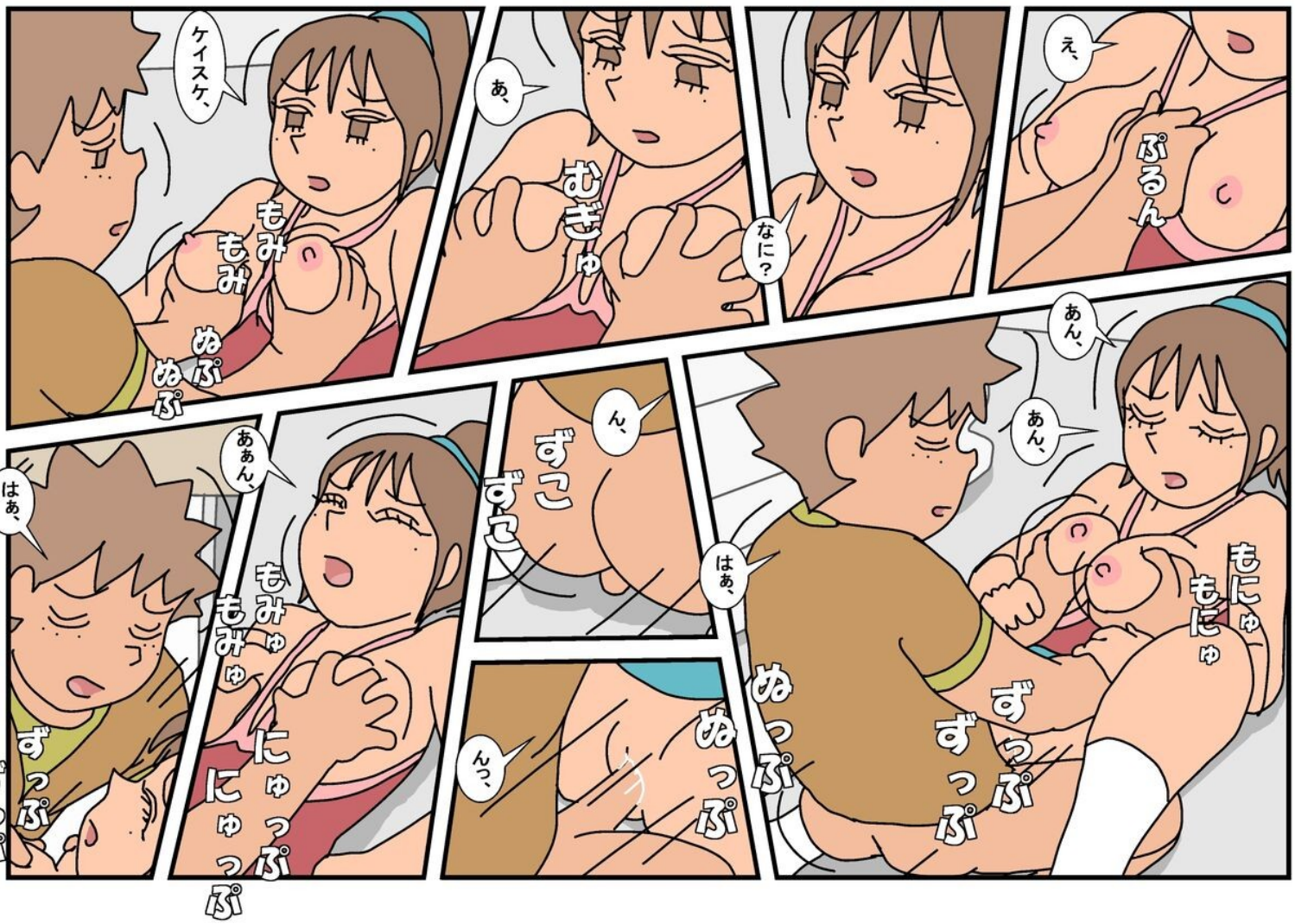

ちょっと、
ぬぷぬぷ
何動かしてるのよ。
セックスはだめって言ってるのに、
恋人ならいいんじゃないのか？
え？
何言ってんの？
誰が恋人なのよ！
セックスって恋人同士がするんだよな。
だから？
にゅぷにゅぷ
オレ達、今セックスしてるんだぞ。
ってことはもう恋人同士ってことじゃないか。
それ順番が違うでしょ！
順番なんていいだろ！
ぬっぷぬっぷ
もう、しちゃったんだから、
そんな、
ずぷずぷ
いやなのか？

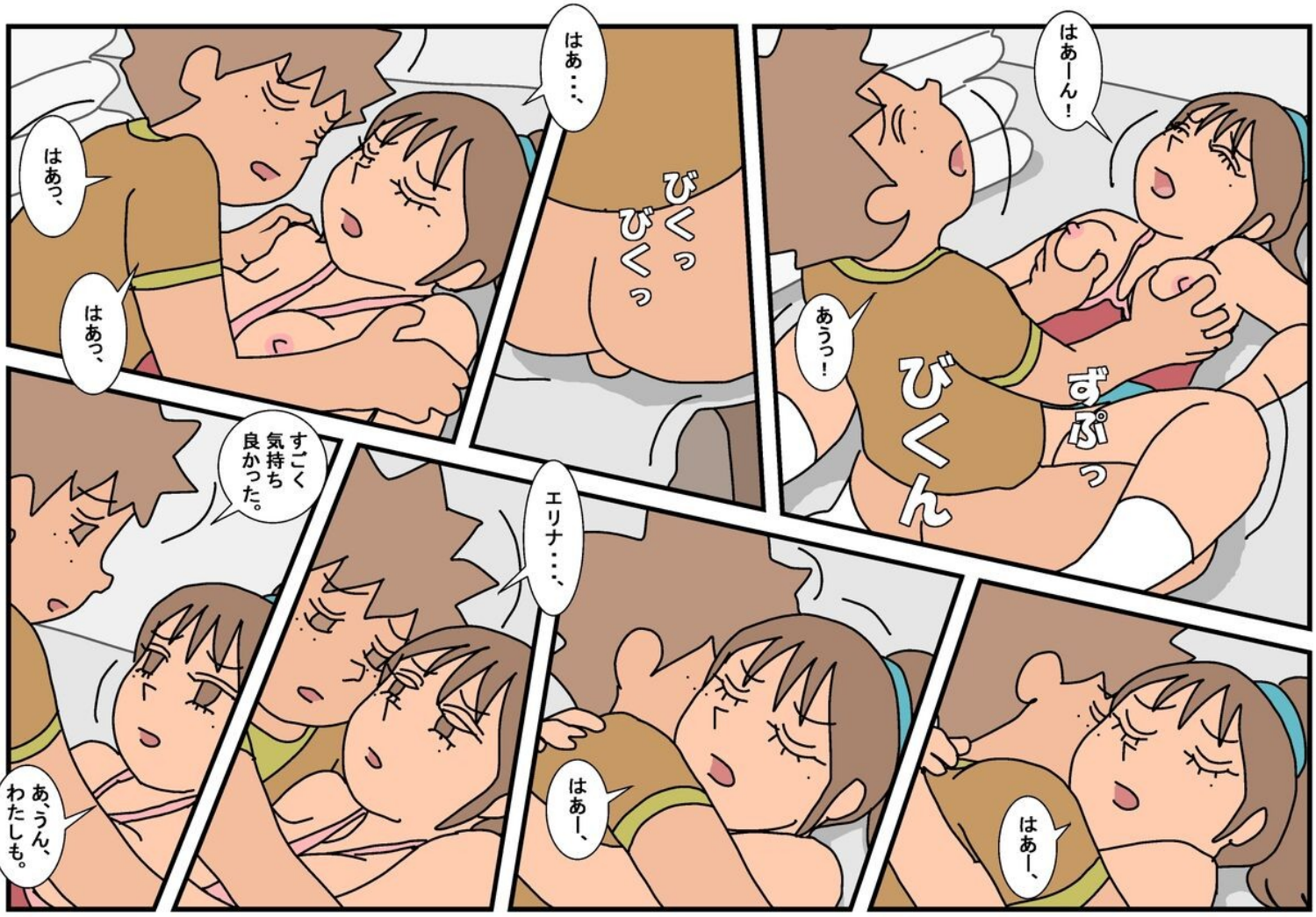

イヤじゃないけど、
ぬっぷ
ぬっぷ
えっ、
聞いてない。
はあ、はあ、
にゅっぷ
にゅっぷ
まあ、いいか。
なんだよ。
あ、ああ、
エリナのマンコ気持ちいい。
えっと、じゃあおマンコは？
エリナのおマンコ
気持ちいいよ。
にゅぷ
にゅぷ
にゅぷ
え、うん、
今どんな感じなのかなって？
ねえ、
そのマンコって言い方、どうにかならない？
ぬぷ
ぬぷ
おまんこ？
変なの。

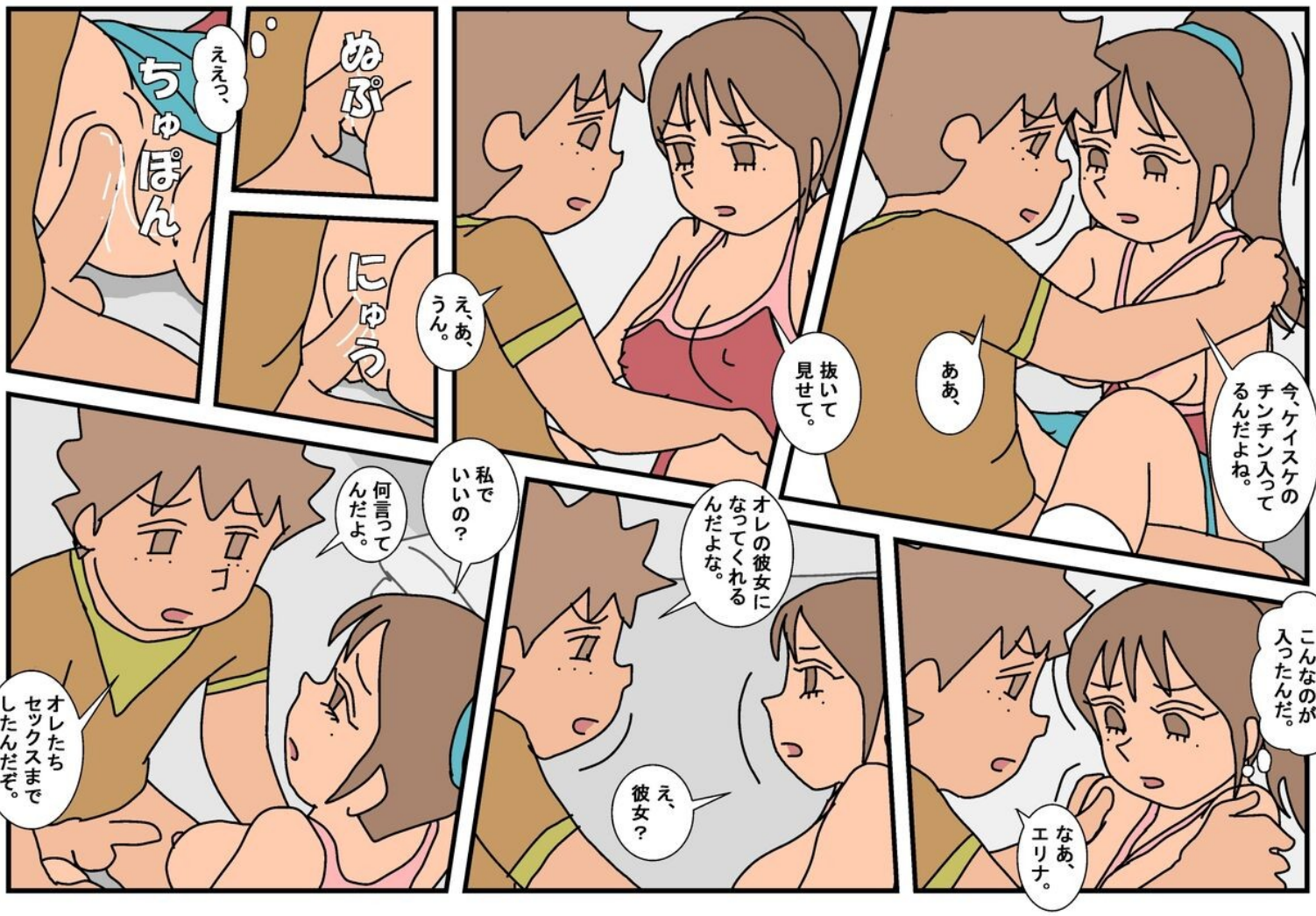

あ、じゃあ、チンコは何て言う？
え？
ぬぷぬぷ
チンコはチンコだろ。
だめでしょ。
”お”をつけなきゃ。
おチンコって
お前が言わせたんだろ！
そんなことより、
えっ、
ずっぷずっぷ
お…おチンコ？
なに笑ってるんだよ。
ぷっ
エリナこそどうなんだよ？
何が？
オレのチンコだよ！
ずっぽずっぽ

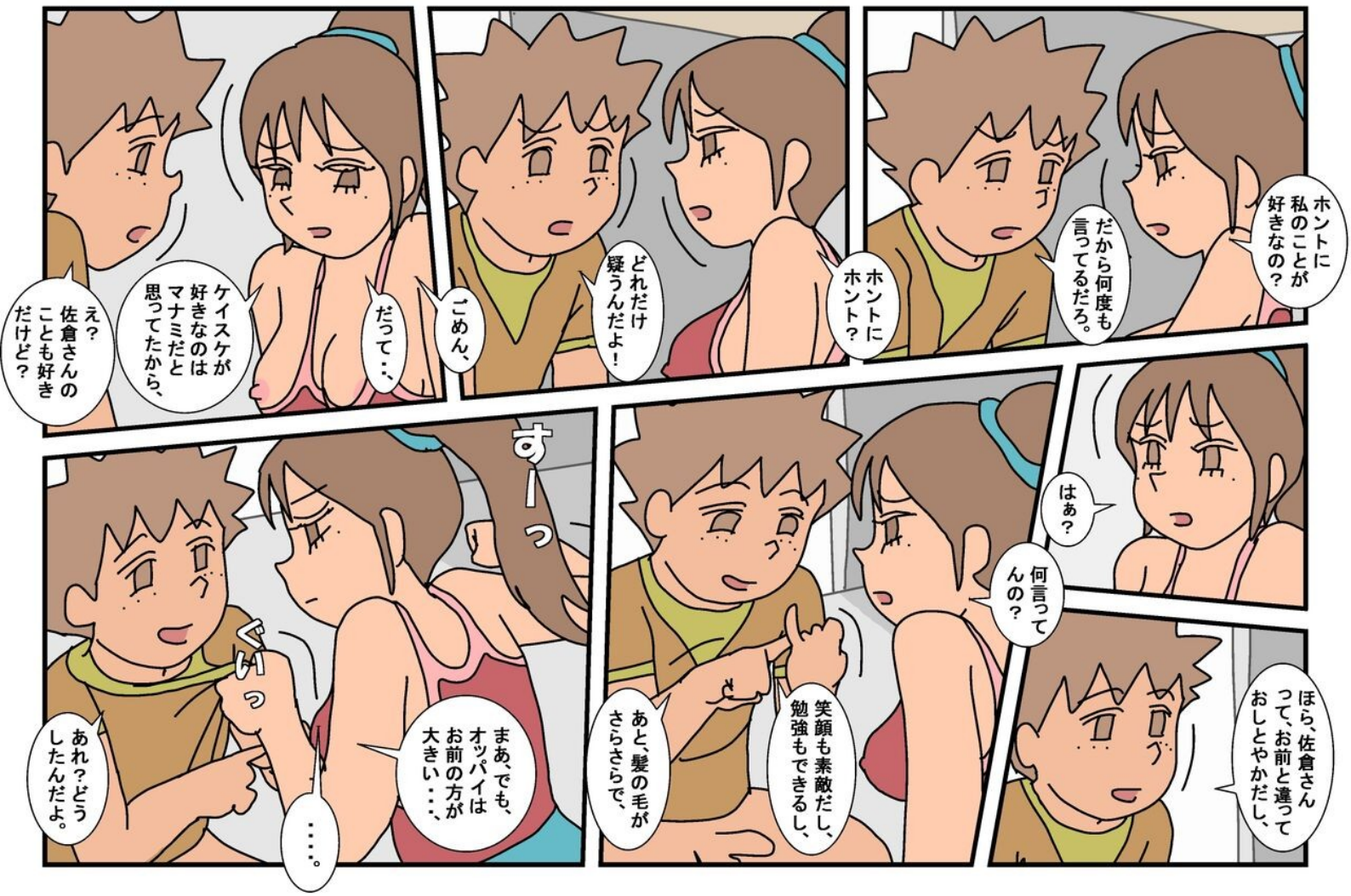

何よ急に、
ケイスケのおちんちん、
気持ちよくないのか？
さっきからずっと気持ちいいよ！
ぬっぷ
ぬっぷ
何聞いてんのよ！
エリナ、
にゅっぷ
にゅっぷ
どうして平気な顔していたんだ？
どうなんだよ！
ぬぷ
ぬぷ
恥ずかしいからに決まってるでしょ！
気持ちいいわよ！
ゆさ
ゆさ
そうなのか？
えっ、
うぐっ、
にゅっぷ
にゅっぷ
んっ、

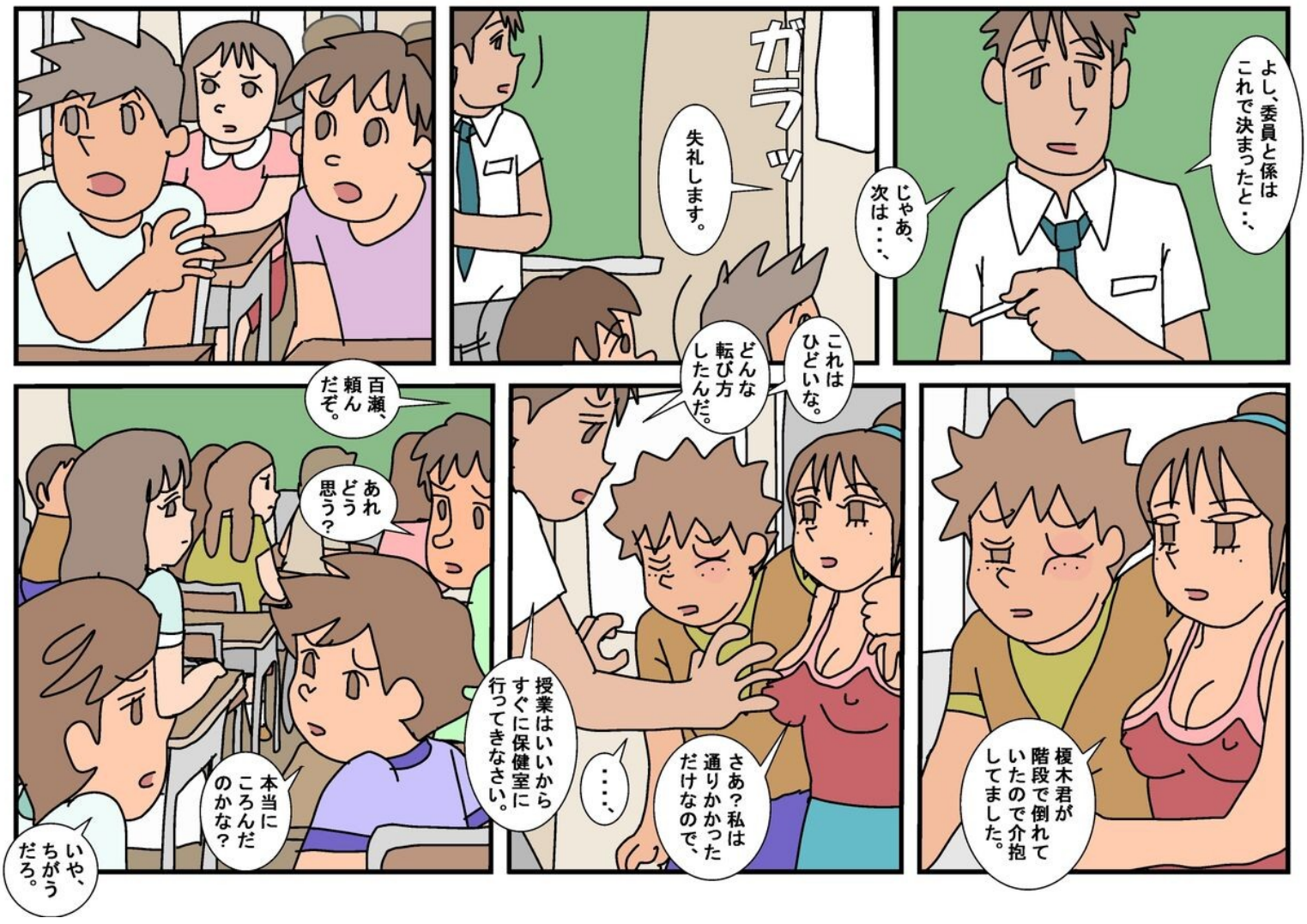

んっんっ
ずっぷずっぷ
あむあむ
べろべろ
んぐんぐ
はぁーっ、
ちゅぽん
え、抜くの？
はあん、
ずぷ
あ、また・・・
にゅぷにゅぷ

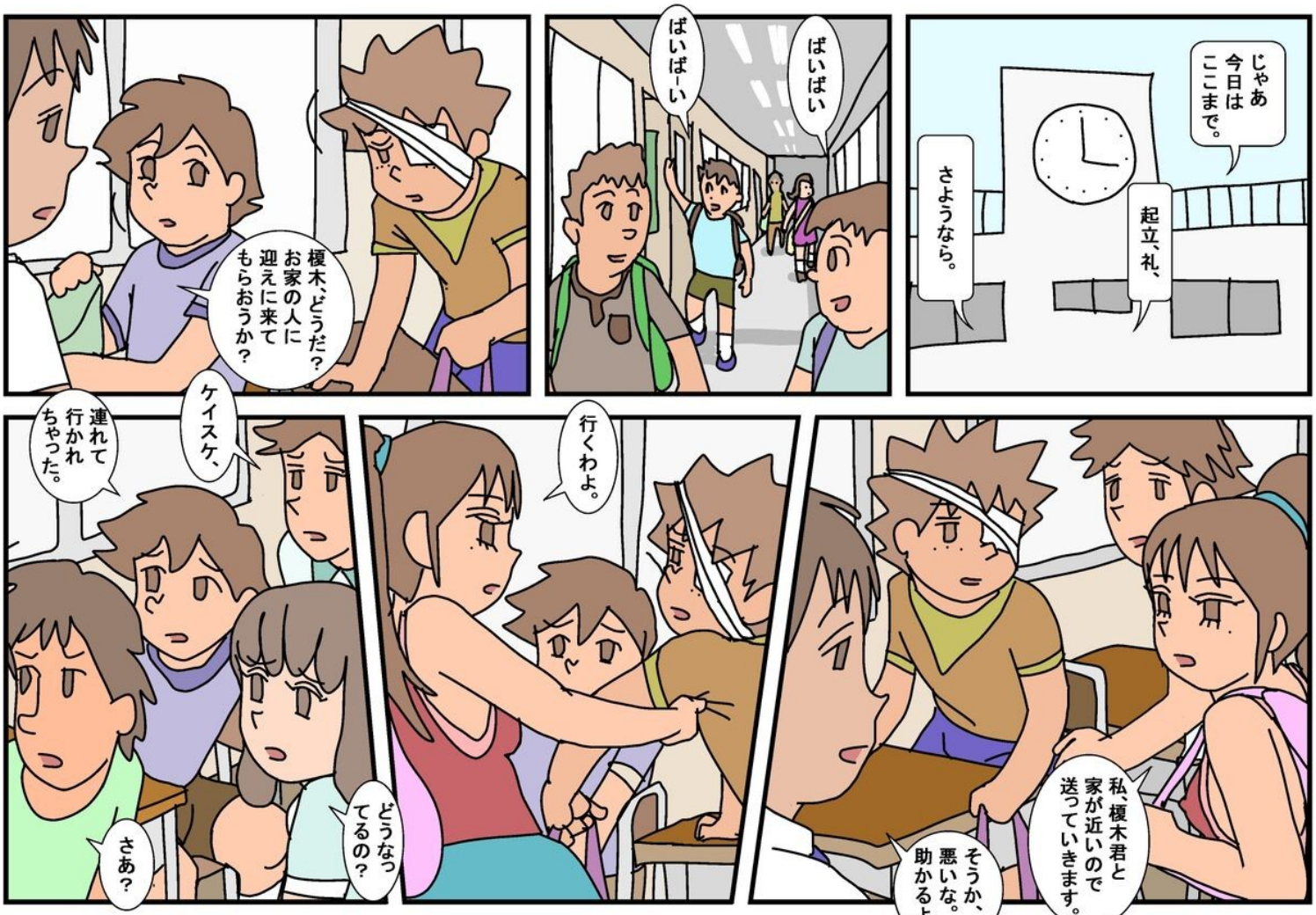

え、
ぷるん
なに？
あ、
むぎゅ
ケイスケ、
もみもみ
ぬぷぬぷ
あん、
あん、
もにゅもにゅ
はぁ、
ぬっぷ
ずっぷずっぷ
ん、
ずこずこ
んっ、
ぬっぷ
はぁ、
ずっぷ
あぁん、
もみゅもみゅ
にゅっぷにゅっぷ

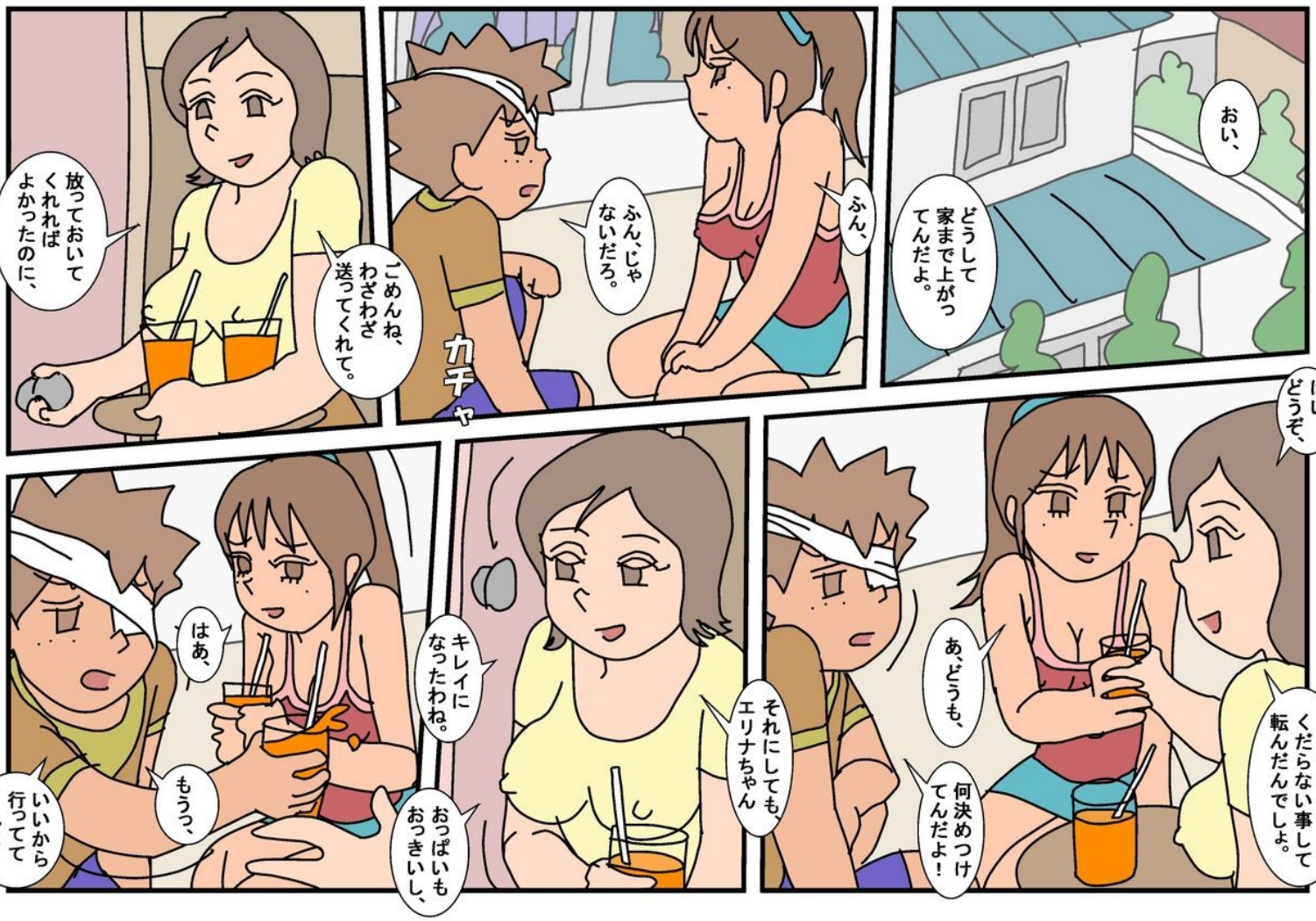

はあーん！
あうっ！
びくん
ずぷっ
はあ…、
びくっ
びくっ
はあっ、
はあっ、
すごく気持ち良かった。
エリナ…、
はあー、
はあー、
あ、うん、わたしも。

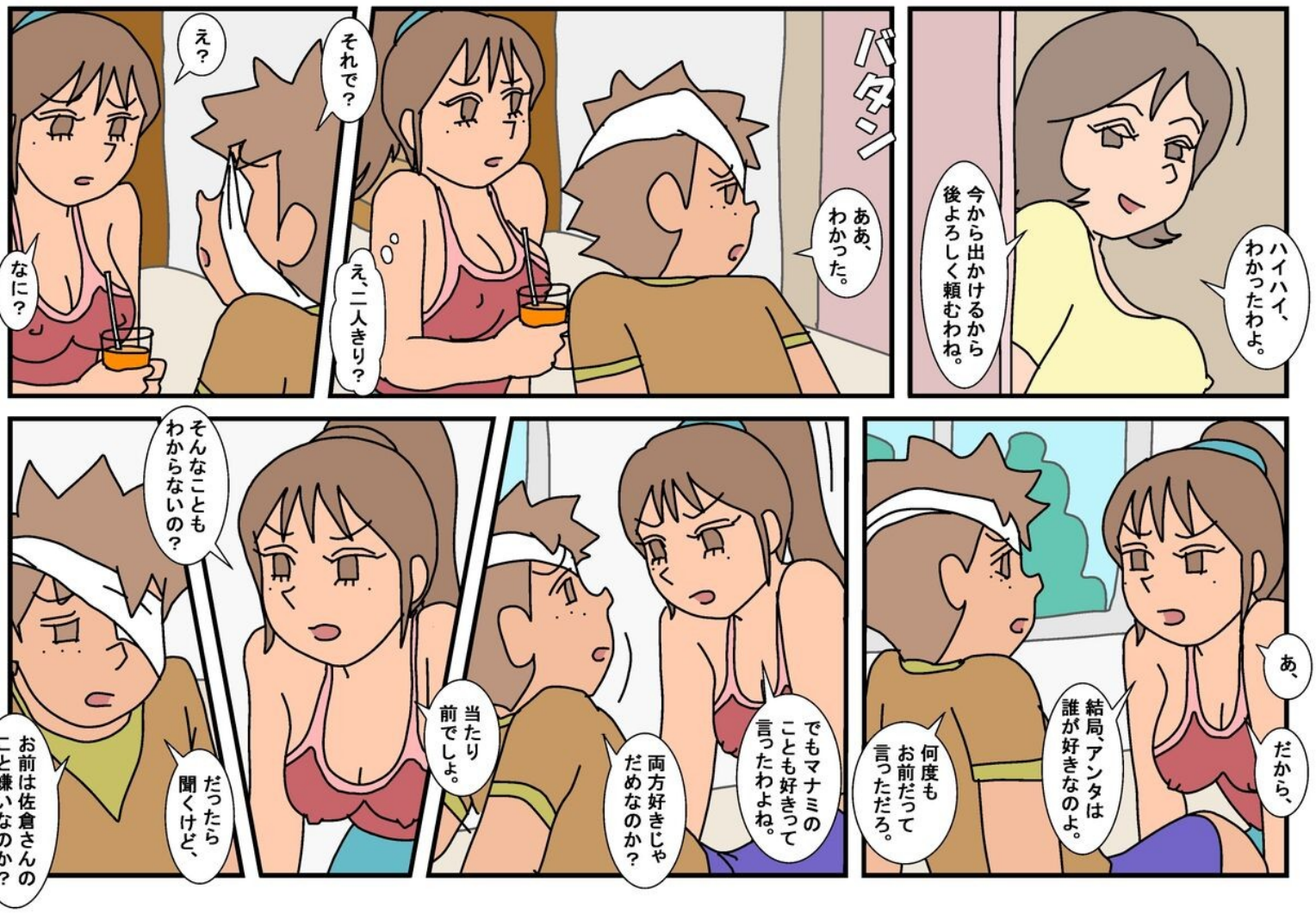

こんなのが入ったんだ。
なあ、エリナ。
え、彼女？
オレの彼女になってくれるんだよな。
私でいいの？
何言ってんだよ。
オレたちセックスまでしたんだぞ。
ああ、
今、ケイスケのチンチン入ってるんだよね。
抜いて見せて。
え、あ、うん。
にゅう
ぬぷ
ちゅぽん
ええっ、

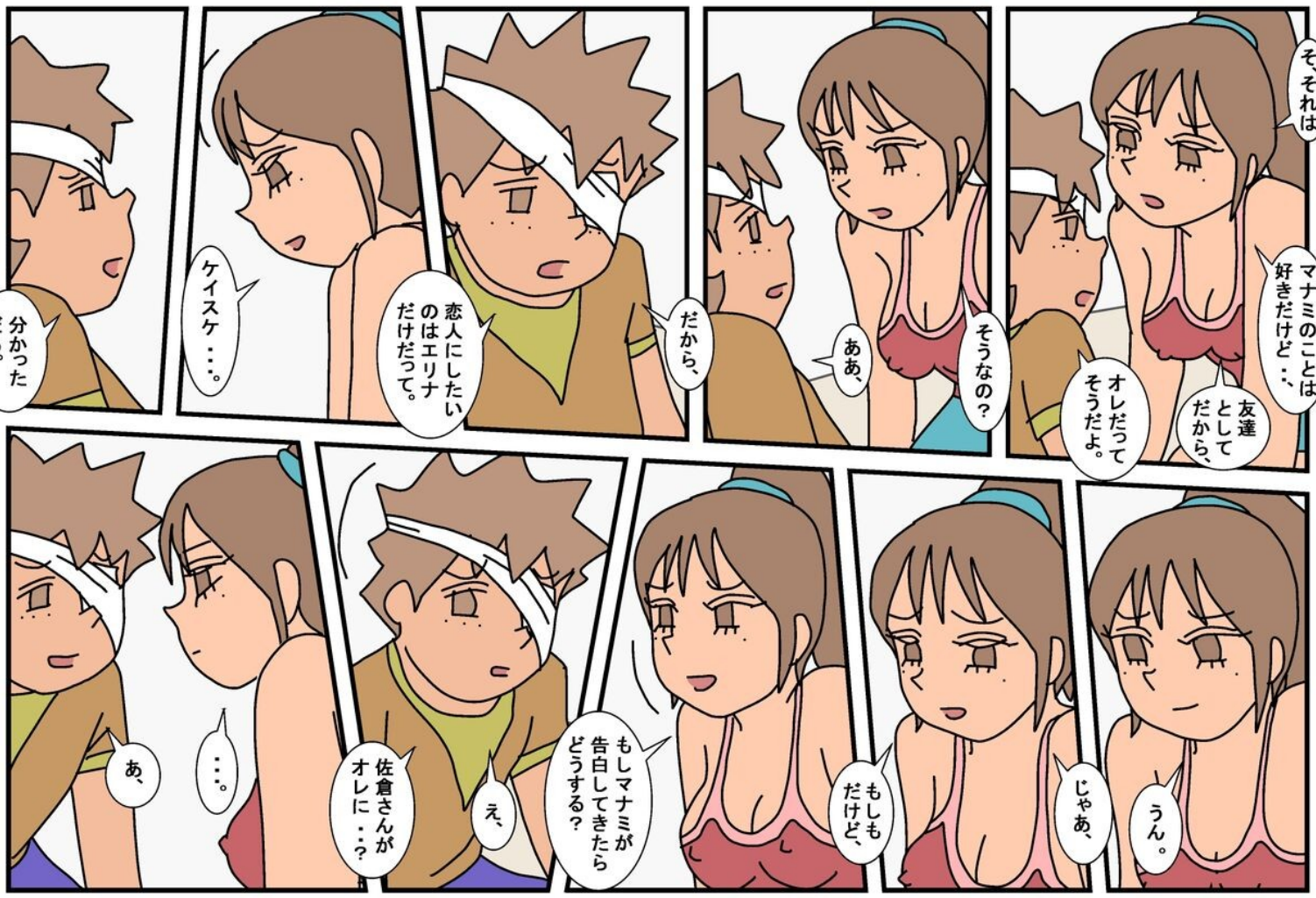

ホントに私のことが好きなの？
だから何度も言ってるだろ。
ホントにホント？
どれだけ疑うんだよ！
ごめん、
だって…、
ケイスケが好きなのはマナミだと思ってたから、
え？佐倉さんのことも好きだけど？
ほら、佐倉さんって、お前と違っておしとやかだし、
はぁ？
何言ってんの？
笑顔も素敵だし、勉強もできるし、
あと、髪の毛がさらさらで、
すーっ
まあ、でも、オッパイはお前の方が大きい…、
ぐっ
あれ？どうしたんだよ。
…。

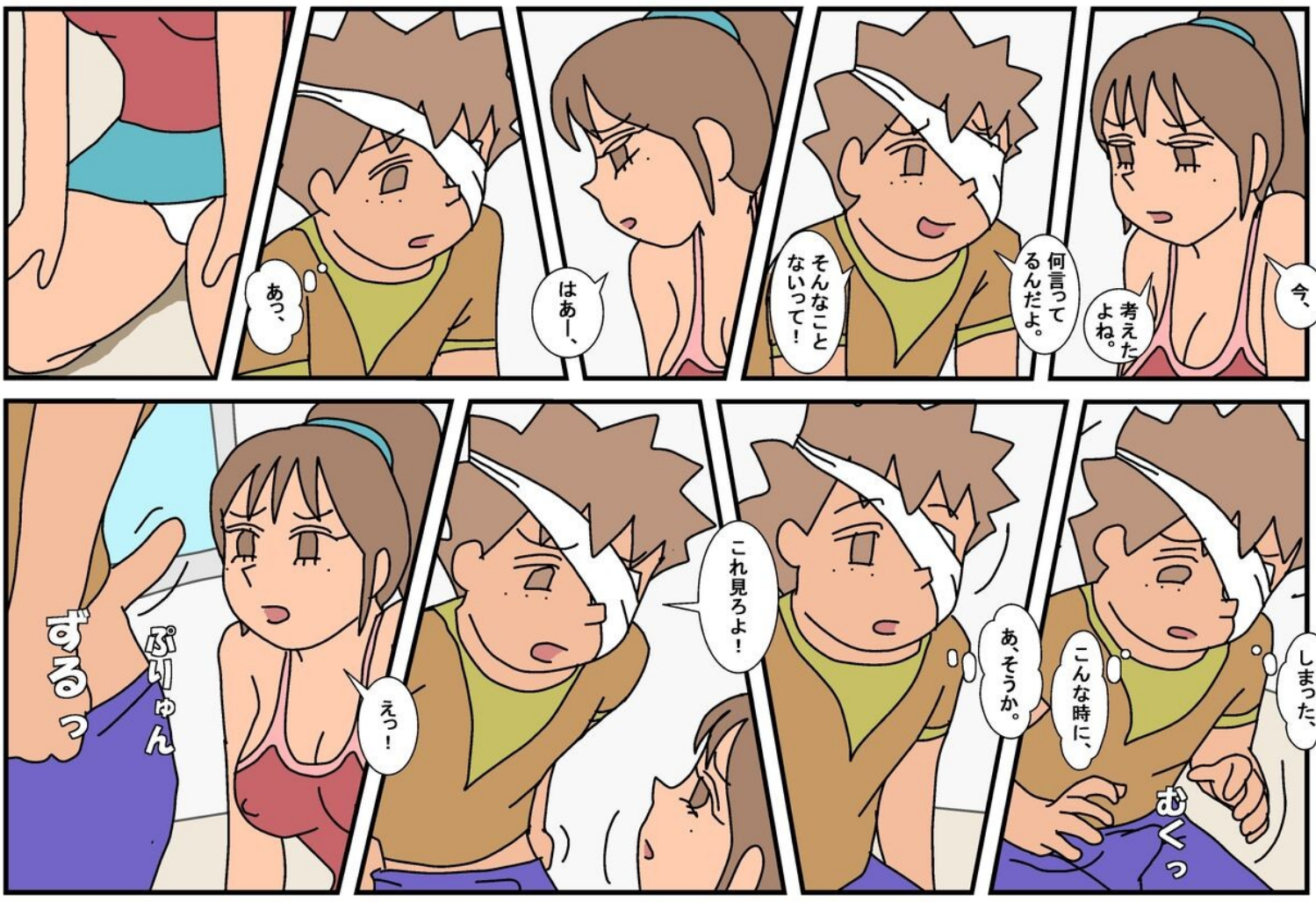

よし、委員と係はこれで決まったと・・・
じゃあ、次は・・・
ガラッ
失礼します。
これはひどいな。
どんな転び方したんだ。
・・・・
さあ？私は通りかかっただけなので、
授業はいいからすぐに保健室に行ってきなさい。
榎木君が階段で倒れていたので介抱してました。
百瀬、頼んだぞ。
あれどう思う？
本当にころんだのかな？
いや、ちがうだろ。

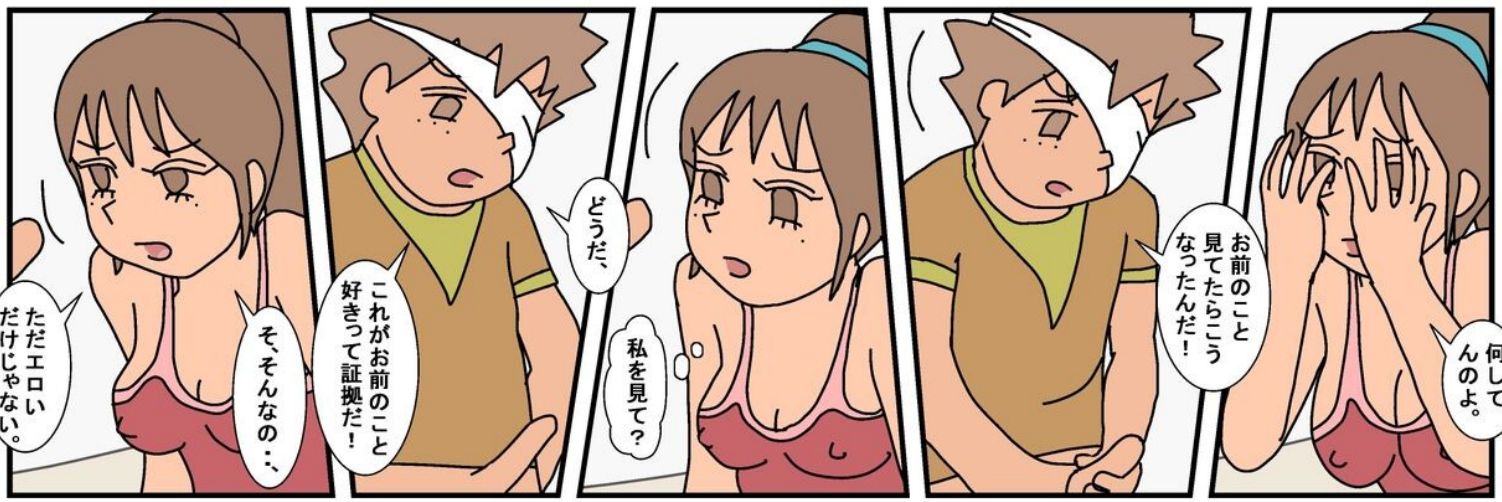

じゃあ
今日は
ここまで。
起立、礼、
さようなら。
ばいばい
ばいばーい
榎木、どうだ？
お家の人に
迎えに来て
もらおうか？
私、榎木君と
家が近いので
送っていきます。
そうか、
悪いな。
助かるよ。
行くわよ。
どうなって
るの？
さあ？
ケイスケ、
連れて
行かれ
ちゃった。


おい、
どうして家まで上がってんだよ。
ふん、
ふん、じゃないだろ。
カチャ
ごめんね、わざわざ送ってくれて。
放っておいてくれればよかったのに、
はい、どうぞ、
どうせまたくだらない事して転んだんでしょ。
あ、どうも、
何決めつけてんだよ！
それにしても、エリナちゃん
キレイになったわね。
おっぱいもおっきいし、
はあ、
もうっ、
いいから行ってくれよ！

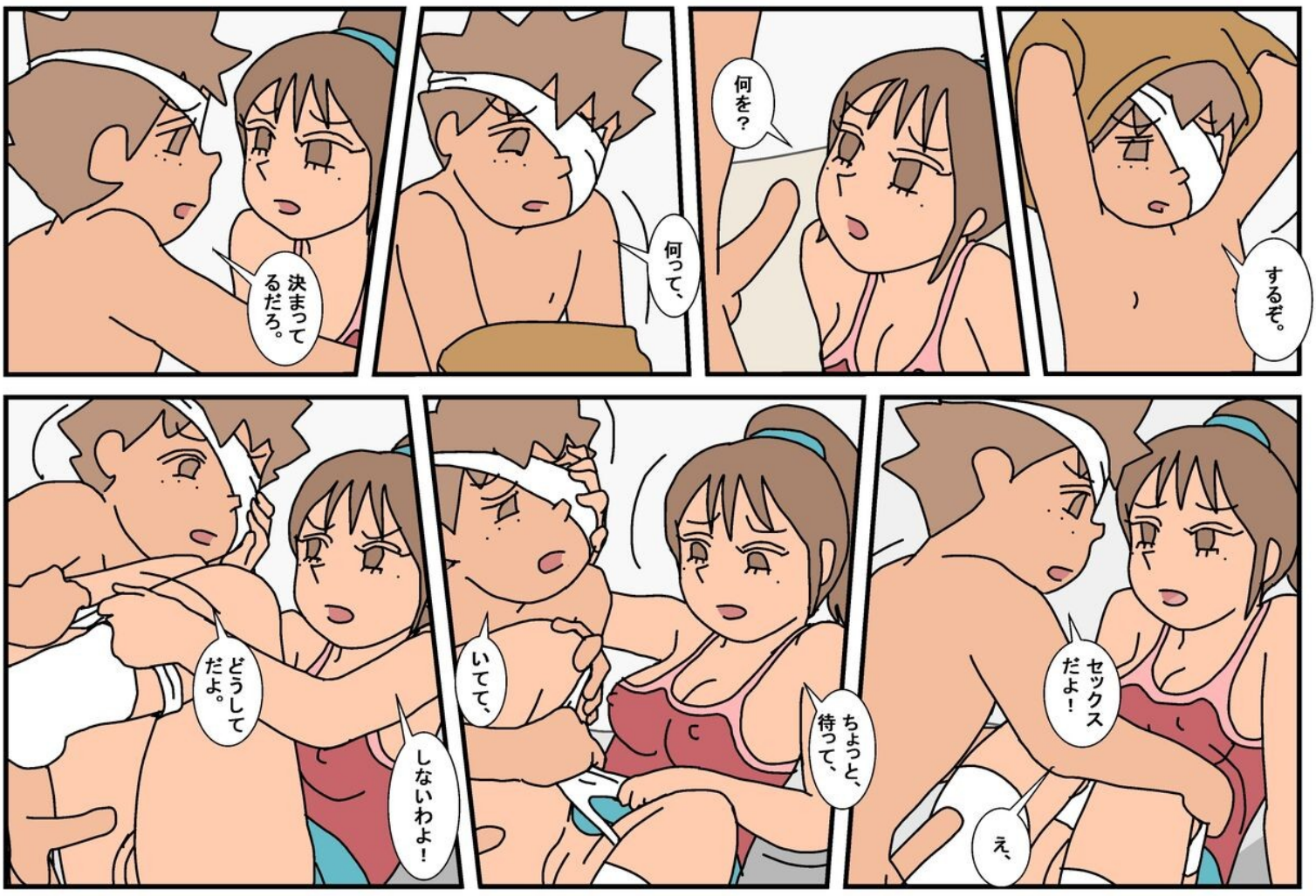

ハイハイ、わかったわよ。
今から出かけるから後よろしく頼むわね。
バタン
ああ、わかった。
え、二人きり？
それで？
え？
なに？
あ、
だから、
結局、アンタは誰が好きなのよ。
何度もお前だって言っただろ。
でもマナミのことも好きって言ったわよね。
両方好きじゃだめなのか？
当たり前でしょ。
そんなこともわからないの？
だったら聞くけど、
お前は佐倉さんのこと嫌いなのか？

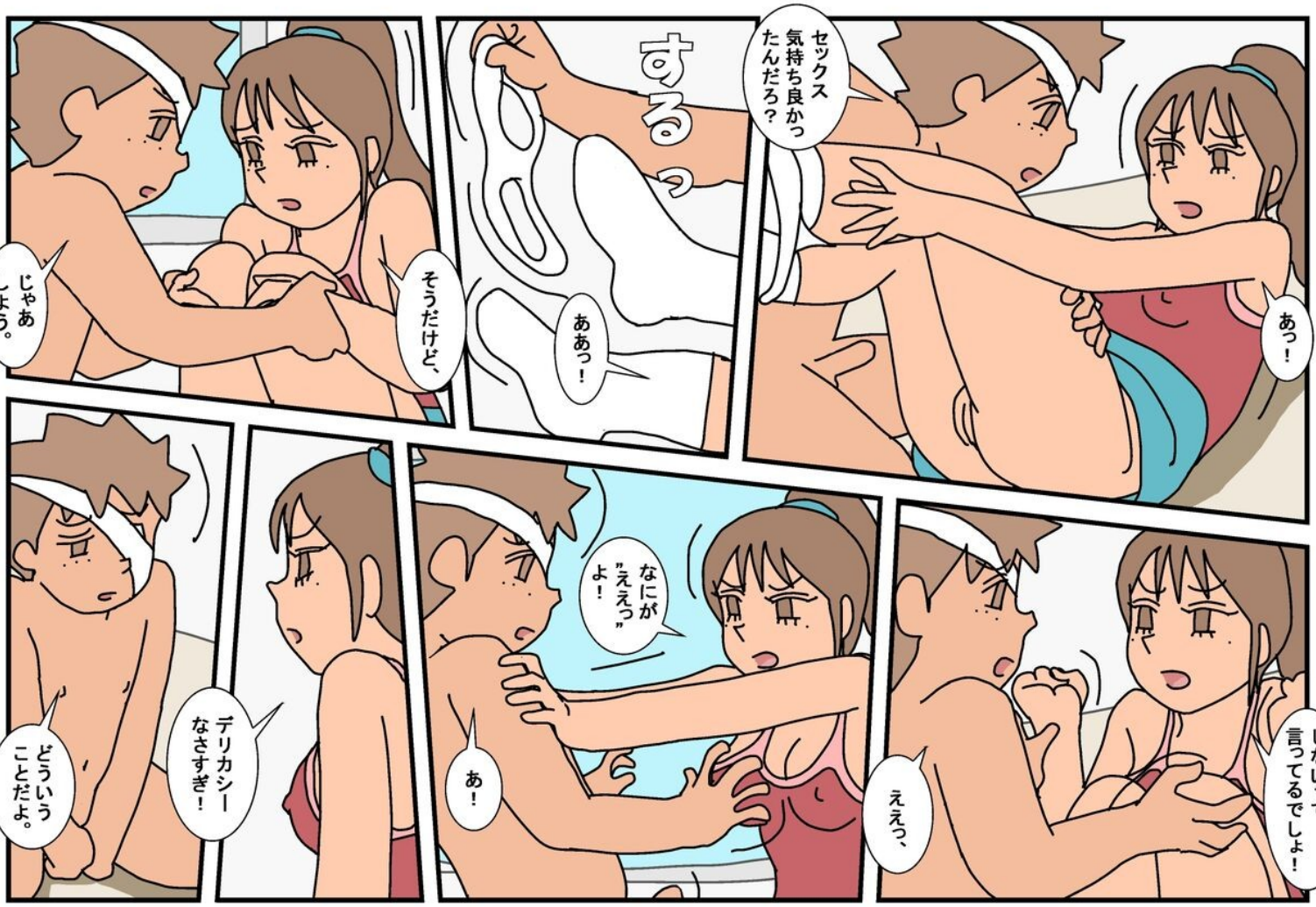

そ、それは
マナミのことは好きだけど・・、
友達としてだから、
オレだってそうだよ。
そうなの？
ああ、
だから、
恋人にしたいのはエリナだけだって。
ケイスケ・・。
分かっただろ。
うん。
じゃあ、
もしもだけど、
もしマナミが告白してきたらどうする？
え、
佐倉さんがオレに・・？
・・。
あ、

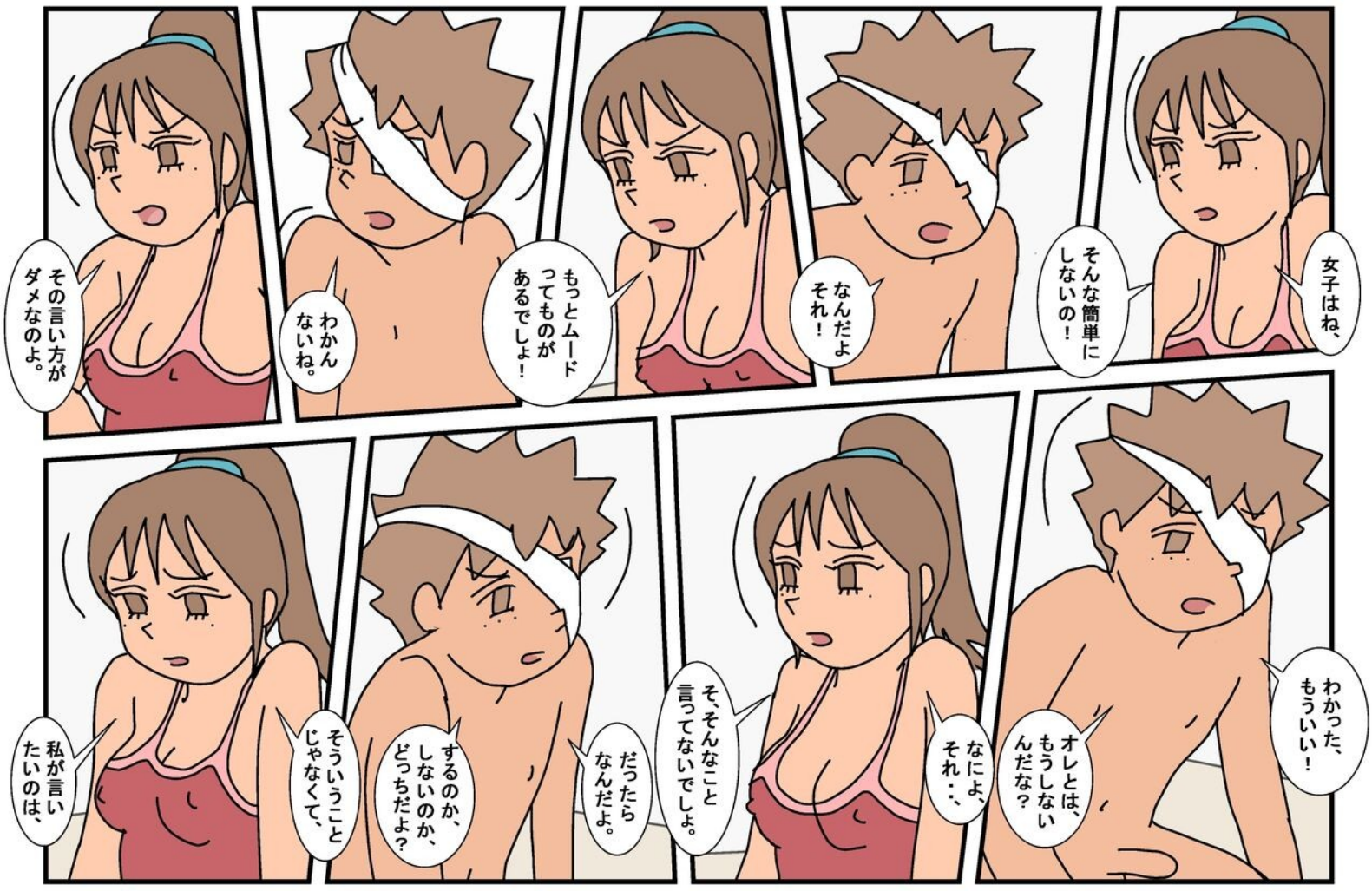

今、
考えたよね。
何言ってるんだよ。
そんなことないって！
はあー、
あっ、
しまった、
こんな時に、
あ、そうか。
むくっ
これ見ろよ！
えっ！
ぷりゅん
ずるっ

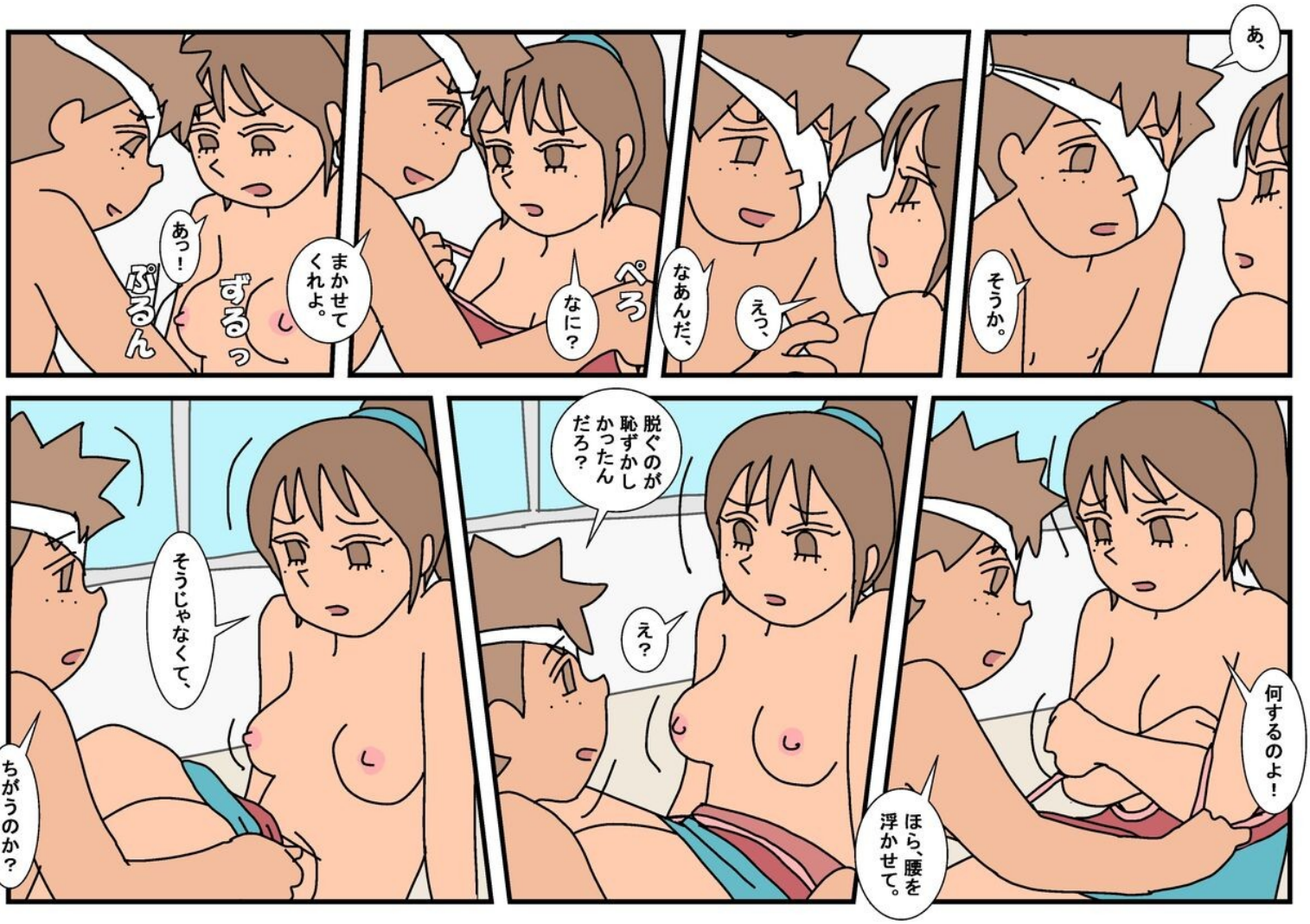

何してんのよ。
お前のこと見てたらこうなったんだ！
私を見て？
どうだ、
これがお前のこと好きって証拠だ！
そ、そんなの・・、
ただエロいだけじゃない。

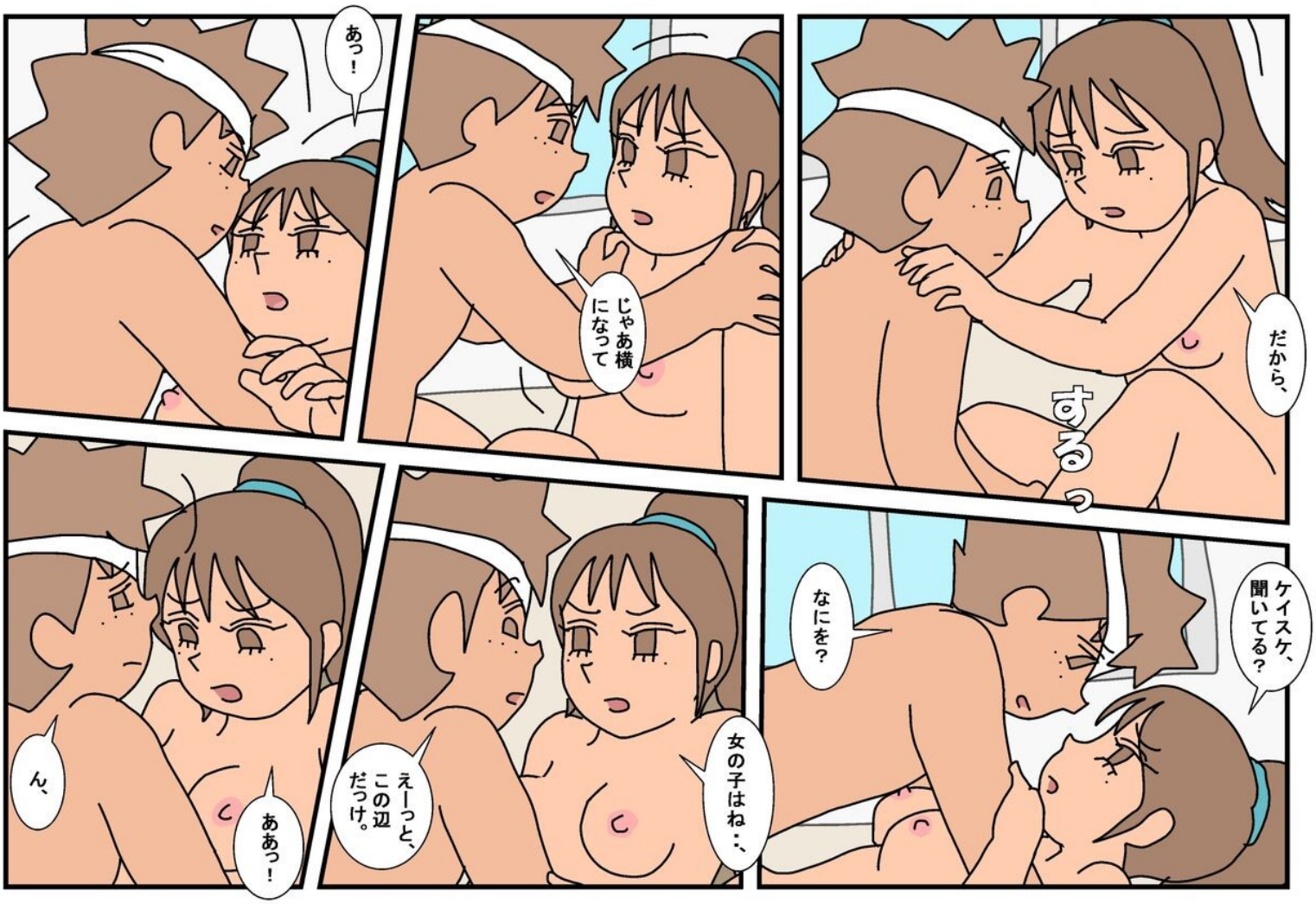
エリナだからこうなるんだって。
あ、
わかったわよ。
もういいからズボン穿いて。
何言ってんだよ！
えっ？
このまま穿けって言うのか？
コレどうしてくれるんだよ。

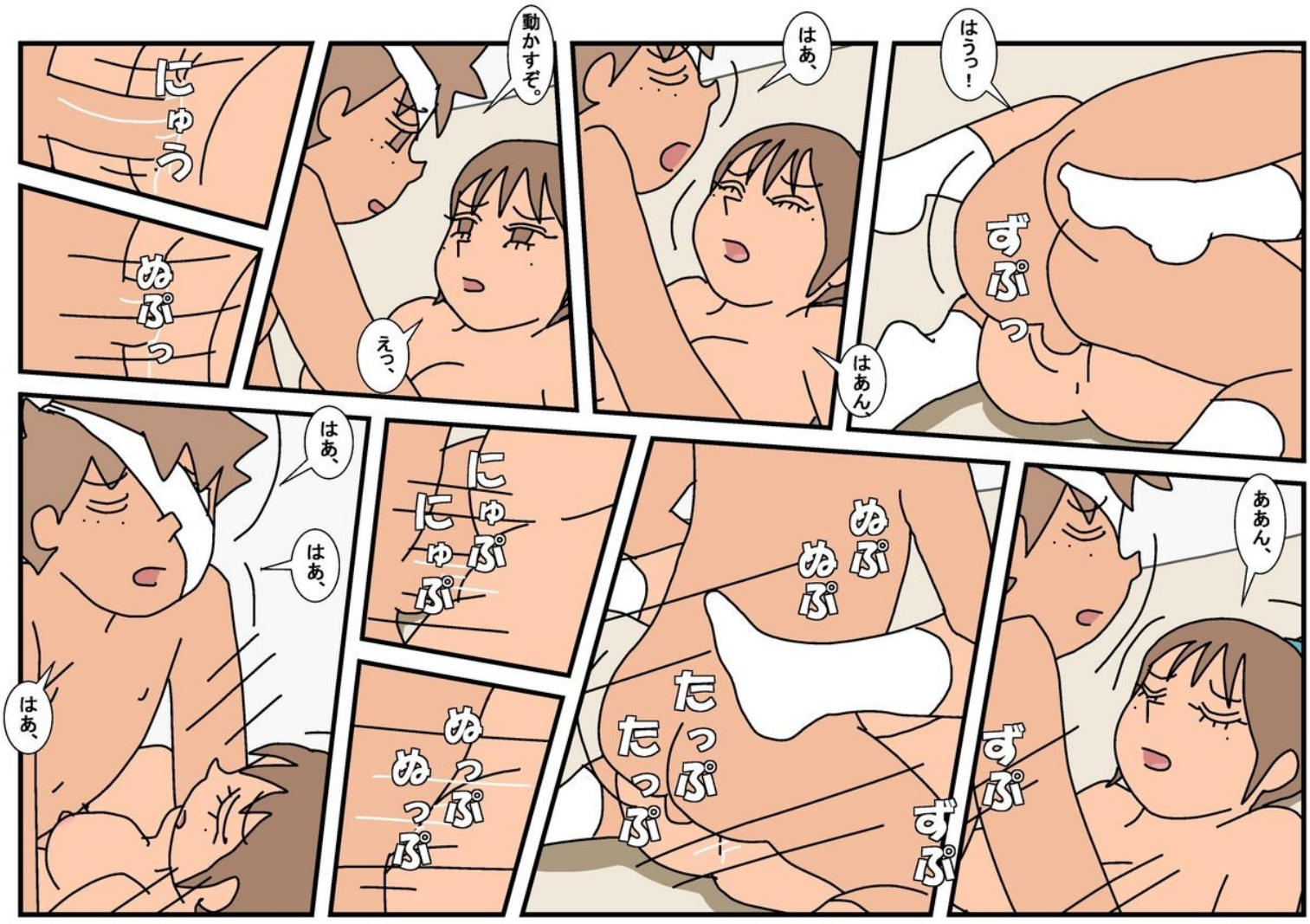

決まってるだろ。
何って、
何を？
するぞ。
どうしてだよ。
しないわよ！
いてて、
ちょっと、待って、
セックスだよ！
え、

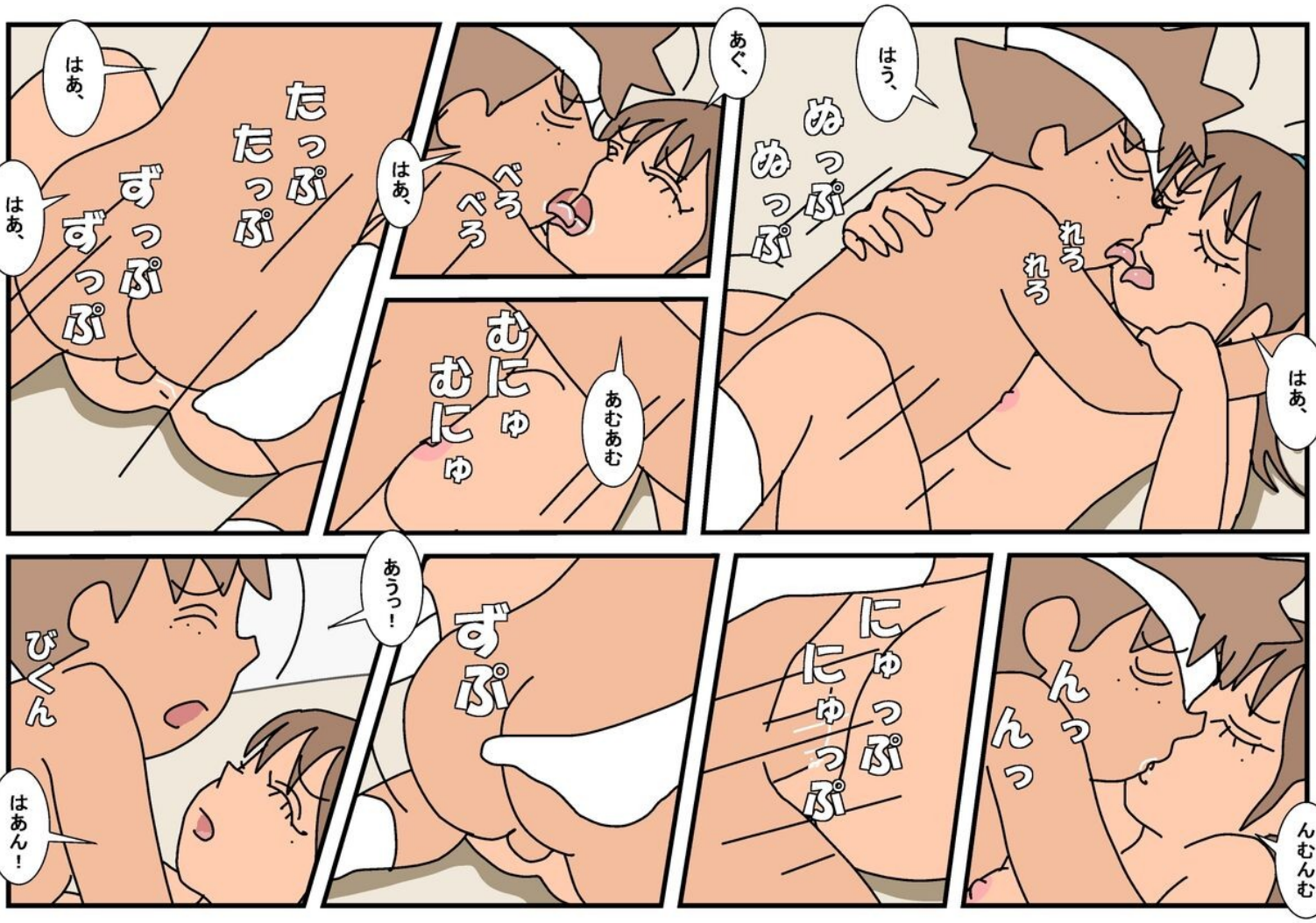

セックス気持ち良かったんだろ？
あっ！
するっ
ああっ！
そうだけど、
じゃあしよう。
しないって言ってるでしょ！
ええっ、
なにが〝ええっ〟よ！
あ！
デリカシーなさすぎ！
どういうことだよ。


女子はね、
わかった、もういい！
そんな簡単にしないの！
オレとは、もうしないんだな？
なんだよそれ！
なによ、それ・・
もっとムードってものがあるでしょ！
そ、そんなこと言ってないでしょ。
わかんないね。
だったらなんだよ。
その言い方がダメなのよ。
するのか、しないのか、どっちだよ？
そういうことじゃなくて、
私が言いたいのは、

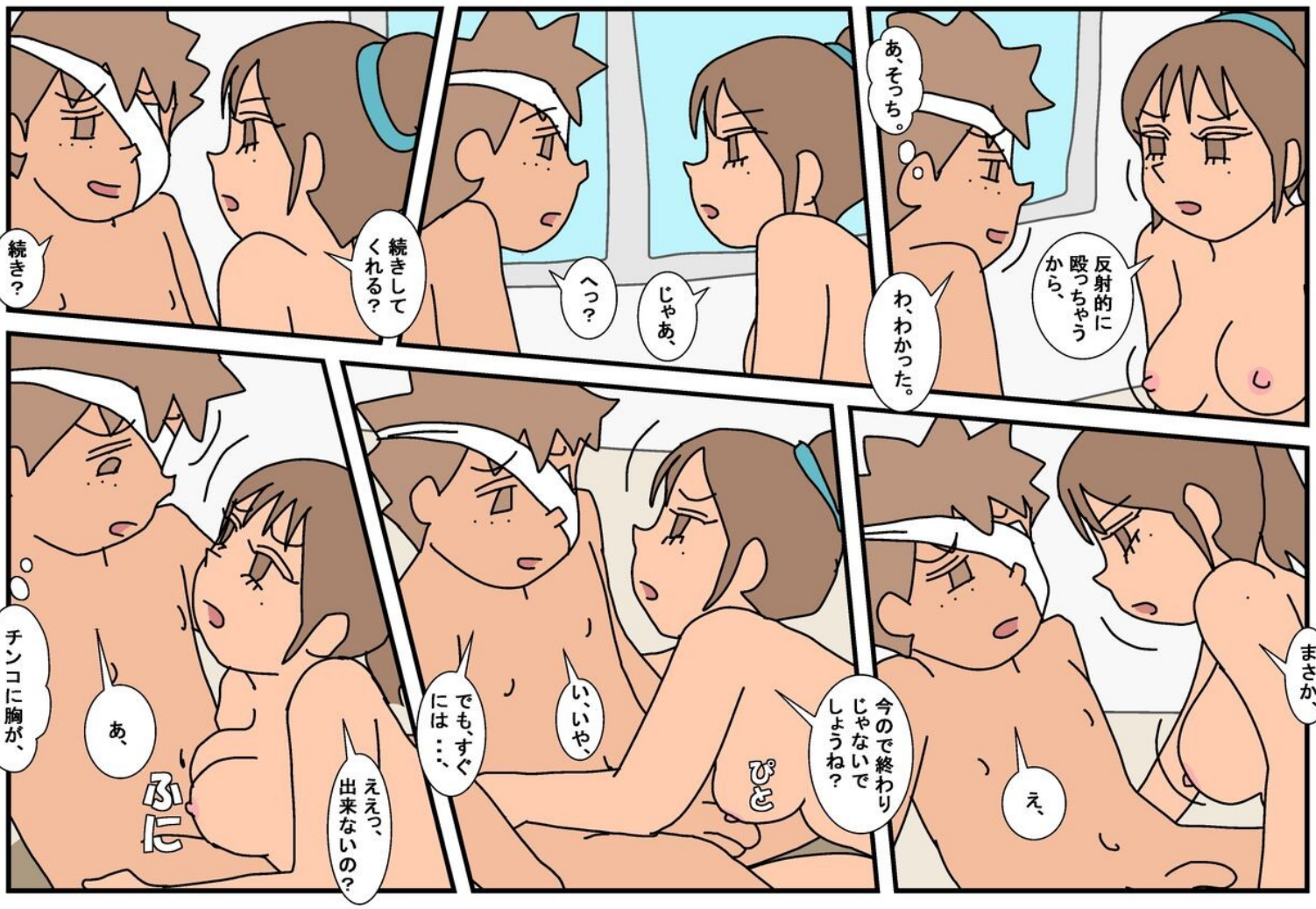

あ、
そうか。
えっ、
なあんだ、
なに？
ぺろ
まかせてくれよ。
ずるっ
あっ！
ぷるん
何するのよ！
ほら、腰を浮かせて。
え？
脱ぐのが恥ずかしかったんだろ？
そうじゃなくて、
ちがうのか？

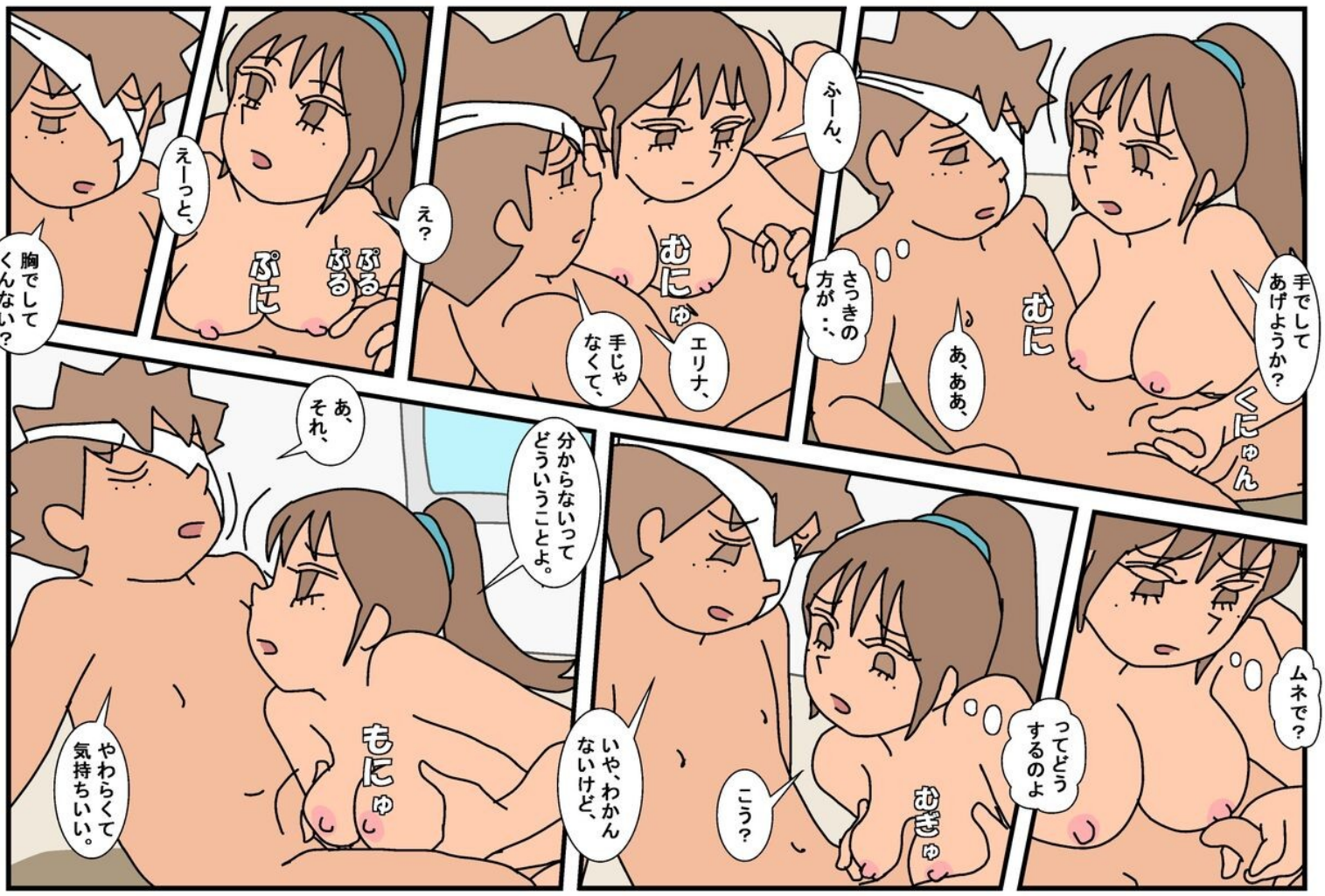

ケイスケ、聞いてる？
なにを？
だから、
するっ
女の子はね…、
えーっと、この辺だっけ。
じゃあ横になって
あっ！
ん、
ああっ！

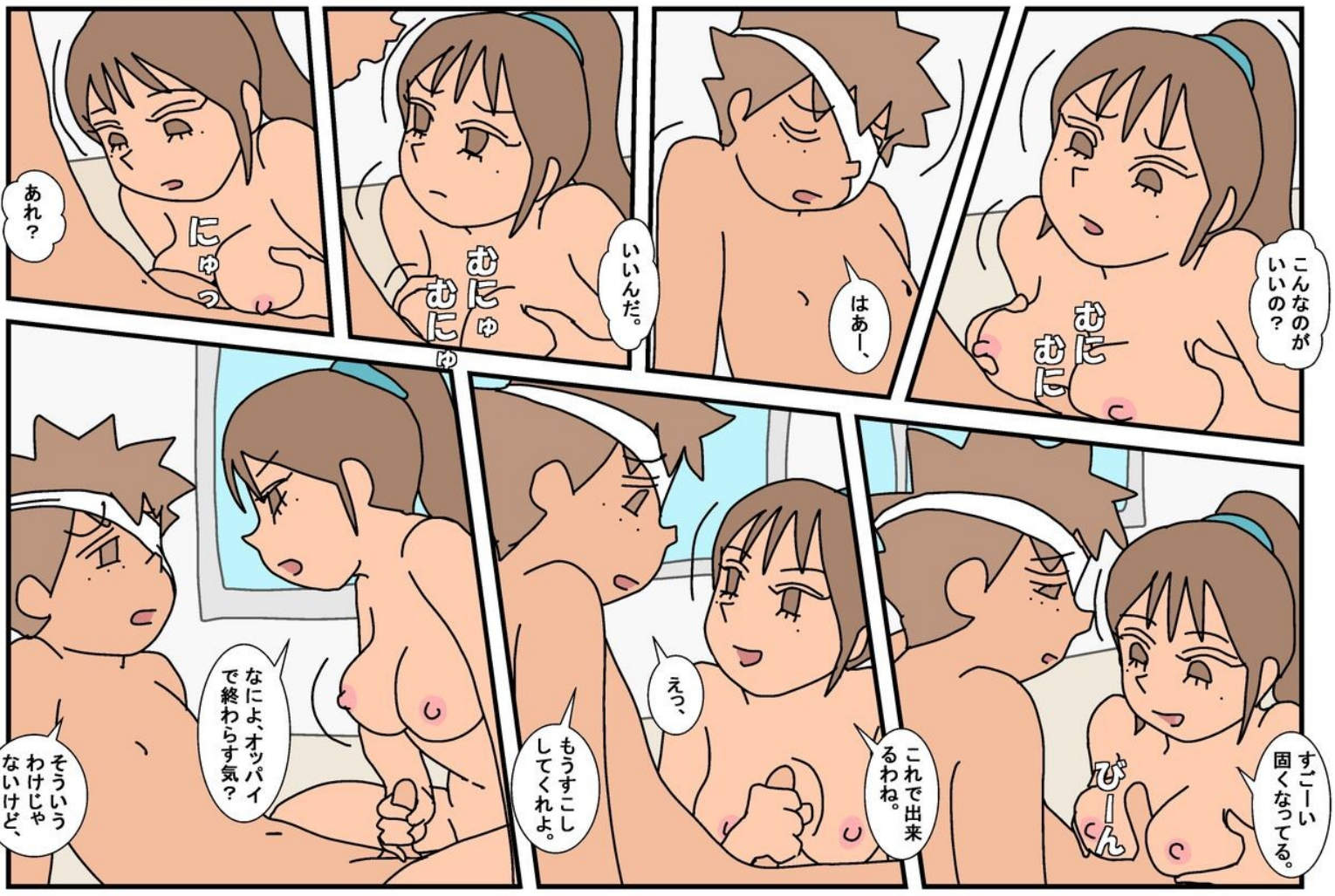

はうっ！
ずぷっ
はあん
はあ、
動かすぞ。
えっ、
にゅう
ぬぷっ
ああん、
ずぷ
ずぷ
ぬぷ
ぬぷ
たっぷ
たっぷ
にゅぷ
にゅぷ
ぬっぷ
ぬっぷ
はあ、
はあ、
はあ、


はぁ、
れろれろ
ぬっぷぬっぷ
はう、
あぐ、
べろべろ
はぁ、
むにゅむにゅ
あむあむ
はぁ、
たっぷたっぷ
ずっぷずっぷ
はぁ、
んっんっ
んむんむ
にゅっぷにゅっぷ
ずぷ
あうっ！
びくん
はあん！

はぁぁ、
びくっ
びくっ
ふう、
エリナ、
どうだった？
え、
気持ち良かった。
ムードなんて全然関係なかっただろ。
わかったわよ。
だけど・・
なんだよ。
次から無理にしないでよ。
ああ、
エリナも女の子なんだな。


まさか、
え、
今ので終わりじゃないでしょうね？
ぴと
い、いや、
でも、すぐには…、
ええっ、出来ないの？
ふに
あ、
チンコに胸が、
わ、わかった。
反射的に殴っちゃうから、
あ、そっち。
じゃあ、
へっ？
続きしてくれる？
続き？


手でしてあげようか？
むに
くにゅん
あ、ああ、
さっきの方が…
ふーん、
むにゅ
エリナ、
手じゃなくて、
え？
ぷるぷる
ぷに
えーっと、
胸でしてくんない？
ムネで？
ってどうするのよ
むぎゅ
こう？
いや、わかんないけど、
分からないってどういうことよ。
あ、それ、
もにゅ
やわらくて気持ちいい。

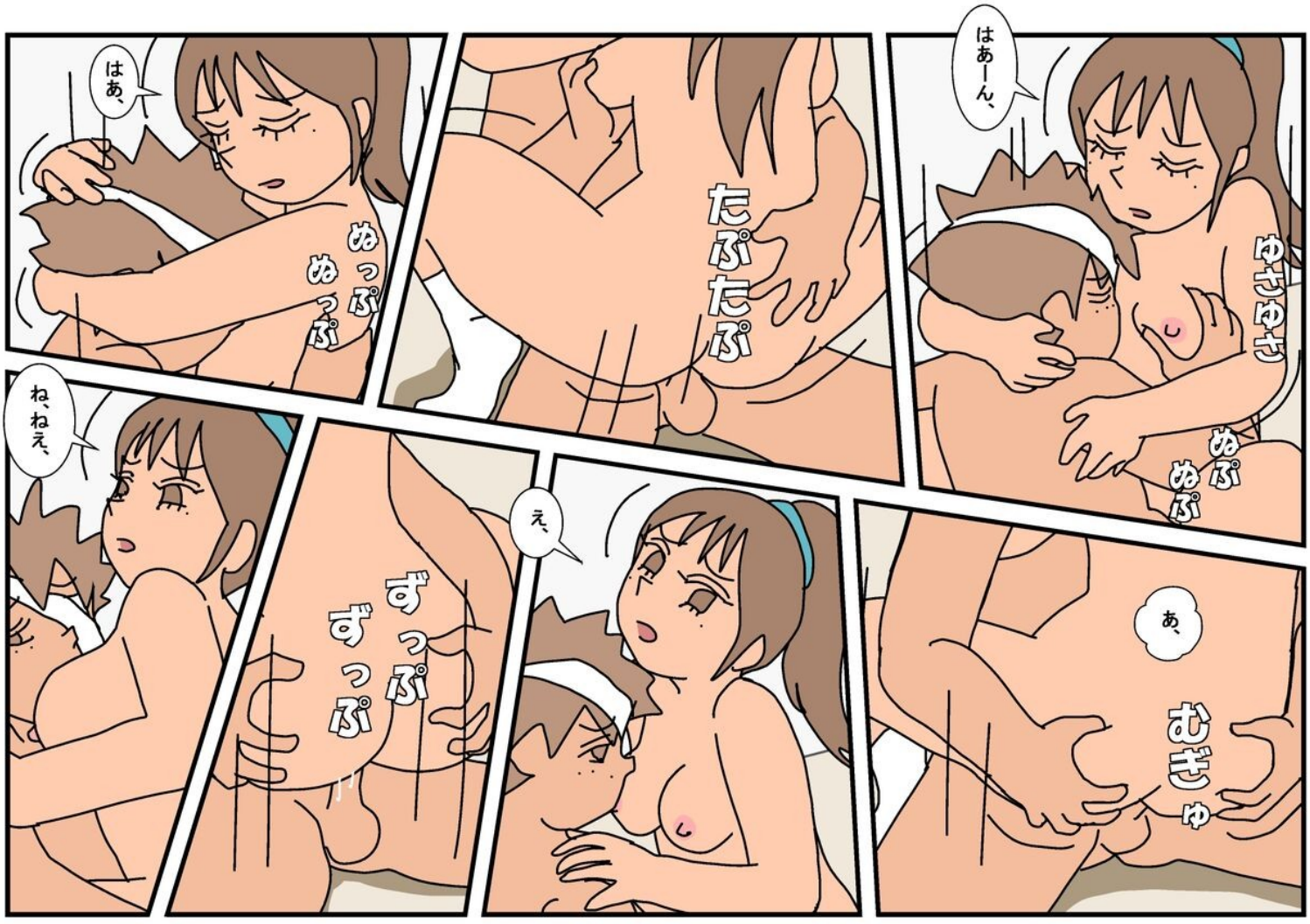

こんなのがいいの？
むにむに
すごーい固くなってる。
ぴーん
これで出来るわね。
はあー、
いいんだ。
むにゅむにゅ
あれ？
にゅっ
えっ、
もうすこしてくれよ。
なによ、オッパイで終わらす気？
そういうわけじゃないけど、

セックスするんでしょ。
するけど、
なにもったいつけてるのよ！
そんなんじゃ…、
もういい、私がするから。
くに
え、
はあーん、
あうっ、
ぬっぷ
はふーっ、
入れたのか？
ケイスケがモタモタしてるからじゃない。

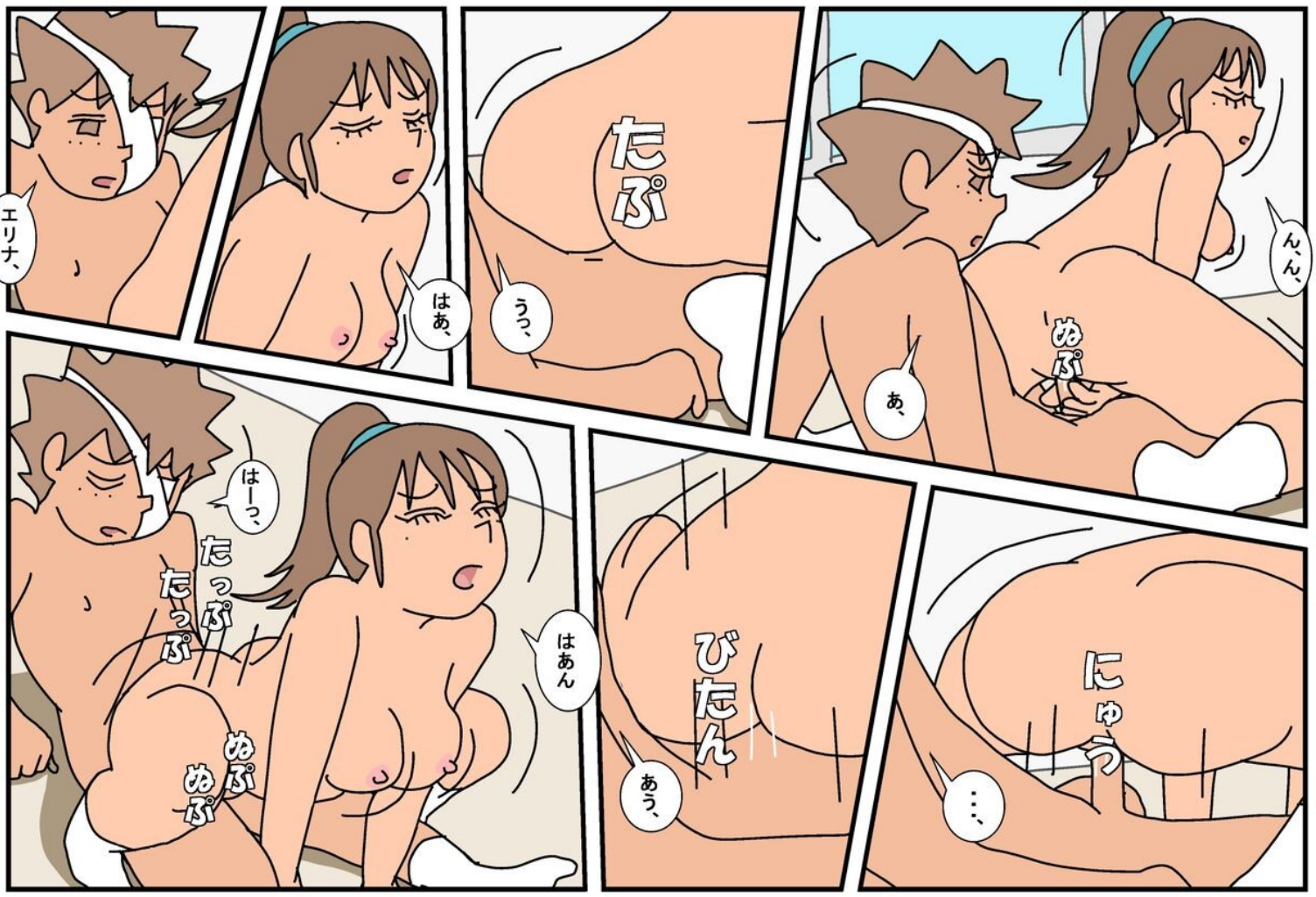
オレにだってペースってもんがあるんだよ！
動いてあげてるんでしょ。
ぬぷぬぷ
むっ
なによ、そのしてやってるって感じ。
よーし、
にゅっ
それでされるのってどんな感じ？
たぷたぷ
それで？
……
にゅぷにゅぷ
え、
よくないの？
ま、まあ、
よくなくもない。
それならわたしが、
にゅぷ
はあーっ、
にゅぷにゅぷ
あ、何動いてるんだよ！

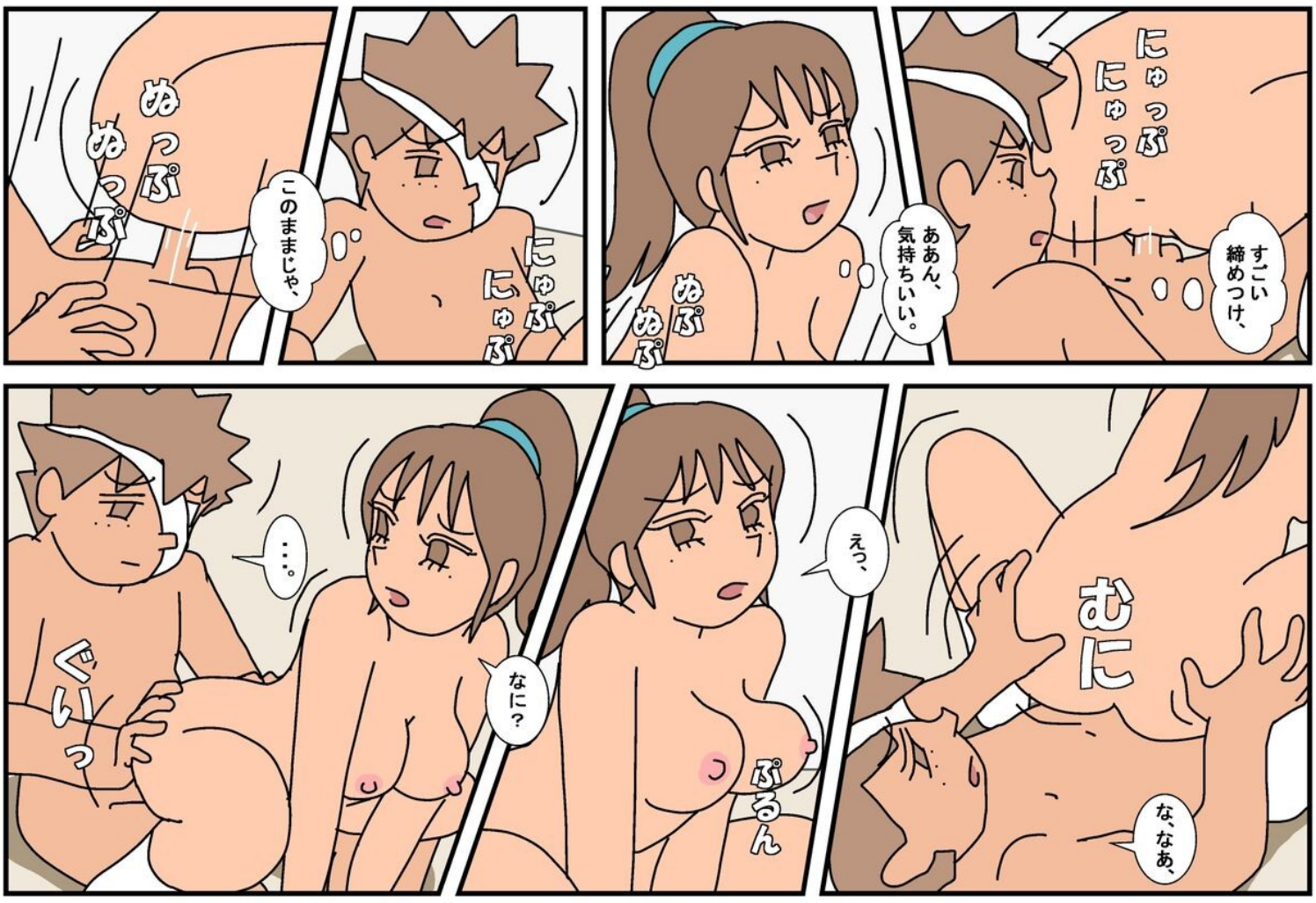
なくも
？
ない？
なんだ、
気持ちいいんじゃない。
もっとして欲しい？
言いなさいよ。
くいっ
して…
欲しい。
ぬぷっ
んっ
にゅっぷ
にゅっぷ

ケイスケ、
私も気持ち良くしてくれる？
え、
…。
あ、
ん
はむはむ
あむあむ
にゅぷ
にゅぷ
にゅぽー
にゅぽ
たぽたぽ
ぱあ

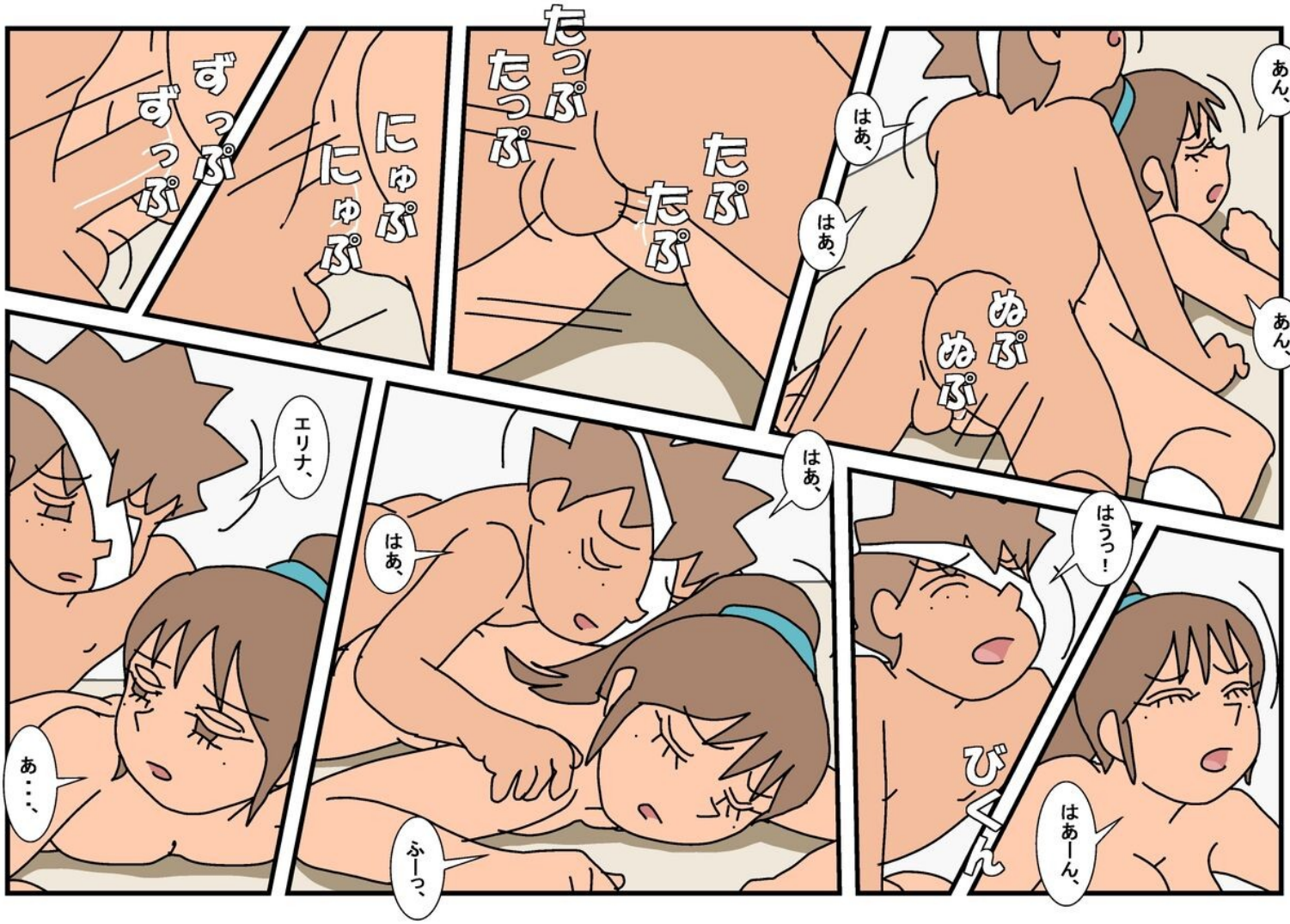

はあーん、
ゆさゆさ
ぬぷぬぷ
あ、
むぎゅ
え、
ずっぷずっぷ
ね、ねえ、
たぷたぷ
はあ、
ぬっぷぬっぷ

ちょっと、
ぬっぷ
ぬっぷ
あっ、
ケイスケは動かなくていいのよ！
って言うか、
えっ、
ずっぷ
ずっぷ
あん、
待って、
動かないで。
わかった？
あ、ああ、
にゅっぷ
にゅっぷ
気持ち良くしてって言ったけど
私がするんだからね。
オッパイのことだから、


エリナ、
はあ、
たぷ
うっ、
ん、ん、
ぬぷ
あ、
はーっ、
たっぷ
たっぷ
ぬぷ
ぬぷ
はあん
びたん
あう、
にゅう
…、

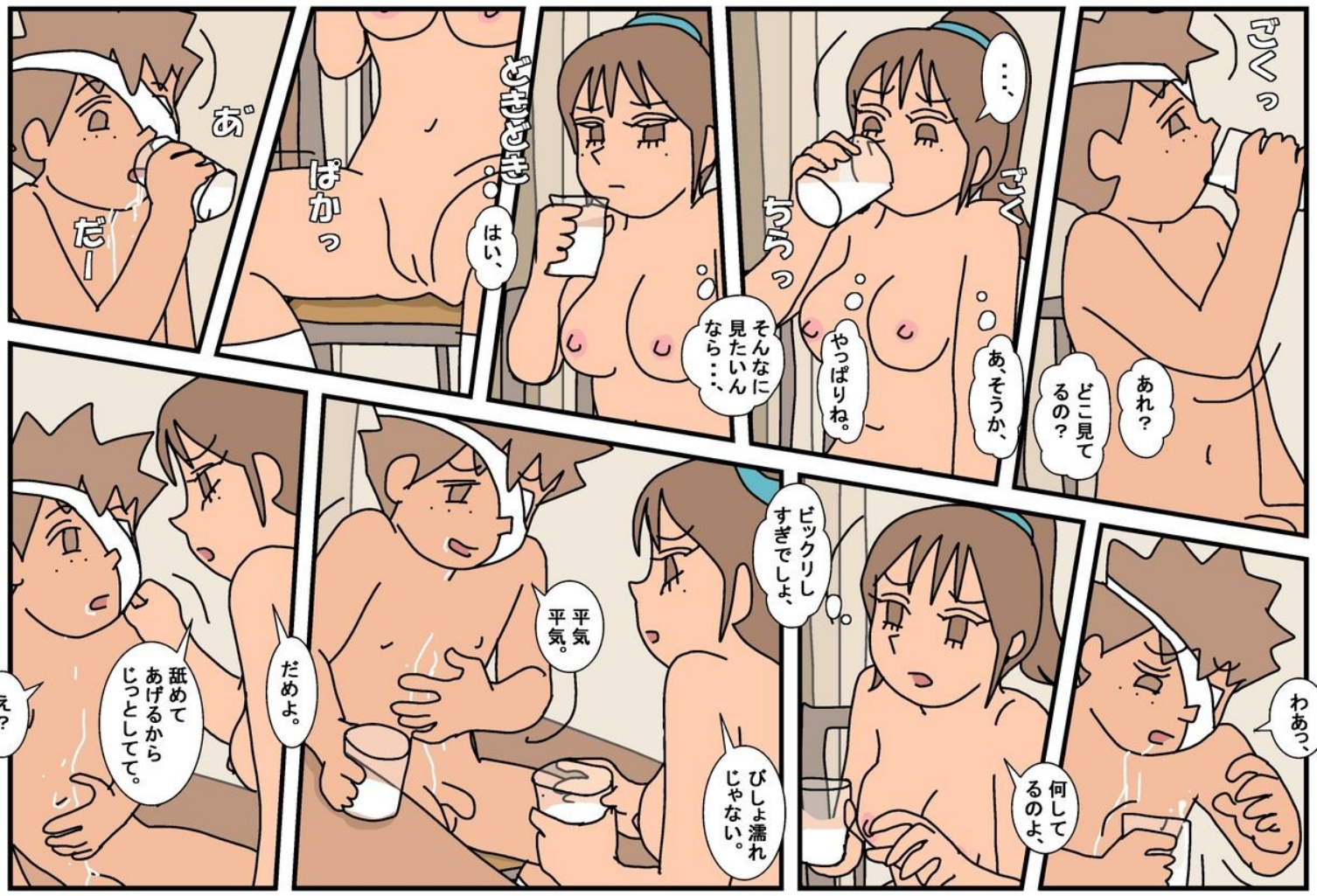

にゅっぷ
にゅっぷ
すごい締めつけ、
ああん、気持ちいい。
ぬぷ
ぬぷ
にゅぷ
にゅぷ
このままじゃ、
ぬっぷ
ぬっぷ
むに
な、なあ、
えっ、
ぷるん
なに？
…。
ぐいっ

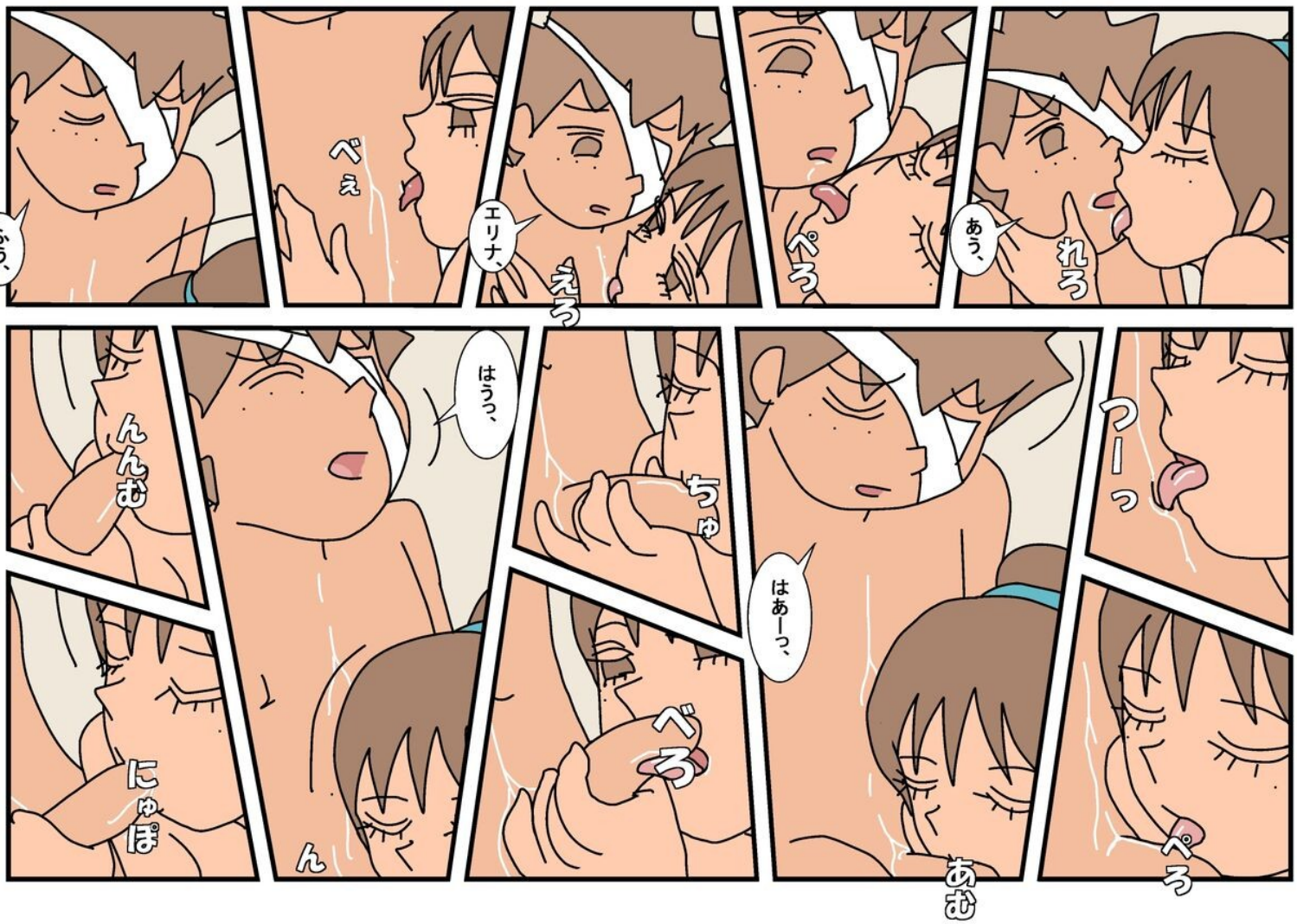
あん、
どてっ
にゅぽん
何すんのよ！
やっぱりオレがする！
え？
はあっ！
ずぷっ
はあん、
ああん、
ずっぷ
ずっぷ
あん、
あん、
ぬぷ
ぬぷ

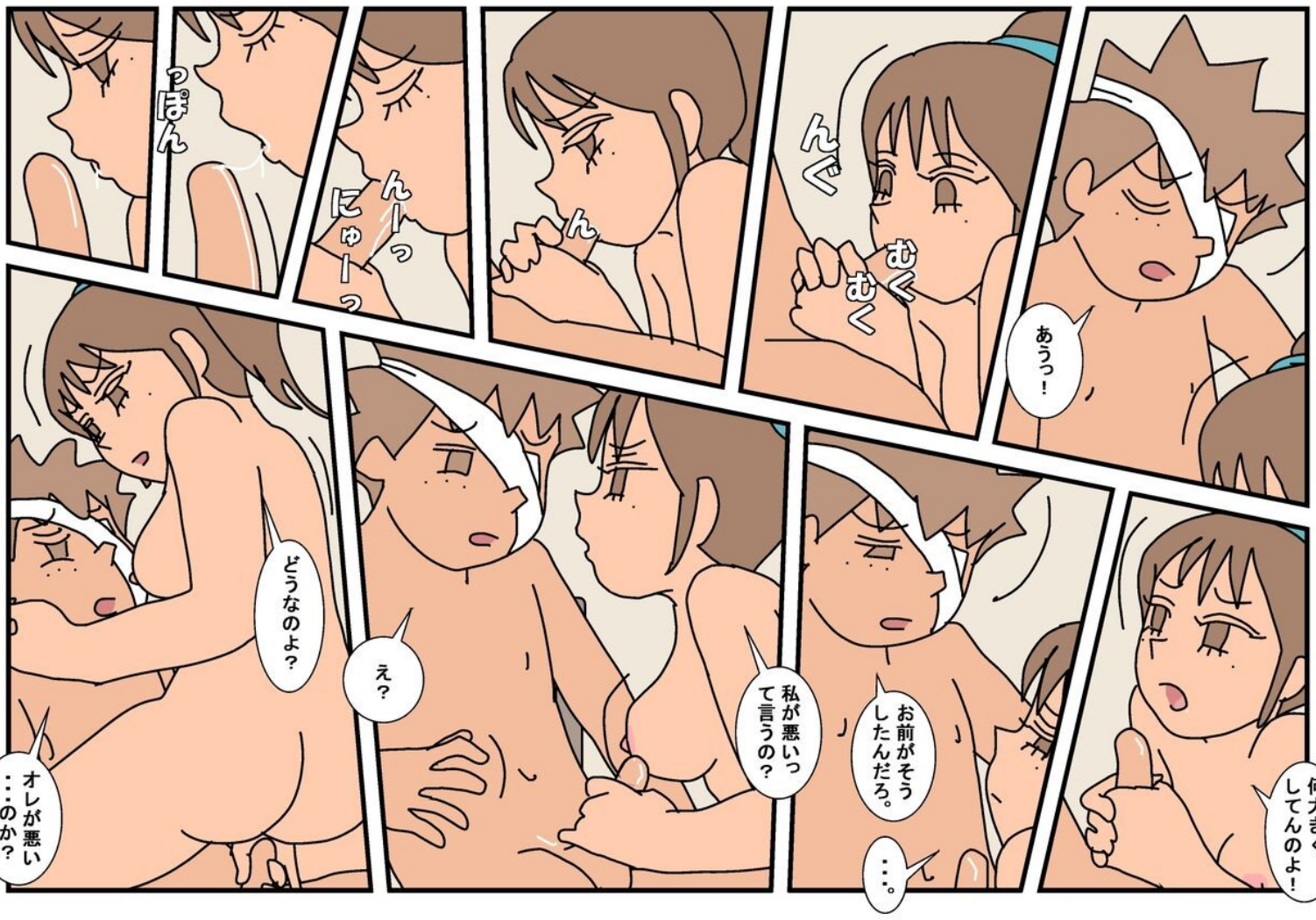

あん、
はあ、
はあ、
あん、
ぬぷ
ぬぷ
たっぷ
たっぷ
たぷ
たぷ
にゅぷ
にゅぷ
ずっぷ
ずっぷ
はうっ！
はあ、
はあ、
エリナ、
びくん
はあーん、
ふーっ、
あ・・・、

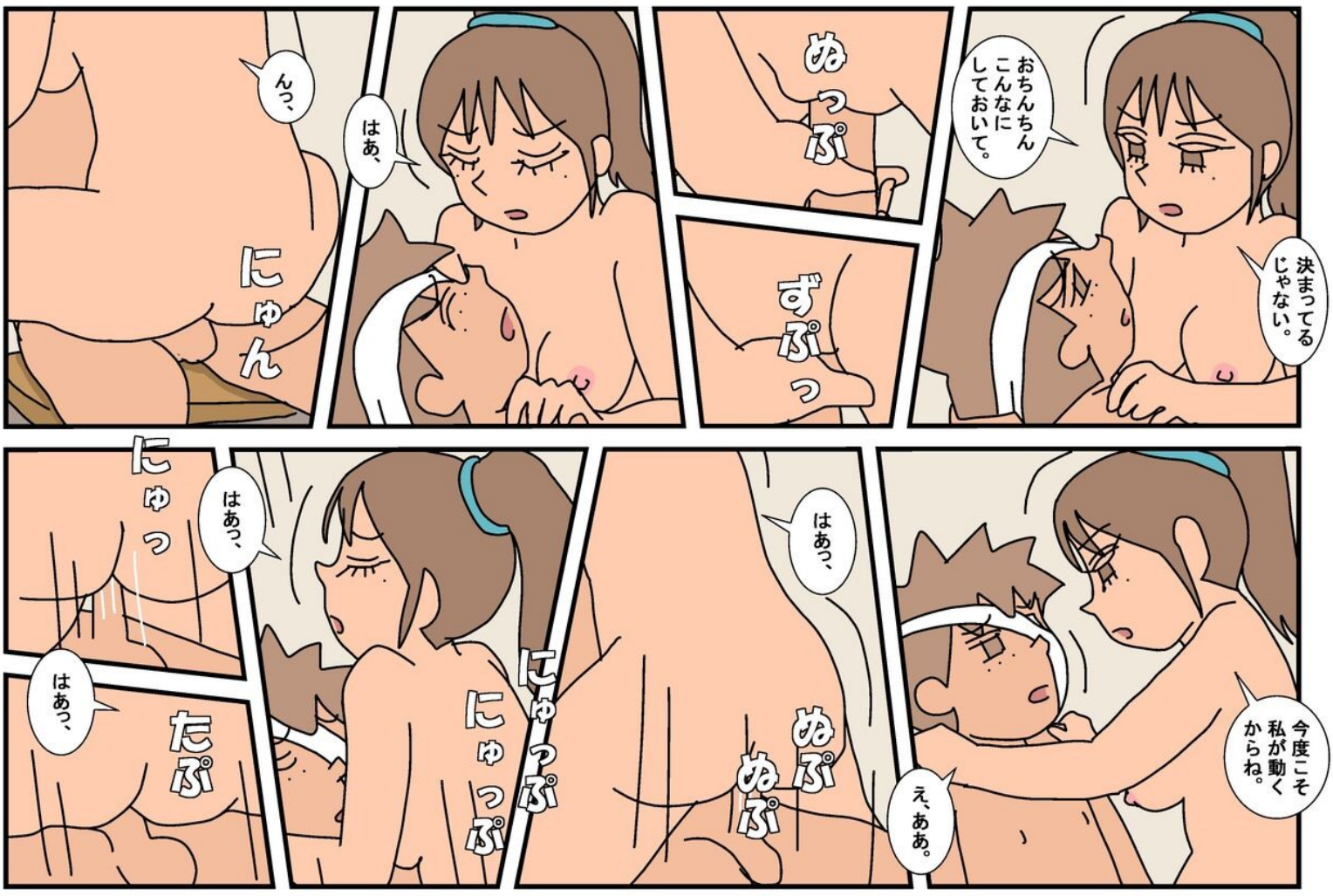
私がするって言ったのに。
ごめん。
まあ、いいけど。
気持ち良かったから？
ちがうわよ！
ちょっと待った。
何？
服はまだいいから、
来いよ。
どこへ？
下。
えっ？

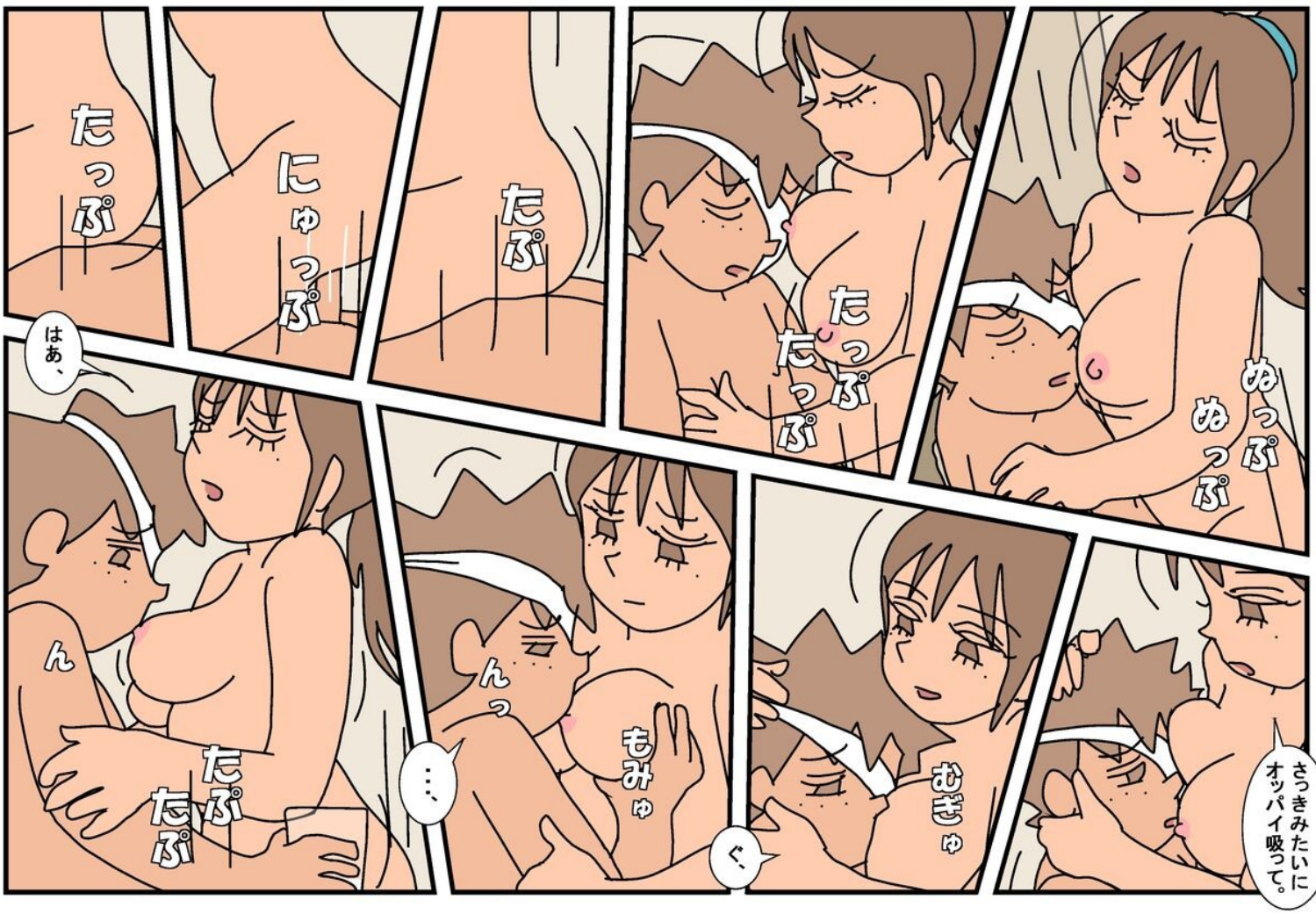
一階？
ああ、誰もいないから。
裸のままで降りるの？
適当に座って。
服着るの面倒くさいだろ。
そう？
エッチなこと考えてない？
ほい、
なぁんだ、○○
ありがとう。
喉乾いてただけか・・、

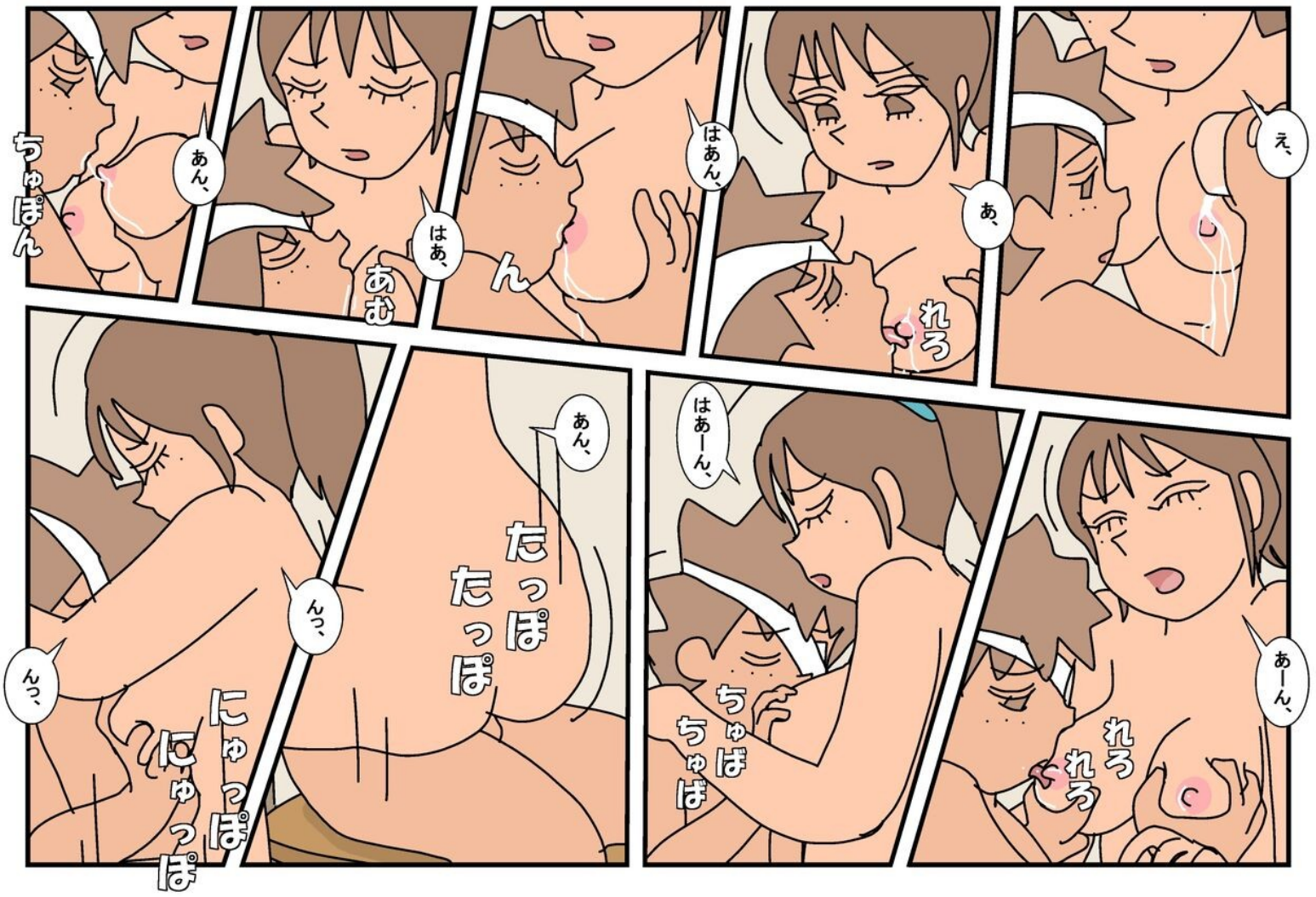

ごくっ
あれ？
どこ見てるの？
ごく
あ、そうか、
ちらっ
やっぱりね。
…、
そんなに見たいんなら…、
どきどき…
はい、
ぱかっ
あ
だー
わあっ、
何してるのよ、
びしょ濡れじゃない。
ビックリしすぎでしょ、
平気平気。
だめよ。
え？
舐めてあげるからじっとしてて。

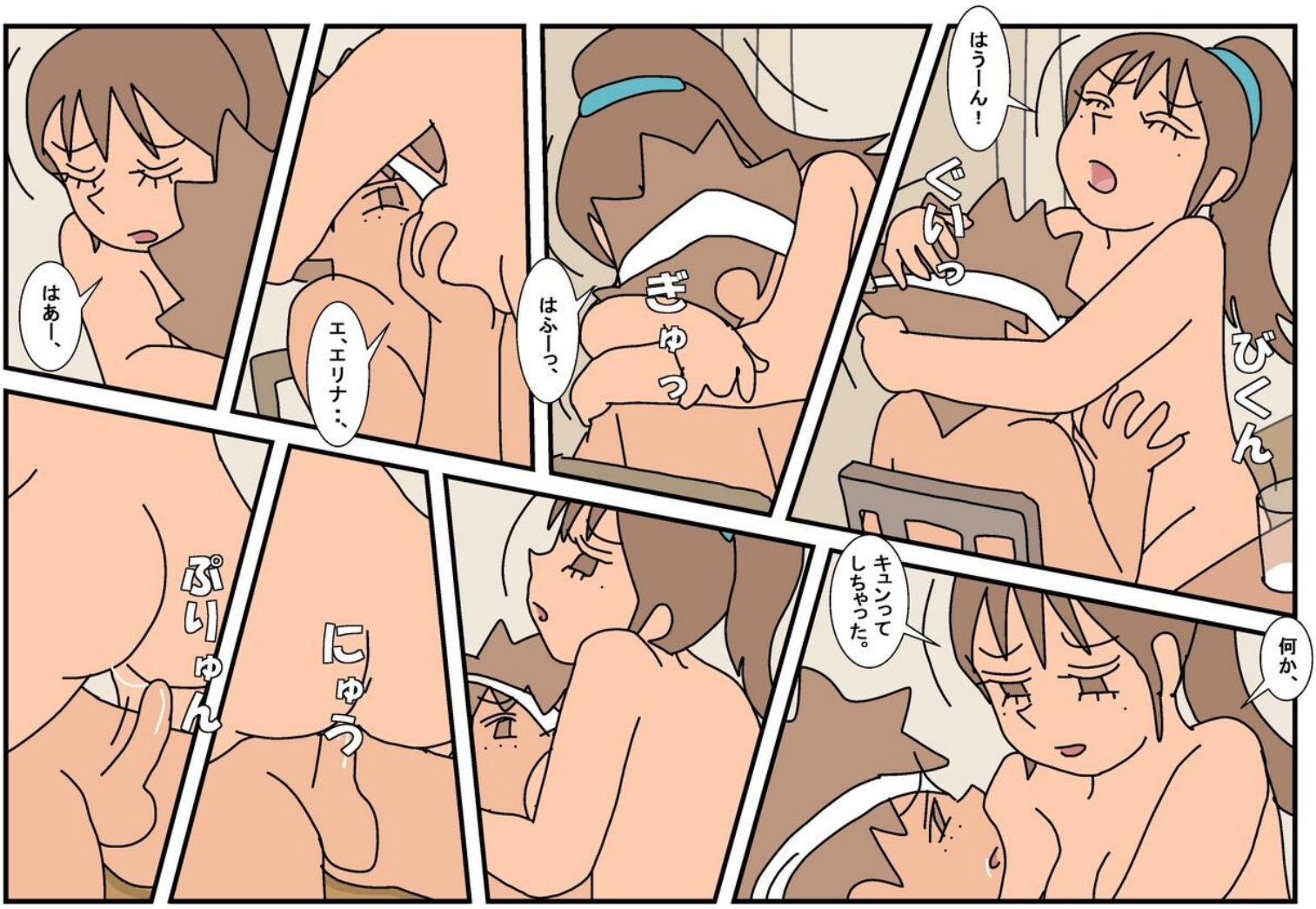

ふう、
べぇ
エリナ、
えろ
ぺろ
あう、
れろ
んんむ
はうっ、
ちゅ
つーっ
はあーっ、
にゅぽ
ん
べろ
あむ
ぺろ


何大きくしてんのよ！
あうっ！
んぐ
むくむく
ん
んーっ
にゅーっ
っぽん
…。
お前がそうしたんだろ。
私が悪いって言うの？
え？
どうなのよ？
オレが悪い…のか？


決まってるじゃない。
おちんちんこんなにしておいて。
ぬっぷ
ずぷっ
んっ、
はあ、
にゅん
今度こそ私が動くからね。
え、ああ。
ぬぷぬぷ
はあっ、
にゅっぷにゅっぷ
はあっ、
にゅっ
たぷ
はあっ、

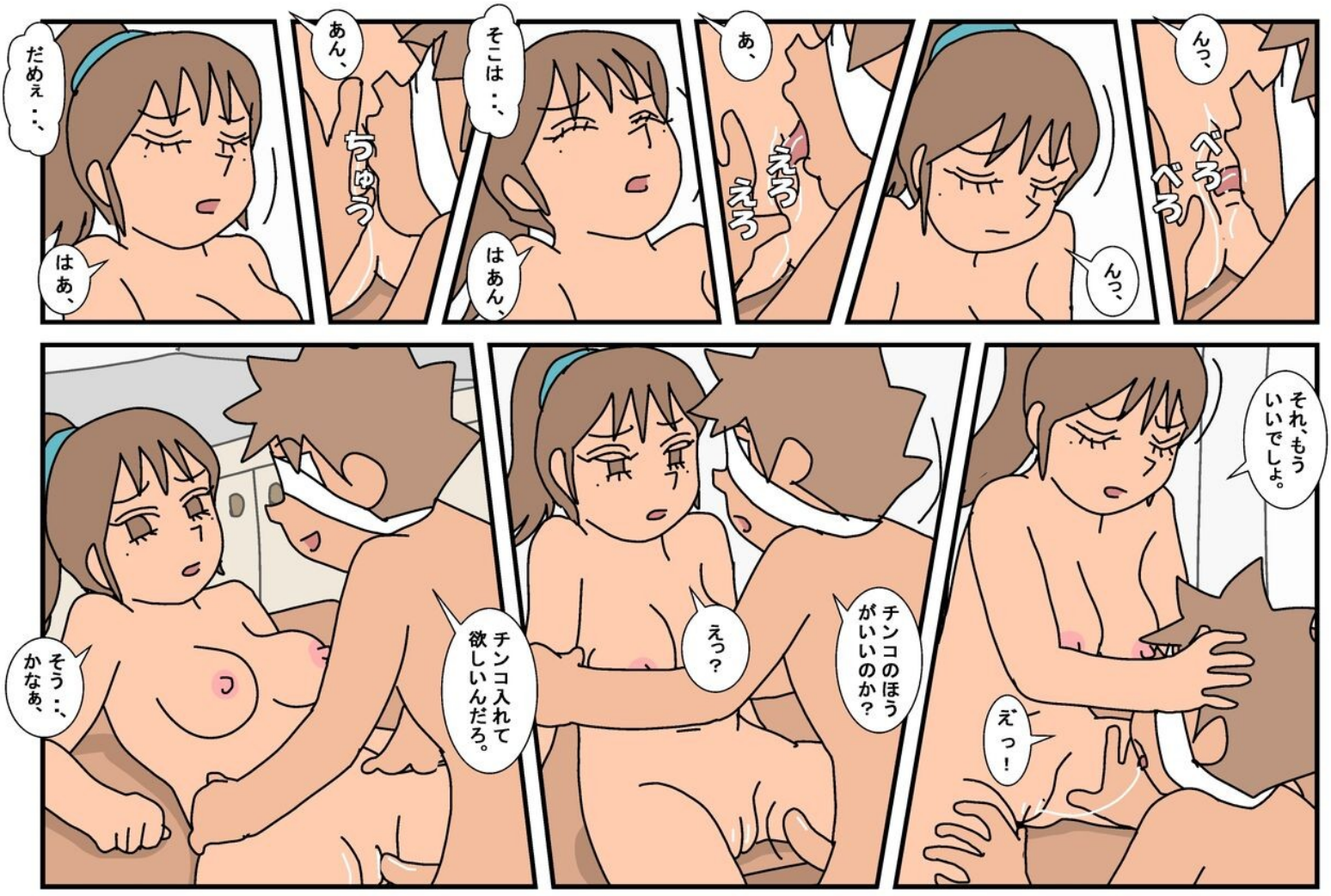

さっきみたいにオッパイ吸って。
むぎゅ
ぐ、
もみゅ
んっ
…、
たぷたぷ
ん
はぁ、
ぬっぷぬっぷ
たっぷたっぷ
たぷ
にゅっぷ
たっぷ

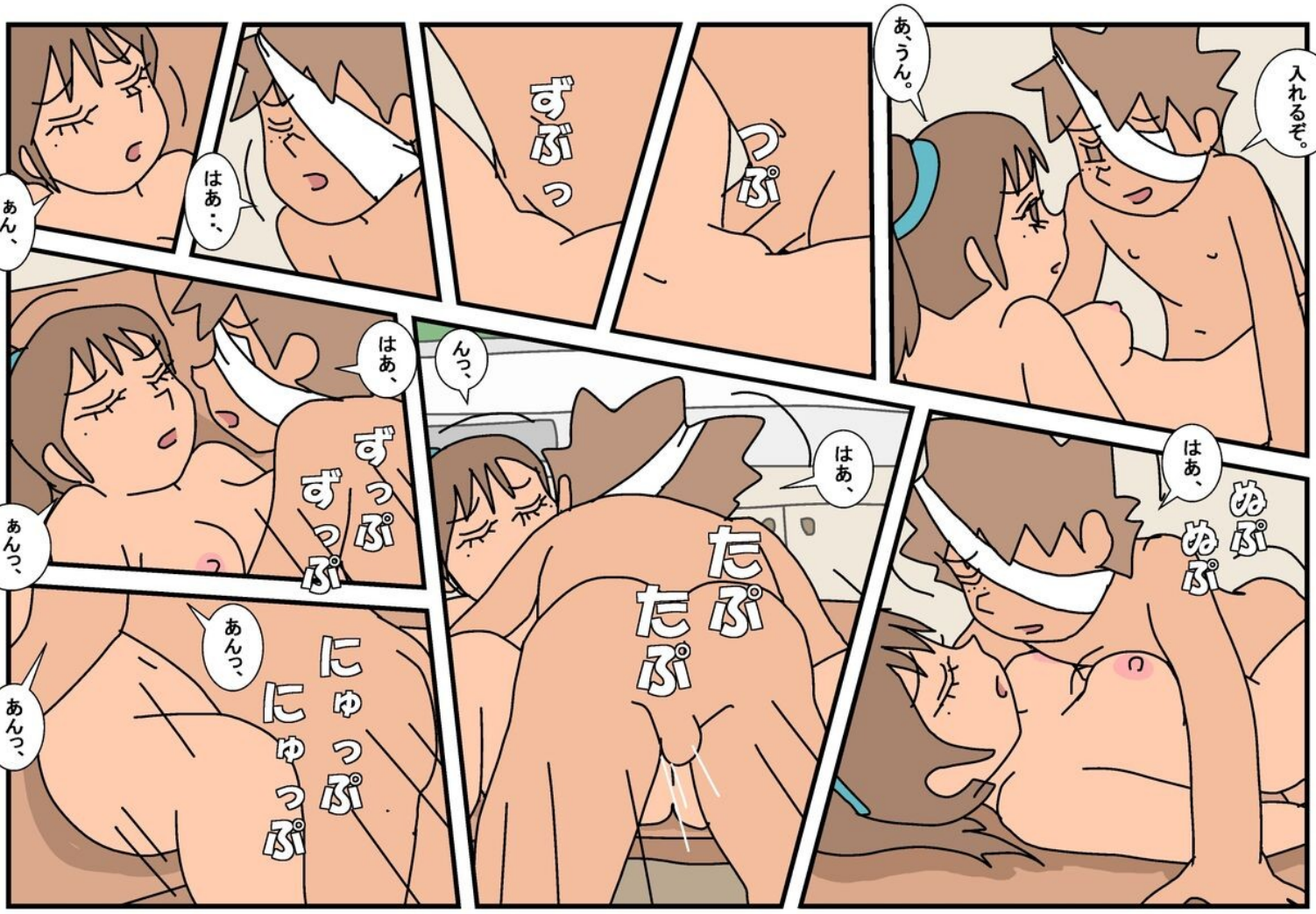

え、
あ、
れろ
はあん、
ん
はあ、
あむ
あん、
ちゅぱん
あーん、
れろれろ
はあーん、
ちゅぱちゅぱ
あん、
たっぽたっぽ
んっ、
にゅっぽにゅっぽ
んっ、

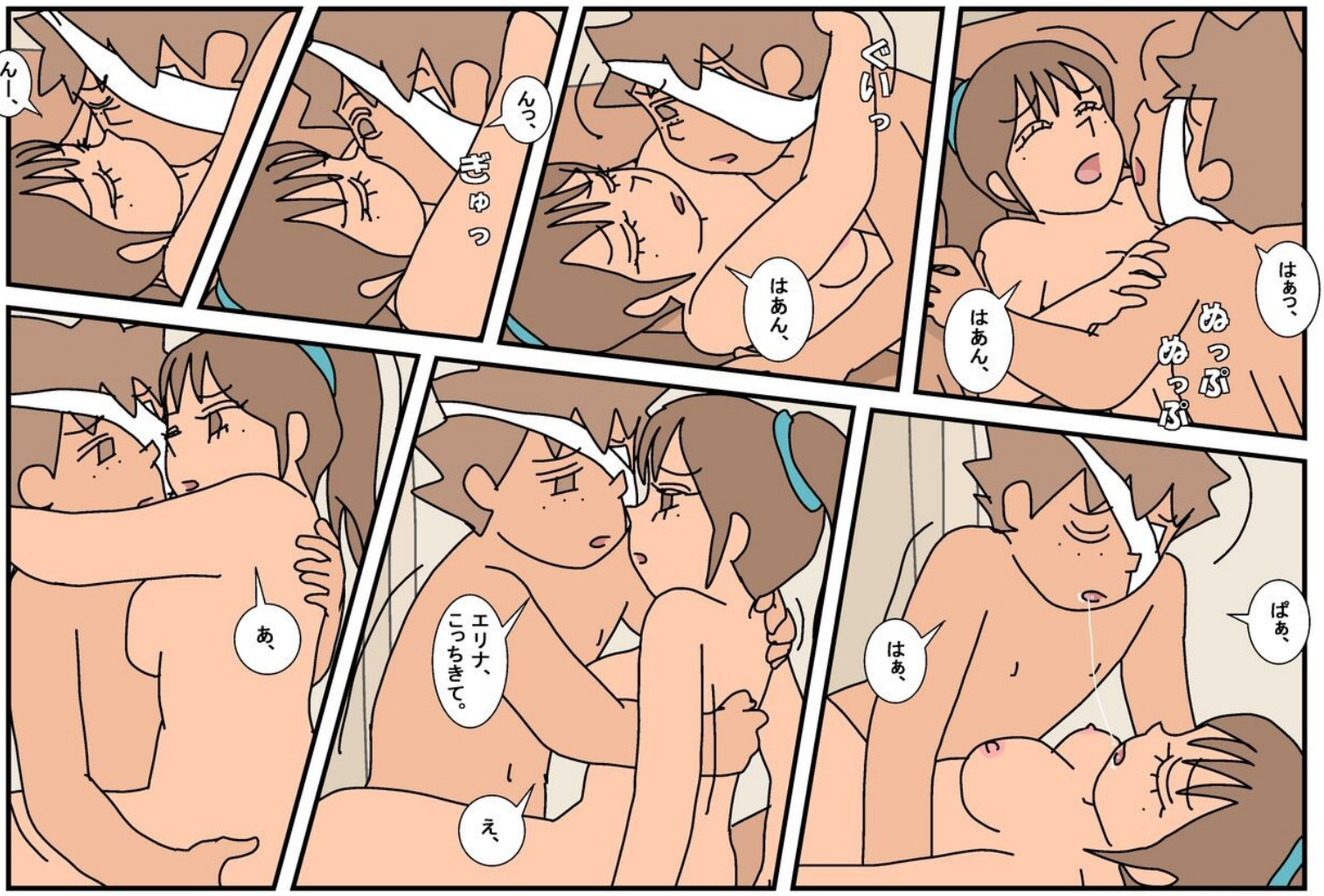

はうーん！
びくん
ぐいっ
何か、
キュンってしちゃった。
ぎゅっ
はふーっ、
エ、エリナ…、
にゅう
ぷりゅん
はあー、

ああ、
気持ち良かった。
あれ？
…。
びくん
あっ！
ごめん、
気持ちいいの私だけだった？
いや、
オレも気持ち良かったけど、
けど…、まだだったのよね。
あっ、
どうしたの？
オレはまだなんだけど。
え？

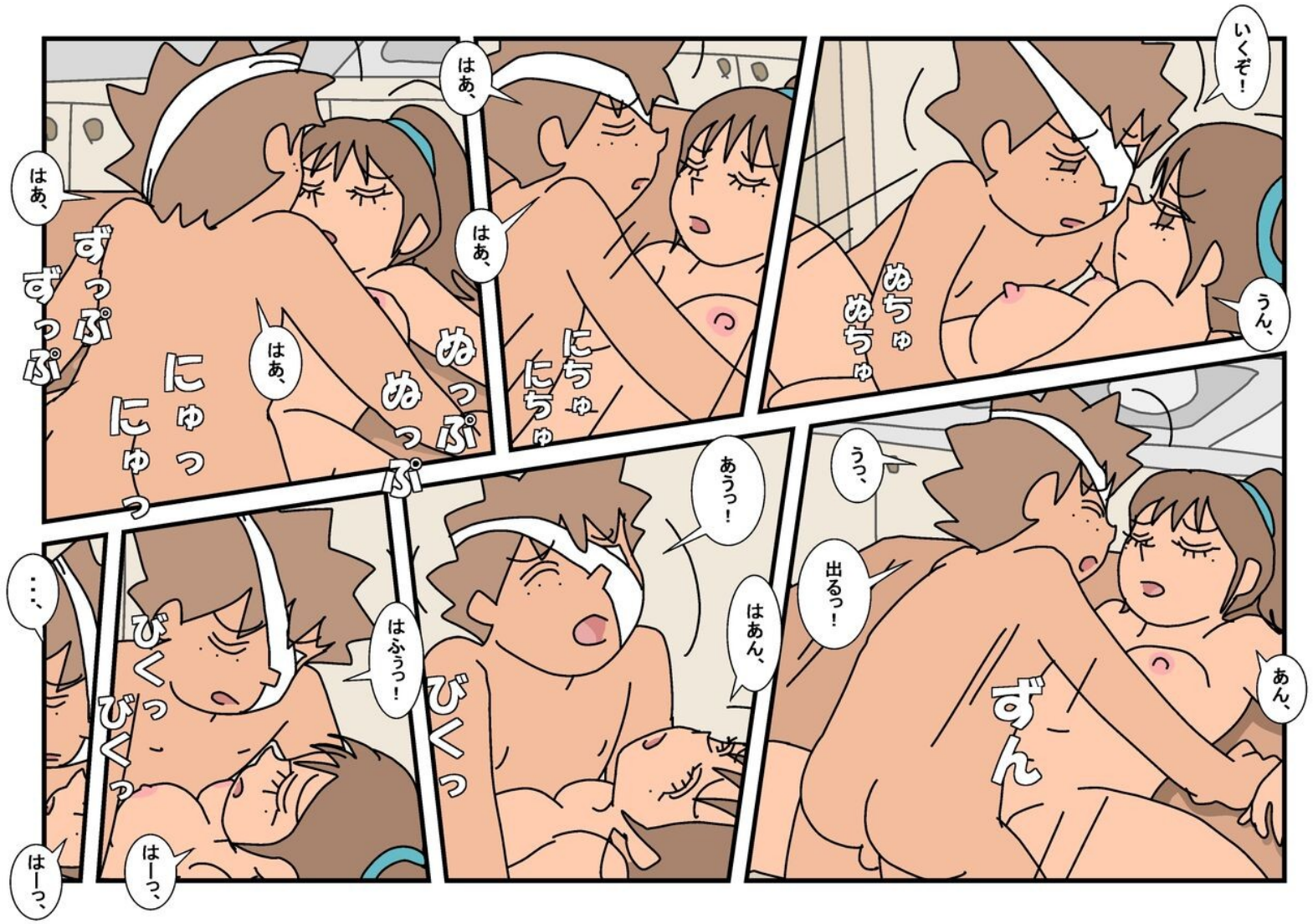
何だよ。
だから、
好きにしていいんだろ。
え、何しているのよ。
次はケイスケが好きにしていいよ。
いいのか？
おちんちん入れるんじゃないの？
じゃあ、
ねえ、
れろれろ

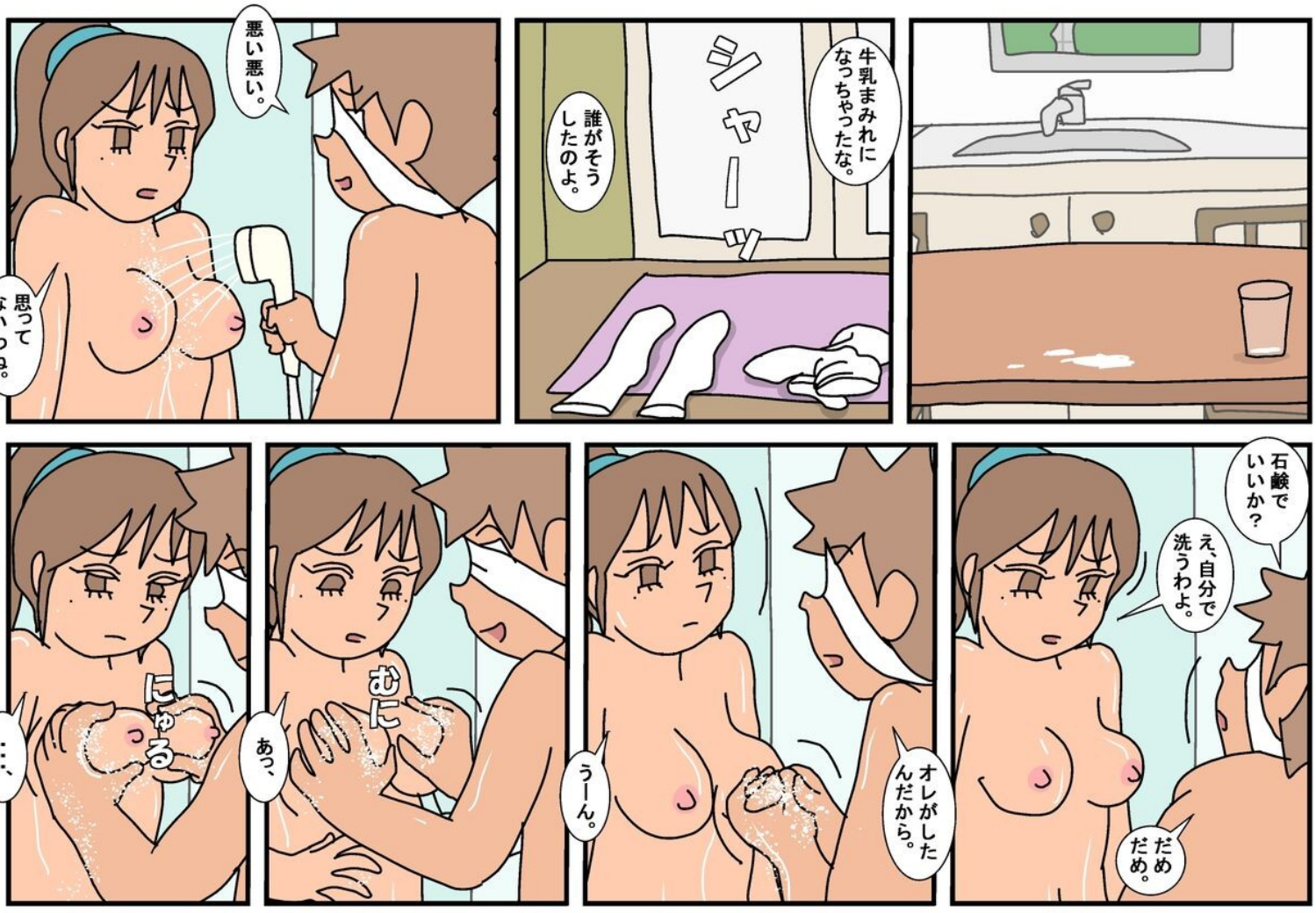

んっ、
べろ
べろ
んっ、
あ、
えろ
えろ
そこは・・
はあん、
あん、
ちゅう
だめぇ・・
はあ、
それ、もういいでしょ。
えっ！
チンコのほうがいいのか？
えっ？
チンコ入れて欲しいんだろ。
そう・・かなぁ、

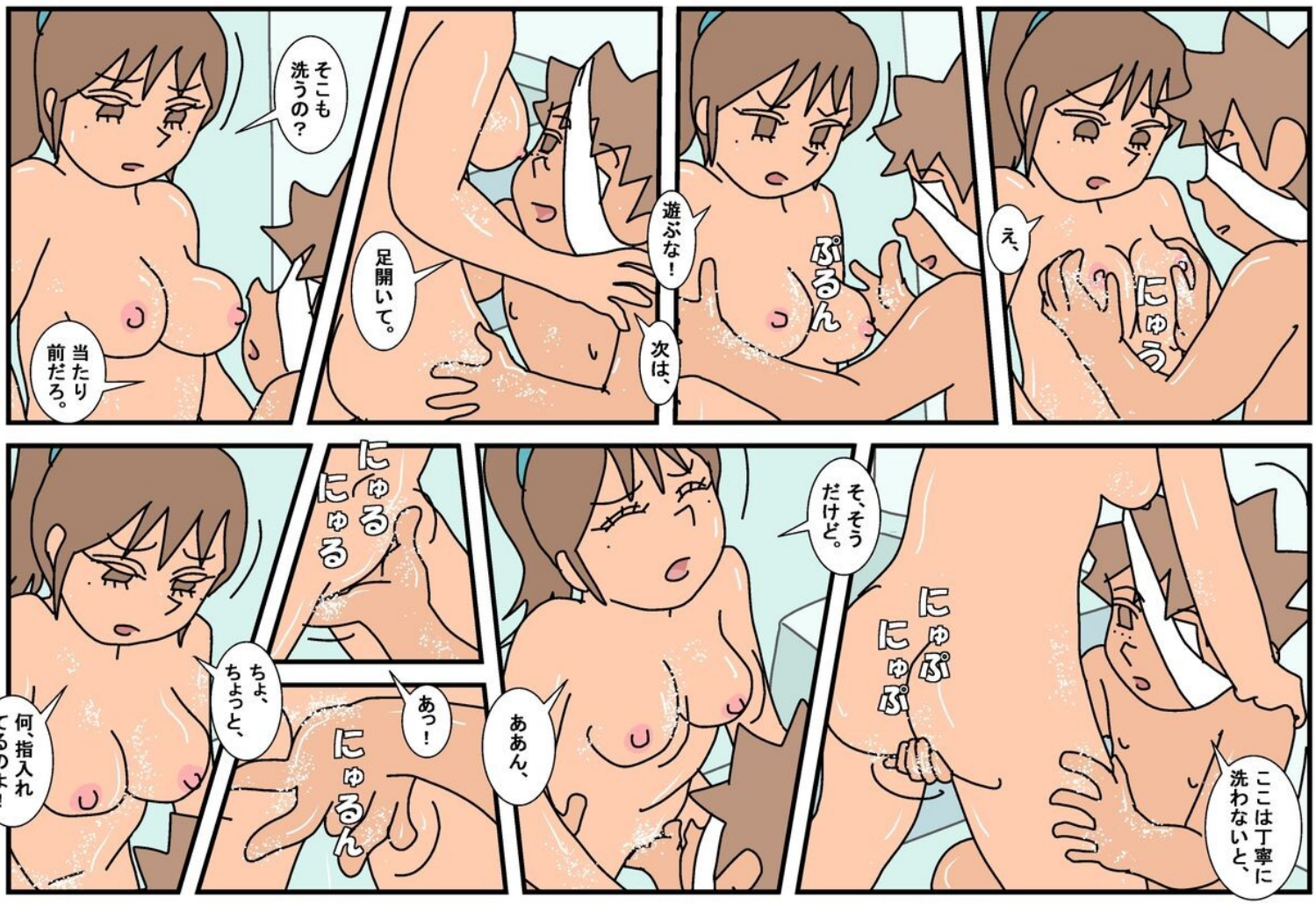

入れるぞ。
あ、うん。
ぬぷ
ぬぷ
はあ、
たぷ
たぷ
はあ、
んっ、
ずぶっ
つぷ
はあ、
ずっぷ
ずっぷ
ぁんっ、
にゅっぷ
にゅっぷ
あんっ、
あんっ、
ぁん、
はあ、

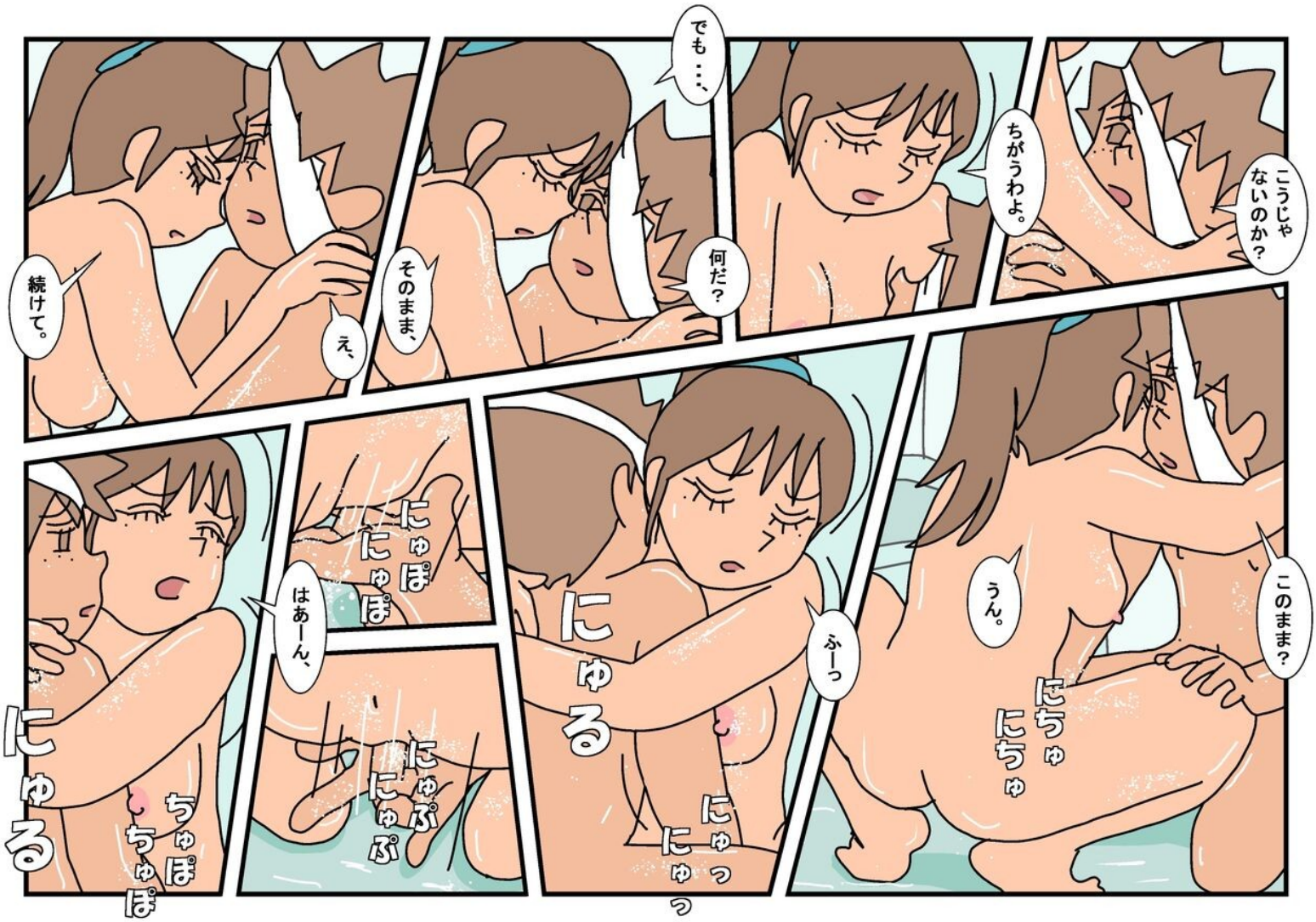

はぁっ、
ぬっぷ
ぬっぷ
はあん、
ぐいっ
はあん、
んっ、
ぎゅっ
んー、
ぱぁ、
はぁ、
エリナ、
こっちきて。
え、
あ、

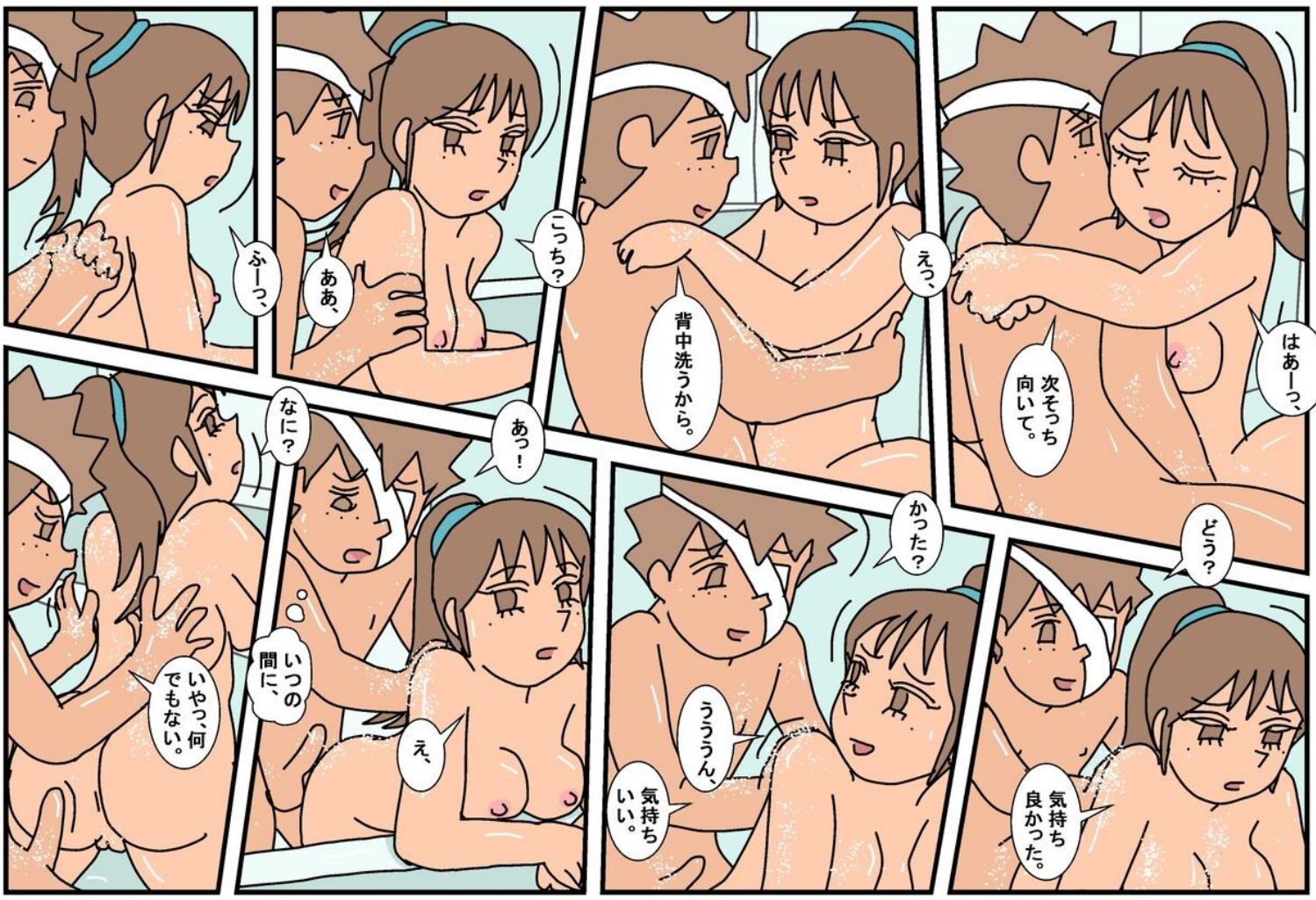
あん、
はあ、
ぬぷぬぷ
あん、
はあ、
にゅぷにゅぷ
たっぷたっぷ
ぬっぷぬっぷ
はあっ、
はあん、
にゅっぷにゅっぷ
ずっぷずっぷ
はーっ、
ふーっ、

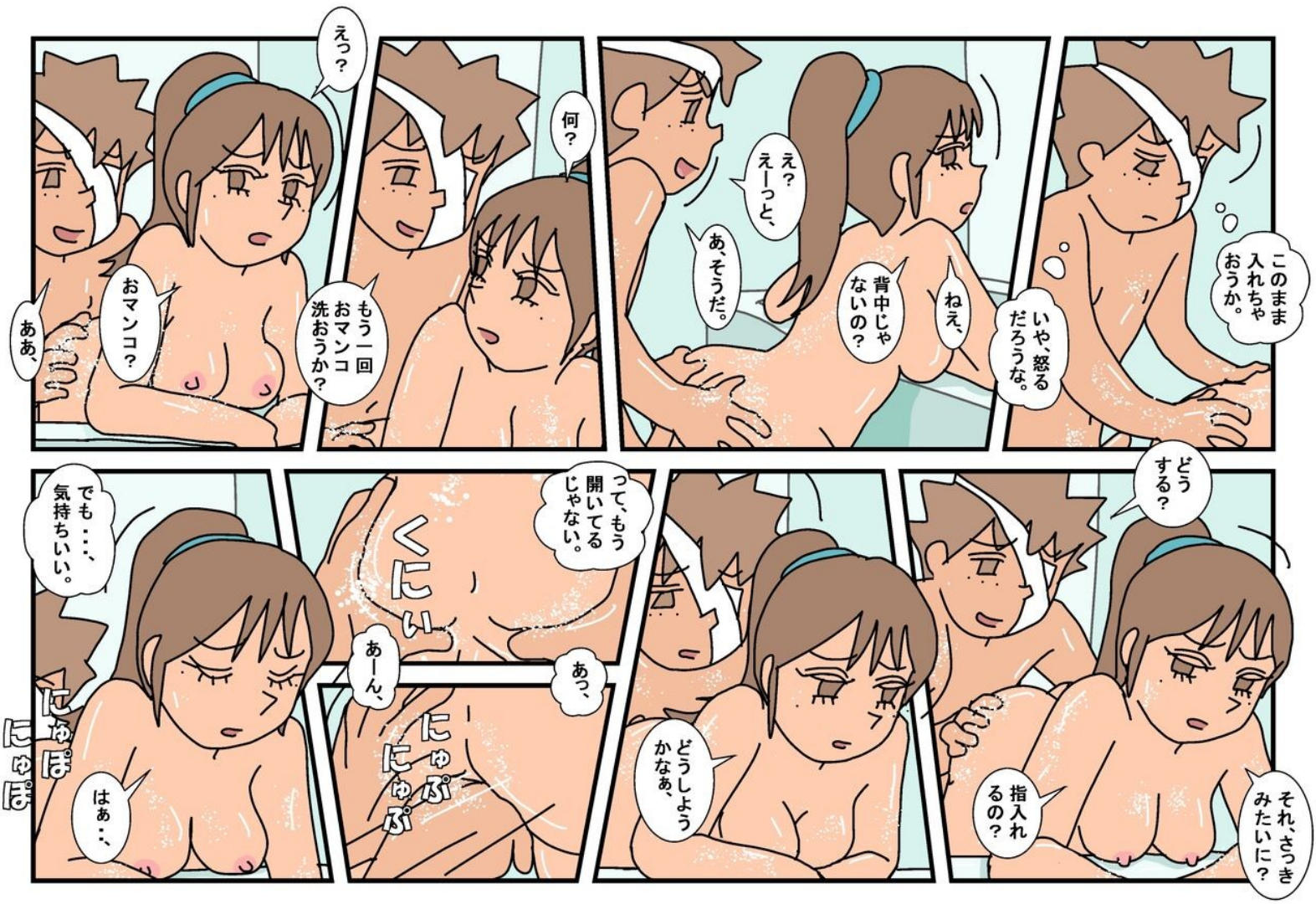

いくぞ！
うん、
ぬちゅ
ぬちゅ
あん、
ずん
うっ、
出るっ！
はあん、
あうっ！
びくっ
はあ、
にちゅ
にちゅ
はあ、
ぬっぷ
ぬっぷ
はあ、
にゅっ
にゅっ
はあ、
ずっぷ
ずっぷ
…、
はふうっ！
びくっ
びくっ
はーっ、
はーっ、

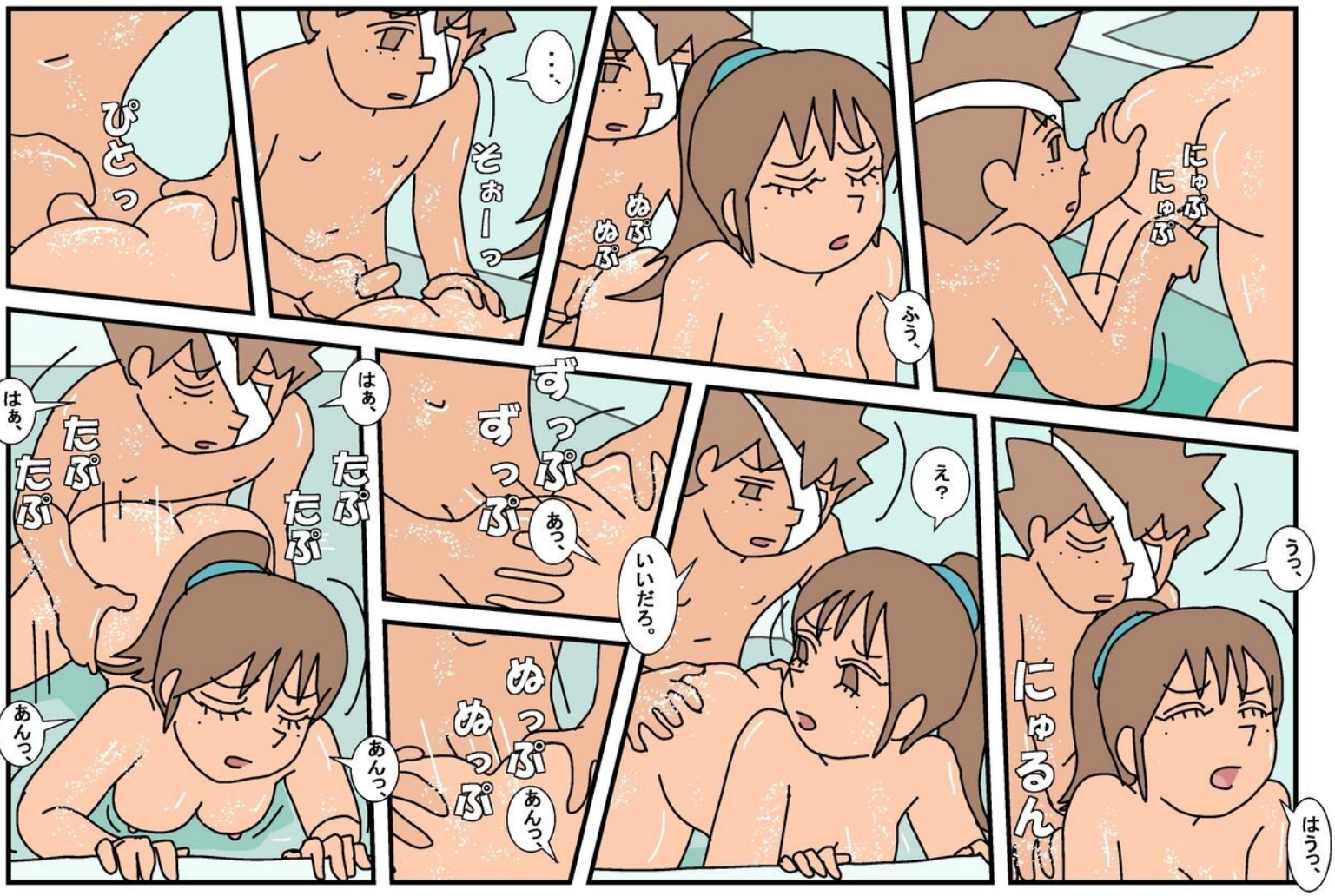

石鹸でいいか？
え、自分で洗うわよ。
だめだめ。
オレがしたんだから。
うーん。
むに
あっ、
にゅる
…、
悪い悪い。
思ってないわね。
シャーッ
牛乳まみれになっちゃったな。
誰がそうしたのよ。

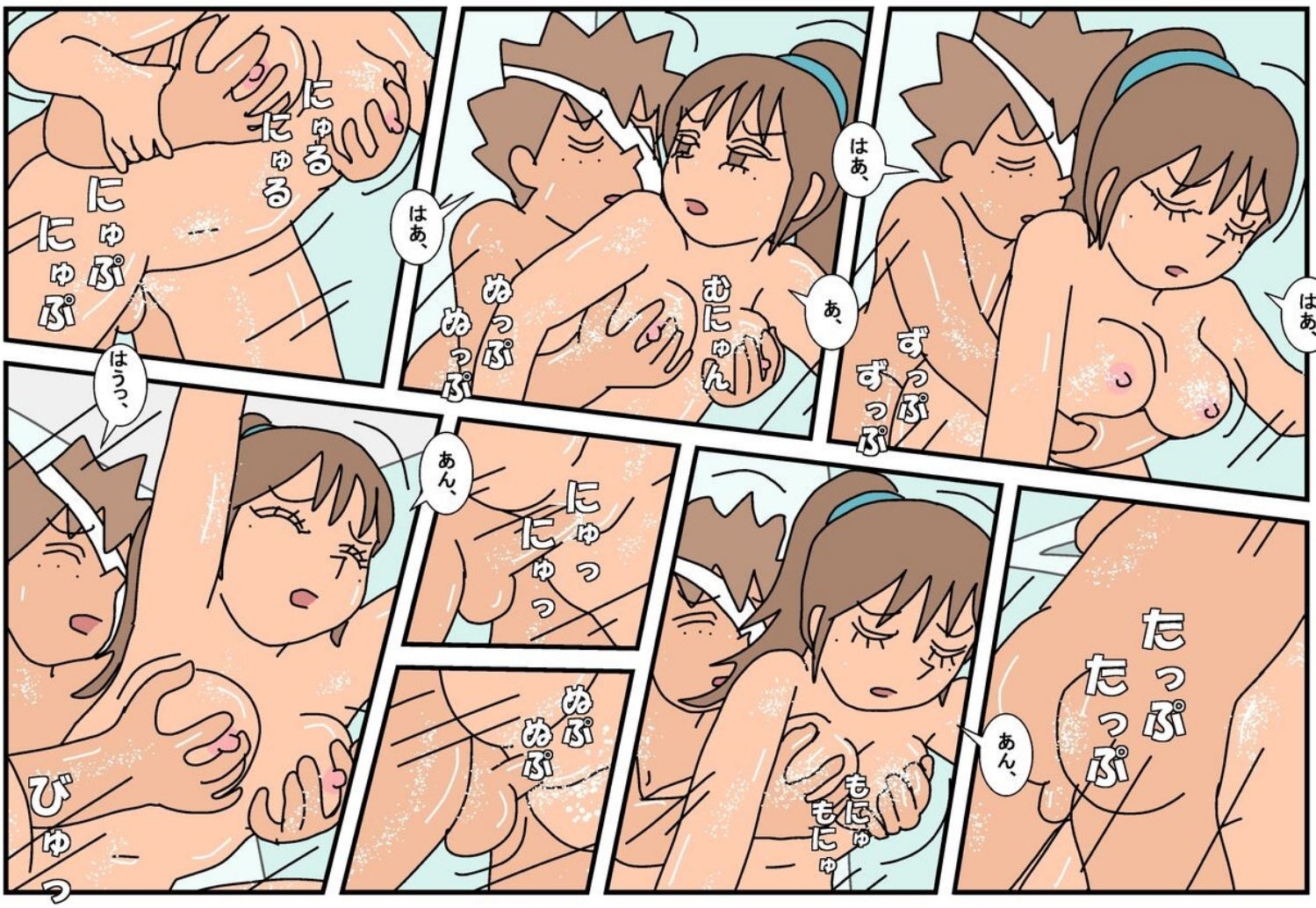

ここは丁寧に洗わないと、
にゅぷにゅぷ
そ、そうだけど。
ああん、
あっ！
にゅるん
ちょ、ちょっと、
何、指入れてるのよ！
にゅるにゅる
当たり前だろ。
足開いて。
そこも洗うの？
次は、
遊ぶな！
ぷるん
え、
にゅう


こうじゃないのか？
ちがうわよ。
でも…、
何だ？
そのまま、
え、
続けて。
このまま？
うん。
にちゅにちゅ
ふーっ
にゅるにゅっ
にゅぽにゅぽ
はぁーん、
にゅぷにゅぷ
にゅるちゅぽちゅぽ


はあーっ、
次そっち向いて。
どう？
気持ち良かった。
えっ、
背中洗うから。
かった？
ううーん、気持ちいい。
こっち？
ああ、
あっ！
え、
ふーっ、
なに？
いつの間に、
いやっ、何でもない。


このまま入れちゃおうか。
いや、怒るだろうな。
ねえ、
背中じゃないの？
え？えーっと、
あ、そうだ。
何？
もう一回おマンコ洗おうか？
えっ？
おマンコ？
ああ、
どうする？
それ、さっきみたいに？
指入れるの？
どうしようかなぁ、
にゅぷ
にゅぷ
あーん、
くにい
って、もう開いてるじゃない。
あっ、
でも・・・、気持ちいい。
はぁ・・、
にゅぽ
にゅぽ

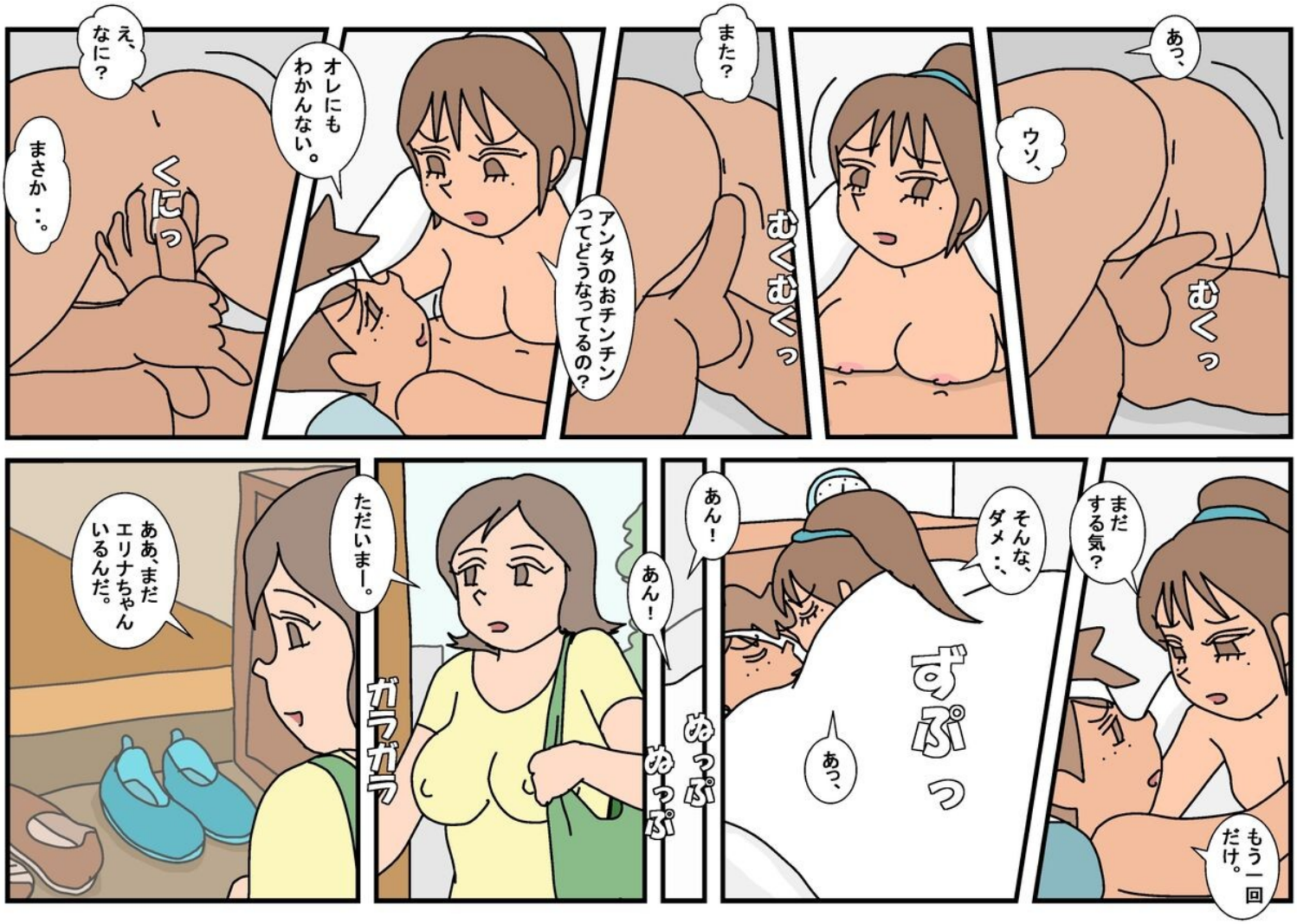

にゅぷ
にゅぷ
ふう、
ぬぷ
ぬぷ
…、
そぉーっ
ぴとっ
うっ、
にゅるん
はうっ、
え？
いいだろ。
ずっぷ
ずっぷ
あっ、
ぬっぷ
ぬっぷ
あんっ、
はぁ、
たぷ
たぷ
あんっ、
はぁ、
たぷ
たぷ
あんっ、

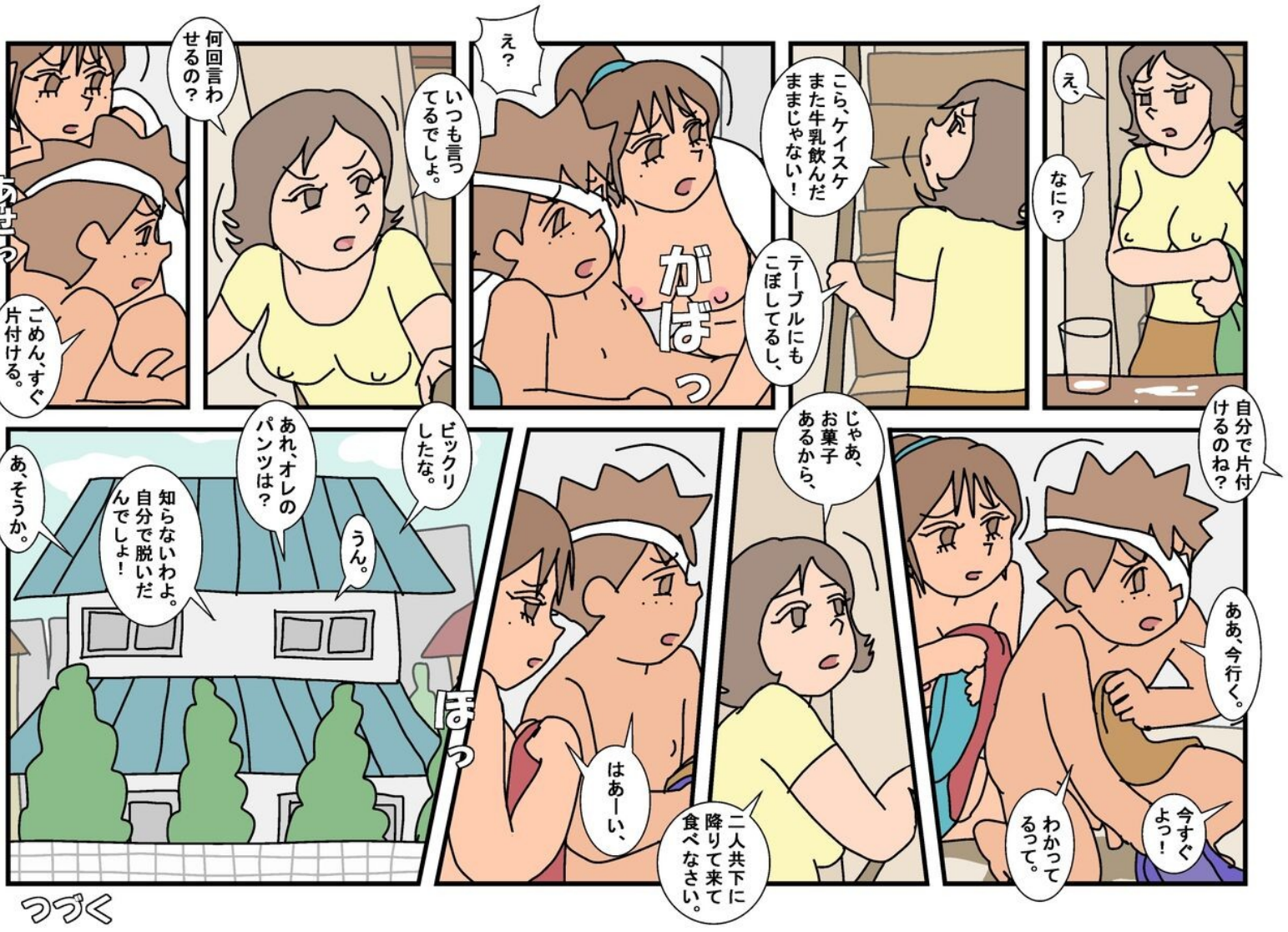

はぁ、
ずっぷ
ずっぷ
はぁ、
ぁ、
むにゅん
ぬっぷ
ぬっぷ
はぁ、
にゅる
にゅる
にゅぷ
にゅぷ
あん、
たっぷ
たっぷ
もにゅ
もにゅ
あん、
にゅっ
にゅっ
ぬぷ
ぬぷ
はうっ、
びゅっ

うっ
びくん
あん、
あぅ、
にゅ
はふーっ
くたーっ
はあー、
エリナ、
ん、
んっ、
はーっ、
にゅぽん
はあ、
にゅう

もう、
ケイスケエロ過ぎ。
へへ、
何回出したか覚えてる？
えーっと、
5回よ。
さすがにもう勃たないでしょうね？
ああ、多分。
多分って？
だってああなるのはオレだけのせいじゃないぞ。
見てみろよ、その恰好。
勃たない方がおかしいだろ。
これは、
ケイスケがさせたんじゃない。
あれ、そうだっけ？
そうだっけって何よ！

好きでなったんだろ。
どういうことよ！
ぱふ
あ、
こらっ、
隠れるな！
エリナ。
何？
出てきなさいよ。
エリナも入れよ。
えっ、
オッパイくっついてるぞ。
ケイスケだって、
え、
むに
え、
ぺと
おチンチンくっついてるんだけど。


あっ、
ウソ、
むくっ
また？
むくむくっ
アンタのおチンチンってどうなってるの？
オレにもわかんない。
え、なに？
くにっ
まさか・・。
もう一回だけ。
まだする気？
そんな、ダメ・・、
ずぷっ
あっ、
あん！
ぬっぷぬっぷ
あん！
ガラガラ
ただいまー。
ああ、まだエリナちゃんいるんだ。


え、
なに？
自分で片付けるのね？
ああ、今行く。
今すぐよっ！
わかってるって。
こら、ケイスケまた牛乳飲んだままじゃない！
テーブルにもこぼしてるし、
じゃあ、お菓子あるから、
二人共下に降りて来て食べなさい。
はあーい、
え？
がばっ
いつも言ってるでしょ。
何回言わせるの？
あせっ
ごめん、すぐ片付ける。
ビックリしたな。
うん。
あれ、オレのパンツは？
知らないわよ。自分で脱いだんでしょ！
あ、そうか。
ぽっ
つづく